

# 平成23年度 業務実績報告書

及び中期目標期間(平成18年度から平成23年度まで)業務実績報告書

平成24年6月

公立大学法人福岡女子大学

## 法人の概要

|            |   |
|------------|---|
| 1. 基本的情報   |   |
| 法人名        | 公立大学法人福岡女子大学  |
| 所在地        | 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1   |
| 設立の根拠となる法律 | 地方独立行政法人法   |
| 設立団体       | 福岡県   |
| 資本金の状況     | 4, 837, 765, 597円(全額 福岡県出資)   |
| 沿革         | <p>大正12年(1923)4月 福岡県立女子専門学校開校(文科、家政科)</p> <p>昭和25年(1950)4月 福岡女子大学開学(学芸学部:国文学科、英文学科、生活科学科)</p> <p>昭和29年(1954)4月 文学部、家政学部の2学部体制に移行</p> <p>平成5年(1993)4月 大学院文学研究科修士課程設置</p> <p>平成7年(1995)4月 家政学部を人間環境学部に改組</p> <p>平成9年(1997)4月 大学院文学研究科英文学専攻博士課程設置</p> <p>平成12年(2000)4月 大学院人間環境学研究科修士課程設置</p> <p>平成18年(2006)4月 地方独立行政法人化。設置者が福岡県から公立大学法人福岡女子大学となる。</p> <p>平成23年(2011)4月 国際文理学部開設(国際教養学科、環境科学科、食・健康学科)</p>   |
| 法人の目標      | <p>福岡女子大学は、その歴史と伝統を大きな資源とし、学生の自主性・自発性を喚起する教育を行い、職場、家庭、地域など社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを使命とする。</p> <p>福岡女子大学は、その使命を十分に果たしていくため、「福岡女子大学改革基本計画」(平成20年11月策定)に基づき、新しい時代にふさわしい大学づくりに向け、全力で取り組まなければならない。</p> <p>また、大学の運営については、公的資金を基盤にしていることを念頭に置き、理事長のリーダーシップのもと、全学的な教育研究目標を定め、主体的、自律的な大学運営に取り組むことが必要である。</p> <p>1. 教育: 職場、家庭、地域など社会の様々な分野において、重要な役割を担うことができるよう、コミュニケーション能力、判断力、実行力を身に付けた女性を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育の展開</li> <li>・教員の教育能力の向上</li> <li>・優秀な学生の確保・育成</li> <li>・就職支援の充実</li> </ul> <p>2. 研究: 大学の教育や社会の発展に役立つ研究を推進する。</p> <p>3. 社会貢献: 大学の保有する人材、知識、施設等を社会のために活用する。</p> <p>4. 業務運営: 理事長のリーダーシップのもと、主体的・自律的な大学運営を確立する。</p> <p>5. 財務: 経営者の視点に立って、法人の財政運営を行う。</p> <p>6. 評価: 評価を厳正に実施し、大学運営に反映する。</p> <p>7. 情報公開: 情報公開を積極的に推進する。</p> <p>8. 大学改革の推進: 「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、平成23年度を目途に、学部学科の再編及び新たな教育システムの構築をはじめとする抜本改革に取り組む。</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 法人の業務 | (1) 福岡女子大学を設置し、これを運営すること。<br>(2) 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。<br>(3) 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。<br>(4) 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。<br>(5) 教育研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。<br>(6) 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。 |
|-------|--|

2. 組織・人員情報

(1) 役員

| 役職         | 氏名     | 任期                | 主な経歴  |
|------------|--------|-------------------|---|
| 理事長(学長)    | 梶山 千里  | H23.4.1～H27.3.31  | 平成13年九州大学総長<br>平成16年国立大学法人九州大学総長<br>平成20年独立行政法人日本学生支援機構理事長                                |
| 副理事長       | 山田 幸正  | H23.4.1～H25.3.31  | 平成12年(株)日本航空新潟支店長<br>平成15年タイコフローコントロールジャパン(株)人事総務本部長                                      |
| 常務理事(事務局長) | 田中 一弘  | H23.4.1～H25.3.31  | 平成19年福岡県環境部廃棄物対策課長<br>平成21年福岡県企画振興部副理事  |
| 理事(学外)     | 坂本 和一  | H23.4.1～H25.3.31  | 平成12年立命館アジア太平洋大学学長<br>平成16年学校法人立命館副総長・立命館大学副学長<br>平成17年立命館大学大学評価委員会委員長<br>平成20年学校法人立命館評議員 |
| 理事(学外)     | 河部 浩幸  | H23.4.1～H23.11.7  | 平成19年(株)九電工代表取締役会長<br>平成19年福岡商工会議所会頭  |
| 理事(学外)     | 末吉 紀雄  | H24.1.25～H25.3.31 | 平成22年コカコーラウエスト(株)代表取締役会長<br>平成23年福岡商工会議所会頭  |
| 理事(学内)     | 甲斐 裕   | H23.4.1～H25.3.31  | 平成13年福岡女子大学教授<br>平成16年福岡女子大学学生部長  |
| 理事(学内)     | 今井 明   | H23.4.1～H25.3.31  | 平成9年福岡女子大学教授<br>平成20年福岡女子大学文学部長   |
| 監事         | 新原 清治  | H22.4.1～H24.3.31  | 公認会計士(新原公認会計士事務所)   |
| 監事         | 船木 誠一郎 | H22.4.1～H24.3.31  | 弁護士(けやき通り法律事務所)   |

## (2)教員

|       |        | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |     |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 教員数   | 常勤(正規) | 64人    | 62人    | 61人    | 60人    | 65人    | 88人    |     |
|       | 内訳     | 教授     | 30人    | 27人    | 27人    | 27人    | 29人    | 38人 |
|       |        | 助教授    | 16人    | -      | -      | -      | -      | -   |
|       |        | 准教授    | -      | 18人    | 20人    | 19人    | 21人    | 24人 |
|       |        | 講師     | 4人     | 4人     | 1人     | 1人     | 2人     | 14人 |
|       |        | 助教     | -      | 3人     | 4人     | 4人     | 3人     | 3人  |
|       | 助手     | 14人    | 10人    | 9人     | 9人     | 10人    | 9人     |     |
| 非常勤講師 | 127人   | 117人   | 119人   | 117人   | 128人   | 125人   |        |     |
| 合計    | 191人   | 179人   | 180人   | 177人   | 193人   | 213人   |        |     |

## 教員数増減の主な理由

新学部開設による教員数増

## (3)職員

|                |      | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |     |
|----------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 職員数            | 事務局長 | 1人     | 1人     | 1人     | 1人     | 1人     | 1人     |     |
|                | 正規職員 | 県派遣    | 23人    | 22人    | 20人    | 21人    | 23人    | 27人 |
|                |      | プロパー   | 人      | 人      | 人      | 人      | 人      | 2人  |
|                |      | 他団体派遣  | 人      | 人      | 1人     | 人      | 人      | 人   |
|                |      | その他    | 人      | 人      | 人      | 人      | 人      | 人   |
|                | 計    | 23人    | 22人    | 21人    | 21人    | 23人    | 人      |     |
| 嘱託(常勤・非常勤)等・臨時 | 8人   | 10人    | 13人    | 15人    | 21人    | 27人    |        |     |
| 合計             | 32人  | 33人    | 35人    | 37人    | 45人    | 57人    |        |     |

## 職員数増減の主な理由

新学部開設による職員数増

## (4)法人の組織構成

### 3. 学生に関する情報

| 関連する学部・大学院 | 学部学科、大学院研究科  | 収容定員 (a) | 収容数 (b) | 定員充足率<br>(b)/(a) × 100 | 定員充足率の推移 (%) |      |      |      |      |      |
|------------|--------------|----------|---------|------------------------|--------------|------|------|------|------|------|
|            |              |          |         |                        | 18年度         | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
| 文学         | 計            | 389人     | 317人    | 81%                    | 115          | 114  | 112  | 111  | 109  | 81   |
| 内訳         | 文学部          | 360人     | 302人    | 84%                    | 116          | 117  | 115  | 113  | 112  | 84   |
|            | 国文学科         | 180人     | 149人    | 83%                    | 113          | 114  | 113  | 110  | 111  | 83   |
|            | 英文学科         | 180人     | 153人    | 85%                    | 119          | 120  | 116  | 117  | 113  | 85   |
|            | 大学院 文学研究科    | 29人      | 15人     | 52%                    | 100          | 79   | 83   | 83   | 66   | 52   |
| 人間環境学      | 計            | 384人     | 319人    | 83%                    | 115          | 114  | 110  | 110  | 111  | 83   |
| 内訳         | 人間環境学部       | 360人     | 295人    | 82%                    | 113          | 112  | 110  | 111  | 111  | 82   |
|            | 環境理学科        | 120人     | 98人     | 82%                    | 119          | 114  | 113  | 113  | 109  | 82   |
|            | 栄養健康科学科      | 120人     | 99人     | 83%                    | 112          | 112  | 112  | 112  | 112  | 83   |
|            | 生活環境学科       | 120人     | 98人     | 82%                    | 108          | 111  | 105  | 108  | 111  | 82   |
|            | 大学院 人間環境学研究科 | 24人      | 24人     | 100%                   | 146          | 138  | 113  | 100  | 121  | 100  |
| 国際文理学      |              |          |         |                        |              |      |      |      |      |      |
| 内訳         | 国際文理学部       | 960人     | 250人    | 26%                    |              |      |      |      |      | 26   |
|            | 国際教養学科       | 540人     | 143人    | 26%                    |              |      |      |      |      | 26   |
|            | 環境科学科        | 280人     | 71人     | 25%                    |              |      |      |      |      | 25   |
|            | 食・健康学科       | 140人     | 36人     | 26%                    |              |      |      |      |      | 26   |

#### 収容定員と収容数に差がある場合の主な理由

文学部、人間環境学部については、22年度の入学生をもって募集を停止したため、収容数が収容定員を下回っている。  
国際文理学部については、23年度に新たに設置された学部のため、収容数が収容定員を下回っている。

#### 4. 審議機関情報

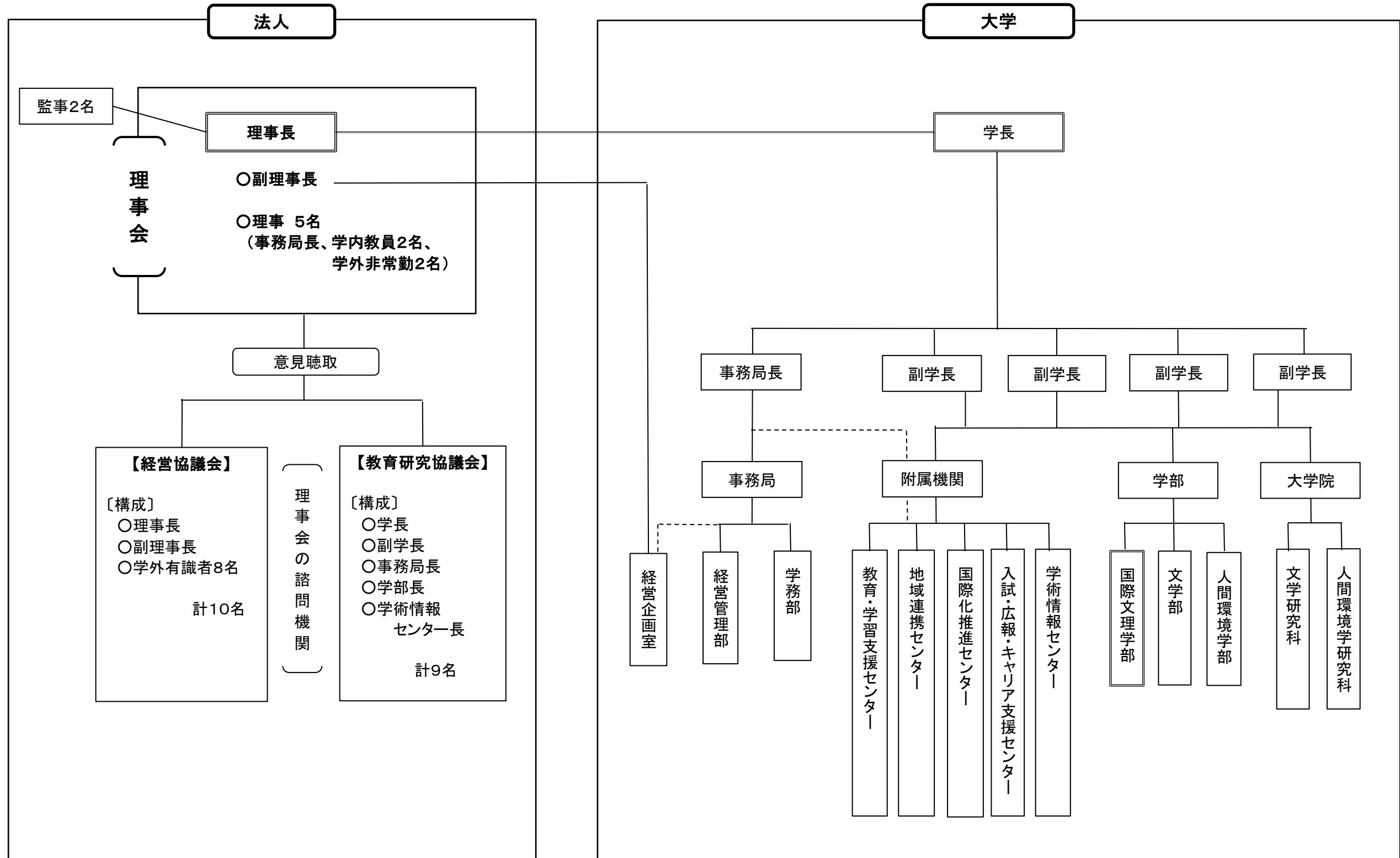
##### (1) 経営協議会

| 区分   | 氏名     | 任期                | 現職                 |
|------|--------|-------------------|--------------------|
| 理事長  | 梶山 千里  | H23.4.1～H24.3.31  |                    |
| 副理事長 | 山田 幸正  | H23.4.1～H24.3.31  |                    |
| 学外委員 | 川原 正孝  | H22.4.1～H24.3.31  | (株)ふくや代表取締役社長      |
|      | 喜多 悦子  | H22.4.1～H24.3.31  | 日本赤十字九州国際看護大学学長    |
|      | 田中 妙子  | H22.4.1～H24.3.31  | 福岡県立香住丘高等学校校長      |
|      | 土屋 直知  | H22.4.1～H24.3.31  | 株式会社正興電機製作所最高顧問    |
|      | 福田 順子  | H22.4.1～H23.5.29  | 学校法人筑紫海学園理事長、同窓会会長 |
|      | 山本 津弥子 | H23.5.30～H24.3.31 | 福岡女子大学同窓会筑紫海会会長    |
|      | 安武 秀明  | H22.4.1～H24.3.31  | 西日本新聞社報道センター本部長    |
|      | 山口 徹也  | H22.4.1～H24.3.31  | ひびきの会計事務所公認会計士・税理士 |
|      | 高島 宗一郎 | H22.12.7～H24.3.31 | 福岡市長               |

##### (2) 教育研究協議会

| 区分      | 氏名     | 任期                | 現職                         |
|---------|--------|-------------------|----------------------------|
| 学長(理事長) | 梶山 千里  | H23.4.1～H25.3.31  |                            |
| 学部長     | 向井 剛   | H23.4.1～H.25.3.31 | 文学部長(H23.12.6より副学長兼務)      |
|         | 小泉 修   | H23.4.1～H.25.3.31 | 人間環境学部長                    |
|         | 西田 ひろ子 | H23.4.1～H.25.3.31 | 国際文理学部長                    |
| 学内組織の長  | 甲斐 裕   | H23.4.1～H.25.3.31 | 副学長(兼理事)                   |
|         | 今井 明   | H23.4.1～H.25.3.31 | 副学長(兼理事)                   |
|         | 田中 一弘  | H23.4.1～H.25.3.31 | 事務局長                       |
|         | 森 邦昭   | H23.4.1～H.25.3.31 | 学術情報センター長                  |
|         | 吉村 利夫  | H23.4.1～H.25.3.31 | 地域連携センター長(H23.12.6より副学長兼務) |

公立大学法人福岡女子大学の組織



## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|              |  |
|--------------|--|
| 中期目標<br>1 教育 | 「職場、家庭、地域など社会の様々な分野において、重要な役割を担うことができるよう、コミュニケーション能力、判断力、実行力を身に付けた女性を育成する。」<br><br>(1) 特色ある教育の展開<br>福岡女子大学は、自らの言葉で相手と対話し、理解させることができるコミュニケーション能力、的確に課題を解決できる判断力、自らの役割を認識して責任ある行動をとることができる実行力を育成するための教育を実施する。<br>(2) 教員の教育能力の向上<br>教員の個人業績評価制度と任期制を導入し、教育能力の向上と教育活動の活性化を図る。個人業績の評価は授業活動を中心として行い、その結果を人事や給与に反映させ、教員の職務へのインセンティブの付与を図る。<br>(3) 優秀な学生の確保・育成<br>大学が求める優秀な学生を確保するため、高校訪問、出前講義、オープンキャンパスなどの広報活動を充実させ、高校生等に福岡女子大学の魅力を広く伝える。また、特待生制度の導入、入試方法の見直し、厳格な成績評価の実施などにより、優秀な学生を選抜し、育成する。<br>シラバスに、各科目の到達目標と成績評価基準を明確に示して学生の目標設定を容易にし、学生の学習意欲を高め、自主的な学習を促す。<br>(4) 就職支援の充実<br>就職を希望する学生を支援するため、独自に企画したインターンシップの実施をはじめ、就職先開拓や求人情報の提供など、教職員が一体となって就職支援の充実を図る。<br>また、在学生だけでなく、卒後の未就職者に対しても支援を実施する。 |
|--------------|--|

| 項目  | 実施事項  | 平成23年度計画  | ウエイト  |  | 計画の実施状況 | 自己評価   |    | データ番号 | 通し番号   |    |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
|---|---|---|-------|--|---------|--|----|-------|--|----|-----|-----|-----|-----|----------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
|   |   |   | 中期    | 年度   |         | 中期<br>↓<br>変更  | 年度 |       | 中期<br>↓<br>年度  | 年度 |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 1 教養教育<br>女子大学の使命として、学生に一人の人間として自分がどうあるべきか、社会にどう参画していくかを考えることのできる高い教養を身に付けさせる。この教養教育によって、学生に今自分が置かれている状況を見極めさせ、どのような目標に向かって進むべきかを考えさせ、目標実現のために主体的、創造的に行動していく実践力をもたせる。<br>また、人生観・職業観を育てるキャリア意識教育を行い、学生に自立した女性としての自己を確立させ、学生一人一人のキャリア実現を図る。 | 1 【理解力・思考力・洞察力を育成する科目群の充実】<br>学生に現代社会を力強く生き抜く能力をつけさせる教養教育を行うために、現在の全学共通科目のうち、総合講座と個別講義の科目を再編統合する。(「異文化理解と国際化」「社会生活と法」「生命と倫理」などの科目を中心とした再編統合)<br><br>○達成目標<br>・学生の成績 : B以上60%<br>・学生による授業評価 : 4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動) : B以上75% | 1-1 【平成23年度計画】<br>○学生の理解力・思考力・洞察力を育成するため、既存学部において、学生の理解力・思考力・洞察力の育成を直接の目的とする「学問基礎論」相当科目を設定・開講する。<br>○新学部においては、幅広い分野に亘る理解力・思考力・洞察力を育成する教育(文・理統合教育)のための新しい科目を設定し、既存学部生に対しても聴講を勧奨するとともに時間割を工夫して聴講しやすくする。<br>(総合科目)「グローバル化と多様性社会」「地球環境と人類の未来」「現代社会における生命と健康」(文理統合科目)「国際食文化論」「日本文化の科学的解析」(2年次開講)「国際開発論」(2年次開講) 等<br>○数値目標<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75% | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○既存学部…「学問基礎論」について、HPを通じてその考え、講義科目などを紹介し、「学問基礎論」相当科目として、学部共通教養的科目、学科専門の学問世界への導入教育などの科目を開講した。<br>○新学部 …文理統合教育の考えに基づいて、各種総合科目を開講した。<br>・総合科目 「グローバル化と多様性社会」「地球環境と人類の未来」「現代社会における生命と健康」<br>・文理統合科目 「国際食文化論」<br>更に、学問的な知識、方法、考え方を身に付けて、様々な場面で活用することのできる学問力を養うことを目的に、「ファーストイヤー・ゼミⅠ・Ⅱ」を開講した。<br>○既存学部の学生にも新学部科目の受講を認めた。<br><br>○目標実績<br>・学生の成績評価B以上 85.8%<br>・学生による授業評価4以上 70.7% | B       | 既存学部においては、昨年度に引き続き、「学問基礎論」相当科目を開講した。新学部においては、各種総合科目を開講するとともに、既存学部の学生も新学部の科目を受講できるようにしており、年度計画を十分に実施している。 |    | 1     |  |    |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
|   |   | 2   |       |  |         |  |    |       | 【中期目標期間の実施状況】<br>①「学問キャリア導入教育科目」の導入を決定し、平成20年度から「学問基礎論」相当科目3科目を開講した。<br>②「男女共同参画社会を目指すキャリア教育」が文部科学省の平成19年度現代教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)に選定された。この一環として、特別講演会やキャリア教育シンポジウムを開催した。<br>③平成23年度に開設した国際文理学部において、文理統合教育のための新科目を4科目開講し、既存学部生にも受講を認めた。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>93.6%</td> <td>88.7%</td> <td>79.6%</td> <td>85.8%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>71.1%</td> <td>65.0%</td> <td>57.1%</td> <td>70.7%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="4">未実施</td> </tr> </tbody> </table> ※個人業績評価(授業活動)については、評価の根拠となる学生による授業アンケートからは評価に正しく反映できるデータが得られなかったことから、「未実施」と記載している。<br>以下の項目についても同様 |    | H20 | H21 | H22 | H23 | 学生の成績B以上 | 93.6% | 88.7% | 79.6% | 85.8% | 学生による授業評価4以上 | 71.1% | 65.0% | 57.1% | 70.7% | 個人業績評価(授業活動)B以上 |
|   | H20   | H21   | H22   | H23  |         |  |    |       |  |    |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 学生の成績B以上  | 93.6%   | 88.7%   | 79.6% | 85.8%  |         |  |    |       |  |    |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 学生による授業評価4以上  | 71.1%   | 65.0%   | 57.1% | 70.7%  |         |  |    |       |  |    |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 個人業績評価(授業活動)B以上   | 未実施   |   |       |  |         |  |    |       |  |    |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画            |   | 平成23年度計画  | ウェイト   |  | 計画の実施状況            | 自己評価   |     | データ番号 | 通し番号                       |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
|-----------------|---|---|--|--|--------------------|--|-----|-------|----------------------------|--|-----|-----|-----|----------|-----|-------|------|-------|-------|-------|--------------|--------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-----------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|------|------|------|------|------|-------------|--|---|
| 項目              | 実施事項  |   | 中期   | 年度   |                    | 中期<br>↓<br>変更  | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期   | 年度  |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 2               | 【社会において女性の能力を引き出す科目群の充実・強化】<br>日本及び世界における女性の活動を広く歴史、社会構造・制度、文化面から見る科目群を充実させる。<br>(「女性の現状」「女性と社会」など)<br><br>○達成目標<br>・改善科目数<br>:3科目開講<br>・学生の成績<br>:B以上60%<br>・学生による授業評価<br>:4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>:B以上75%  | 【平成23年度計画】<br>○女性が国際的社會において活躍できる能力を育成するため、次の取組みを行う。<br>・男女共同参画関連科目<br>既存学部(2年生) 4科目開講<br>新学部 全7科目中3科目開講<br>・体験型学習の充実<br>新学部のカリキュラムにおいて、体験型学習を充実させて、これからの社会で自らの生き方を切り拓くことのできる実践的な能力を学生に定着させる。既存学部生に対しても、体験的な学習手法を取り入れた教育の実施に努める。<br>○数値目標<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75% | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○男女共同参画関連科目については、既存学部で5科目(女性学・ジェンダー論、ジェンダーと歴史、ジェンダーの社会学、ジェンダーと法、比較家族論(個別ゼミ))、新学部では全7科目中3科目(ジェンダー、ジェンダーと法、日本女性文化)を開講した。<br>○体験型学習については、新学部において集中的に体験学習科目を実施した。「フィールドスタディー」、「国際インターンシップ」、「フィールドワーク」、「サービスマーケティング」を開講し、それぞれ「事前学習」と、それを踏まえての国内外での「現場体験」、事前学習・現場体験での学びをふりかえり発信する「発展学習」を通して、実社会で自らの生き方を切り拓くことのできる実践的な能力の定着を図った。また、既存学部の学生にも、体験学習科目の受講を認めた。<br><br>○目標実績<br>・学生の成績評価B以上 76.5%<br>・学生による授業評価4以上 94.3% | A                  | 男女共同参画関連科目は、計画を上回って実施した。体験学習科目は、新学部で開講した新しい科目であるが、1年目から全ての科目を開講し、国内外をフィールドとする「現場体験」を積極的に推進した。「事前学習」「発展学習」も精力的に実施し、既存学部の学生に対しても受講を認めた。この科目の受講により、学生は実社会で通用する実践的な力を着実に身に付けている。以上により、年度計画を上回って実施している。   |     | 2     |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
|                 |   |   |  |  |                    |  |     |       | 1                          | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成19年度から、男女共同参画関連科目5科目を開講した。<br>②新学部において、新たに国際的視点を持って女性の活動を考える科目を設定した。<br>③新学部において、体験学習科目を開講し、既存学部生にも受講を認めた。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講科目</td> <td>5科目</td> <td>5科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>5科目(既存学部)、3科目(新学部)</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>98.0%</td> <td>97.6%</td> <td>93.4%</td> <td>95.7%</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>65.5%</td> <td>76.0%</td> <td>93.0%</td> <td>71.4%</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="5">未実施</td> </tr> </tbody> </table> |     | H19 | H20 | H21      | H22 | H23   | 開講科目 | 5科目   | 5科目   | 4科目   | 4科目          | 5科目(既存学部)、3科目(新学部) | 学生の成績B以上 | 98.0% | 97.6% | 93.4% | 95.7% | 76.5%           | 学生による授業評価4以上 | 65.5% | 76.0% | 93.0% | 71.4% | 94.3% | 個人業績評価(授業活動)B以上 | 未実施  |      |      |      |      | B<br>↓<br>A | 既存学部の男女共同参画関連科目の実施に加え、新学部において、新たに国際的視点を持って女性の活動を考える科目を設定した。また、新学部において体験学習科目を開講し、女性が国際的社會において活躍できる能力の強化を図った。以上の点から、中期計画を上回って実施している。<br>なお、従来の男女共同参画科目に新たに国際的視点を取り入れたことや、体験型学習の充実を図ったことにより、前回Bであった自己評価をAに変更する。 | 中期<br>2   |
|                 |   |   |  |  |                    |  |     |       |                            |  |     | H19 | H20 | H21      | H22 | H23   |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 開講科目            | 5科目   | 5科目   | 4科目  | 4科目  | 5科目(既存学部)、3科目(新学部) |  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 学生の成績B以上        | 98.0%   | 97.6%   | 93.4%  | 95.7%  | 76.5%              |  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 学生による授業評価4以上    | 65.5%   | 76.0%   | 93.0%  | 71.4%  | 94.3%              |  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 個人業績評価(授業活動)B以上 | 未実施   |   |  |  |                    |  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 1               | 【平成23年度の実施状況】<br>○既存学部…前期は、個別ゼミを9科目開講し、後期は、個別ゼミを10科目開講した。<br>前期<br>「比較家族論」「アジア経済入門」「政治と芸術」「加藤周一と周辺の人物による著作を読む」「心の性差をめぐって」「美術」「教育格差を考える」「日常生活における化学物質」「生きることの質を考える」<br>後期<br>「暮らしと経済」「にっぽんコミュニケーション文化研究」「嫉妬の人間学」「自分とは何か」「美しいということ」「スポーツ文化論」「スモール・ワールドとネットワークモデル」「大学の教育力を考える」「キャリアを考える」「社会問題研究」<br>○新学部…前期は「ファーストイヤー・ゼミⅠ」を、後期は「ファーストイヤー・ゼミⅡ」を開講し、大学における基礎的な学習スキルの養成、主体的な学びの動機付けやキャリア教育の推進等を行った。全学的に責任をもった教育を行うため、クラスの担当は講師以上の教員の輪番制とした。<br>「ファーストイヤー・ゼミ」の更なる充実を求めて、科目の目的、到達点、教育内容、成績評価基準等の標準化を図った。また、24年度前期の「ファーストイヤー・ゼミⅠ」で使用するための学部共通資料『学問キャリアの作り方 2012年度 ファーストイヤー・ゼミⅠ ハンドブック』の原案をまとめた。<br><br>○目標実績<br>・学生の成績評価B以上 95.2%<br>・学生による授業評価4以上 81.9% | A   | 既存学部における個別ゼミは、前年度よりも科目数を増やした。新学部については、「ファーストイヤー・ゼミⅠ・Ⅱ」を開講し、初年次教育の充実を図った。また、「ファーストイヤー・ゼミ」の更なる充実を図るため検討を重ね、ハンドブックの原案をまとめるに至った。これにより、年度計画を上回って実施している。 | 3  |                    |  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
|                 |   |   |  |  | 1                  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①個別ゼミについては、平成18年度の14科目から科目数を年々増やし、平成23年度には19科目を開講した。<br>②少人数教育で活用できるFD研修会を開催した。<br>③新学部において、「ファーストイヤー・ゼミⅠ・Ⅱ」を開講し、初年次教育の充実を図った。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td></td> <td>97.4%</td> <td>100%</td> <td>98.1%</td> <td>95.9%</td> <td>95.2%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td></td> <td>75.5%</td> <td>84.9%</td> <td>82.6%</td> <td>93.8%</td> <td>81.9%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="6">未実施</td> </tr> <tr> <td>(参考実績)個別ゼミ開講数</td> <td>14科目</td> <td>15科目</td> <td>15科目</td> <td>16科目</td> <td>18科目</td> <td>19科目</td> </tr> </tbody> </table> |     | H18   | H19                        | H20  | H21 | H22 | H23 | 学生の成績B以上 |     | 97.4% | 100% | 98.1% | 95.9% | 95.2% | 学生による授業評価4以上 |                    | 75.5%    | 84.9% | 82.6% | 93.8% | 81.9% | 個人業績評価(授業活動)B以上 | 未実施          |       |       |       |       |       | (参考実績)個別ゼミ開講数   | 14科目 | 15科目 | 15科目 | 16科目 | 18科目 | 19科目        | B<br>↓<br>A  | 既存学部における個別ゼミの着実な実施と充実に加え、新学部での多くの教員の参加による「ファーストイヤー・ゼミ」の開講により、初年次教育の充実や、主体的な学びの動機付けを図ることで、学生一人ひとりのキャリア実現に向けた支援体制を充実させた。以上により、中期計画を上回って実施している。<br>なお、個別ゼミの科目数を年々増やしていることや、「ファーストイヤー・ゼミ」の更なる充実を図り、その検討の結果ハンドブックの原案をまとめるに至ったことにより、前回Bであった自己評価をAに変更する。 |
|                 | H18   | H19   | H20  | H21  |                    |  | H22 | H23   |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 学生の成績B以上        |   | 97.4%   | 100%   | 98.1%  | 95.9%              | 95.2%  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 学生による授業評価4以上    |   | 75.5%   | 84.9%  | 82.6%  | 93.8%              | 81.9%  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| 個人業績評価(授業活動)B以上 | 未実施   |   |  |  |                    |  |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |
| (参考実績)個別ゼミ開講数   | 14科目  | 15科目  | 15科目   | 16科目   | 18科目               | 19科目   |     |       |                            |  |     |     |     |          |     |       |      |       |       |       |              |                    |          |       |       |       |       |                 |              |       |       |       |       |       |                 |      |      |      |      |      |             |  |   |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画            |  | 平成23年度計画 | ウェイト  |       | 計画の実施状況  | 自己評価          |   | データ番号               | 通し番号                       |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
|-----------------|--|----------|---|-------|--|---------------|---|---------------------|----------------------------|-----|------------|----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|--|-----|-----|-----|-----|------------|----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|--|-----|-----|-----|-----|------------|----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|-----|--|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|--|--|--|--|-----|---|--|
| 項目              | 実施事項   |          | 中期  | 年度    |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |                     | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度         |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 4               | 【英語総合能力(読解・表現・聴解)を養成する科目群の強化】<br>国際社会において高いキャリアを実現させるために、英語能力を養成する科目群を強化する。<br><br>○達成目標<br>・TOEIC取得点数<br>英文学科<br>:650点以上80%<br>国文学科<br>:500点以上80%<br>人間環境学部<br>:500点以上80%<br>・学生の成績<br>:B以上60%<br>・学生による授業評価<br>:4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>:B以上75% | 4-1      | 【平成23年度計画】<br>○総合的な英語力の養成<br>・新学部開設に伴い、2年生以上の旧カリキュラムによる「英語」と、1年生のAEP(学術英語プログラム)授業での少人数・技能別「英語」が共存する形での授業運営となるため、2年生以上に対し、より英語総合能力を測ることのできるTOEFL試験の受験推奨や授業時間外及び長期休業中にTOEFL等の講座・補習を開講する等「総合的な英語力の養成」を積極的に行い、1年生への教育の質・内容とに著しい開きが生じないように配慮する。また、AEP教員との連携を図りながら、上級生への自学支援を行う。<br>○数値目標<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60% | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○2年生以上の学生に対しTOEFL試験の受験推奨を行い、6月と12月に実施したTOEFL ITP試験を延べ21人が受験した。<br>○9月に全学対象の「夏季英語集中講座」を実施した。<br>○12月に全学対象の英語教育特別講演会を実施した。<br>○総合的な英語力強化のため、新学部の学生向けに開講した海外語学研修やフィールドスタディなどの海外実習科目の履修を2年生以上の学生にも正式に認めた。<br>○「英語教育検討部会」を設置し、「各学科の専門科目等への英語による授業の導入」等、英語教育改善等に係る諸課題の検討を行い、その結果について、国際文学部教授会、教務部会に対し、最終答申を行った。<br><br>○目標実績<br>・学生の成績評価B以上 85.9%<br>・学生による授業評価4以上 91.7%  | B             | 2年生以上の学生に対し、1年生への教育の質・内容とに著しい開きが生じないように配慮した。AEP教員との連携には至らなかったものの、新学部の学生向けに開講した海外語学研修やフィールドスタディ等の海外実習科目を受講できる体制を構築した。また、TOEFL試験の受験推奨や英語力を養成する講座や講演会も実施した。更に、より強力な英語教育の推進を図るため、「英語教育検討部会」による検討を行った。これにより、年度計画を概ね実施している。 |                     | 4                          |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
|                 |  | 4-2      | 【平成23年度計画】<br>○TOEIC教育専門部会を中心に、TOEIC等のテスト実施及び学習支援に取り組む。<br>・授業の一環として、年2回のTOEICテスト(2、3年生は受験を義務付け)を実施して、継続的な学習による英語能力の向上を図る。<br>・全学生を対象に、授業時間外及び長期休業中にTOEICの講座・補習を開催する。<br>○数値目標<br>・TOEICテスト<br>英文学科650点以上60%、<br>国文学科・人間環境学部500点以上60%   | 2     | 【平成23年度の実施状況】<br>○7月に2、3年生対象のTOEIC(I・P)テストを実施したが、受験後のベストスコア(3年生)は、22年度を下回った。<br>このため、10月以降、3年生で学内TOEICを本学の規定回数(3年生までに5回)受験していない学生を確認し、年度内に実施予定のTOEICテスト(うち1回は学内実施、2回は生協主催)を受験するよう強く呼びかけた。しかし、実受験者は5名程度で、スコアの伸びには至らなかった。<br>○2月18日に「英語学習特別講演会」を実施した。<br>『週刊ST』編集部の高橋敏之氏による「やり直しの英文法と効率の良い英語上達法」<br>○2月19日に「英文法集中講座」を実施した。<br>内容:TOEIC受験においてスコアが伸び悩む「リーディング」の中で特に[文法]の強化に焦点を当てた講義<br><br>○目標実績<br>・TOEICテスト(4年卒業時点での各学生の最高得点)<br>英文学科650点以上44%、国文学科500点以上50%、人間環境学部500点以上57%<br><br>[参考]<br>※22年度と23年度の3年生のベストスコア比較<br>英文650以上:44%→38% 国文500以上:50%→34% 人間環境学部500以上:57%→33%   | C             | TOEICテストの実施とテスト受験への呼びかけ、TOEIC対策の講座開催等、学生に学習継続の動機付けを与えつつ、個々の学習進捗を図る機会を提供したが、数値目標の達成には至らなかった。   | No.9「資格試験合格率、免許の取得」 | 5                          |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
|                 |  |          |   |       | 【中期目標期間の実施状況】<br>①英語学習に関する特別講演会を開催し、学生の英語学習への動機付けを図った。<br>②英語能力養成に向け、平成21年度からクラス増や希望選択制の導入により、きめ細やかな指導を心掛けた。<br>③学内一斉TOEICテストの実施とカレッジTOEIC(生協主催)の実施により、学習機会を随時提供した。<br>④TOEIC強化補習を実施した。<br>⑤新学部において開講した海外語学研修やフィールドスタディなどの海外実習科目について、既存学部の学生にも受講を認めた。<br><br>○目標実績<br>TOEICテスト(18年度入学生の各年度における各々の最高得点)<br><table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>英文学科650点以上</td><td>8%</td><td>35%</td><td>43%</td><td>43%</td></tr> <tr><td>国文学科500点以上</td><td>33%</td><td>51%</td><td>53%</td><td>55%</td></tr> <tr><td>人間環境学部500点以上</td><td>42%</td><td>52%</td><td>53%</td><td>55%</td></tr> </tbody> </table> TOEICテスト(19年度入学生の各年度における各々の最高得点)<br><table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>英文学科650点以上</td><td>4%</td><td>31%</td><td>42%</td><td>46%</td></tr> <tr><td>国文学科500点以上</td><td>34%</td><td>38%</td><td>40%</td><td>40%</td></tr> <tr><td>人間環境学部500点以上</td><td>44%</td><td>51%</td><td>52%</td><td>52%</td></tr> </tbody> </table> TOEICテスト(20年度入学生の各年度における各々の最高得点)<br><table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>英文学科650点以上</td><td>4%</td><td>33%</td><td>44%</td><td>44%</td></tr> <tr><td>国文学科500点以上</td><td>20%</td><td>42%</td><td>50%</td><td>50%</td></tr> <tr><td>人間環境学部500点以上</td><td>28%</td><td>54%</td><td>57%</td><td>57%</td></tr> </tbody> </table><br><table border="1"> <thead> <tr><th></th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>学生の成績B以上</td><td>93.9%</td><td>92.1%</td><td>86.9%</td><td>88.7%</td><td>85.9%</td></tr> <tr><td>学生による授業評価4以上</td><td>72.0%</td><td>78.0%</td><td>81.4%</td><td>83.1%</td><td>91.7%</td></tr> <tr><td>個人業績評価(授業活動)B以上</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>未実施</td></tr> </tbody> </table> |               | H18   | H19                 | H20                        | H21 | 英文学科650点以上 | 8% | 35% | 43% | 43% | 国文学科500点以上 | 33% | 51% | 53% | 55% | 人間環境学部500点以上 | 42% | 52% | 53% | 55% |  | H19 | H20 | H21 | H22 | 英文学科650点以上 | 4% | 31% | 42% | 46% | 国文学科500点以上 | 34% | 38% | 40% | 40% | 人間環境学部500点以上 | 44% | 51% | 52% | 52% |  | H20 | H21 | H22 | H23 | 英文学科650点以上 | 4% | 33% | 44% | 44% | 国文学科500点以上 | 20% | 42% | 50% | 50% | 人間環境学部500点以上 | 28% | 54% | 57% | 57% |  | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | 学生の成績B以上 | 93.9% | 92.1% | 86.9% | 88.7% | 85.9% | 学生による授業評価4以上 | 72.0% | 78.0% | 81.4% | 83.1% | 91.7% | 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |  |  |  | 未実施 | B | 英語総合能力を養成するために、学内一斉TOEICテストやカレッジTOEICの実施、TOEIC強化補習や正課外の講演会の実施など、様々な取り組みを行った。また、クラス数の増や希望選択制の導入など、きめ細やかな指導を行った。更に、新学部の学生向けに開講した海外語学研修やフィールドスタディなどの海外実習科目を既存学部2年生以上の学生も受講できる体制の構築や、「英語教育検討部会」の設置・検討等、多様な試みを行った。中期計画期間の自己評価については、TOEICテスト取得点数の目標達成には至らなかったが、全学の取り組みは周知され、学生・学内に「学び続ける意義と重要性」は浸透しており、以上の点から中期計画を概ね実施していると判断する。 |
|                 | H18  | H19      | H20   | H21   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 英文学科650点以上      | 8%   | 35%      | 43%   | 43%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 国文学科500点以上      | 33%  | 51%      | 53%   | 55%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 人間環境学部500点以上    | 42%  | 52%      | 53%   | 55%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
|                 | H19  | H20      | H21   | H22   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 英文学科650点以上      | 4%   | 31%      | 42%   | 46%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 国文学科500点以上      | 34%  | 38%      | 40%   | 40%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 人間環境学部500点以上    | 44%  | 51%      | 52%   | 52%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
|                 | H20  | H21      | H22   | H23   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 英文学科650点以上      | 4%   | 33%      | 44%   | 44%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 国文学科500点以上      | 20%  | 42%      | 50%   | 50%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 人間環境学部500点以上    | 28%  | 54%      | 57%   | 57%   |  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
|                 | H19  | H20      | H21   | H22   | H23  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 学生の成績B以上        | 93.9%  | 92.1%    | 86.9%   | 88.7% | 85.9%  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 学生による授業評価4以上    | 72.0%  | 78.0%    | 81.4%   | 83.1% | 91.7%  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |
| 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |          |   |       | 未実施  |               |   |                     |                            |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |            |    |     |     |     |            |     |     |     |     |              |     |     |     |     |  |     |     |     |     |     |          |       |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |  |  |  |  |     |   |  |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画 | ウェイト  |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |  | データ番号 | 通し番号                       |    |
|------|--|----------|---|----|--|---------------|--|-------|----------------------------|----|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期  | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 |
| 5    | 【コンピュータによるデータ管理・文書編集・通信等の能力を養成する科目の拡充】<br>高度情報社会において高いキャリアを実現させるために、情報処理能力を養成する科目を拡充する。〔情報科学の基礎と演習〕を中心とした拡充〕<br><br>○達成目標<br>・情報処理資格試験<br>：受験率在学生の50%<br>：合格率60%<br>・学生の成績：B以上60%<br>・学生による授業評価<br>：4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>：B以上75% | 3-1      | 【平成23年度計画】<br>○新学部において情報科学科目の更なる充実のため、新たな情報活用科目を実施する。<br>・コンピュータの基本的な利用方法を指導するための科目「情報リテラシー」<br>・更に進んだ情報活用能力を修得することを目的とした基本的なデータ解析演習を行う科目「情報インテリジェンス」<br>・情報関連資格試験の説明会や講習会を開催し、受験の支援を行う。<br>○数値目標<br>・情報処理資格試験 合格率(1年生)80%<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75% | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○1年生に向けて、前期に「情報リテラシー」を開講し、後期に必修科目として「情報インテリジェンス」を開講して、基本的なコンピュータの利用方法と基本的なデータ解析の方法を取得させた。<br>○全1年生に自分用のノートパソコンを購入させ、メールやインターネットなどの利用体制を整えた。<br>○「ファーストイヤー・ゼミ」等において、様々なテーマについての情報収集を基にした自主的な学習・発表を進め、学生がコンピュータを利用する機会を増やした。<br>○後期に情報関連資格試験の講習会を開講し、コンピュータ資格の取得を支援した。(7回実施、受講者12名)<br><br>○目標実績<br>・情報処理資格試験 合格率(1年生) 受験者0名<br>・学生の成績評価B以上 90.4%<br>・学生による授業評価4以上 87.0%                | B             | 全1年生に、自分のノートパソコンを使っの基本的なコンピュータの利用とデータ解析の方法を習得させた。情報関連資格試験については、講習会を実施し、資格取得を支援したが、受験には繋がらなかった。しかし授業に関連した情報収集や資料作成等のコンピュータ利用機会の増加により、現在、学生のコンピュータ技術は、Web検索、メール、ソーシャルメディアを利用したコミュニケーション、文書作成、表計算、画像処理、プレゼンテーション、データ処理・解析、統計処理などの基礎的技術に関しては、全く問題の無いレベルとなっている。以上により、年度計画を概ね実施している。 |       | 6                          |    |
|      |  |          |   | 1  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①情報処理能力養成のため、平成19年度にe-learningを導入した。<br>②プレゼンテーション能力向上を図るため、平成20年度にパワーポイントプレゼンテーション学習を導入した。<br>③情報処理関連資格取得の促進のため、受験奨励制度(受験費補助)や情報処理資格試験対策講座を実施した。<br>④新学部において、「情報リテラシー」、「情報インテリジェンス」を開講した。<br><br>○目標実績   | B             | 既存学部における情報科学関連教育科目の着実な実施に加え、新学部では、「情報リテラシー」と「情報インテリジェンス」を開講して、基本的なコンピュータの利用方法とデータ解析の方法を取得させた。また、新学部における自分のノートパソコンを使っの情報収集を基にした自主的な学習により、コンピュータに関する基礎的技術を十分に身に付けさせた。これにより、中期計画を十分に実施している。   | 中期    | 5                          |    |
|      |  |          |   |    |  |               |  |       |                            |    |
| 6    | 【ボランティア活動等の単位認定制度の導入】<br>学生の社会性や協調性、行動力、指導力を養成するために、ボランティア活動などのさまざまな自主的な活動について単位認定を行う制度を導入する。<br><br>○達成目標<br>・ボランティア先の学生に対する評価<br>：良好評価50%以上<br>・学生の成績<br>：B以上60%<br>・学生による授業評価<br>：4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>：B以上75%                | 6-1      | 【平成23年度計画】<br>○学生の社会性や協調性、行動力、推進力を養成する活動への単位認定を行う。<br>・既存学部 人間環境学演習で実施するボランティア活動の単位認定(継続)<br>・新学部 体験学習科目(フィールドスタディ、フィールドワーク等)の実施<br>活動テーマ：「持続可能な暮らし」(オーストラリア)<br>「国際開発協力」(スリランカ)<br>「福津市との包括連携協定による各プログラム」<br>「JAとの連携による朝倉市での農業体験プログラム」等  | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○評価委員会からの指摘(ボランティア活動に対する単位制度はその目的や内容が明確でなく改善が必要)も鑑み、本計画については単位認定制度を導入することとした本来の主旨である。社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取り組みと位置付け取り組んだ。<br>既存学部…これまで実施していた人間環境学演習で実施するボランティア活動の単位認定については、既に履修登録した学生がおり、継続して実施(平成23年度は2、3、4年生の内56名が履修登録済)<br>新学部…体験学習科目を実施<br>「国際開発協力」(スリランカ)、「環境問題・持続可能性」(オーストラリア)、「リーダーシップとキャリア」、「福津市との包括連携協定による各プログラム」(通年)、「朝倉市での農業体験プログラム」(通年)<br>○体験学習科目については、既存学部生も受講可能とした。 | B             | 新学部の学生については体験学習を通して、既存学部の学生については、人間環境学演習で社会性や協調性、行動力、指導力を培った。また、体験学習科目について、既存学部生も受講可能とした。以上により、年度計画を十分に実施している。   |       | 7                          |    |
|      |  |          |   |    | 【中期目標期間の実施状況】<br>①ボランティア活動の単位認定については、平成19年度から「人間環境学演習」において、一定のボランティア活動に対し試験的に導入した。<br>②全学的な導入について検討したが、単に活動に対する単位認定ではなく、大学で学ぶ講義と関係させたり、或いは講義の理解を深めるための活動として単位化すべきとの結論に至り、試験的導入の継続実施となった。<br>③福岡県公立大学法人評価委員会からの指摘も鑑み、本計画については単位認定制度を導入することとした本来の主旨である。社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取組と位置付け、平成23年度から新学部で体験学習を実施するとともに既存学部の学生にも受講を認めた。<br><br>○目標実績  | B             | 評価委員会からの指摘を鑑み、本計画を単位認定制度を導入することとした本来の主旨である。社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取り組みと位置付け、新学部で体験学習科目を設定し、既存学部生も受講可能とした。これにより、中期計画を十分に実施している。  | 中期    | 6                          |    |
|      |  |          |   |    |  |               |  |       |                            |    |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画 |   | 平成23年度計画 | ウェイト   |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |   | データ番号           | 通し番号                       |  |   |   |             |
|------|---|----------|--|----|--|---------------|---|-----------------|----------------------------|--|---|---|-------------|
| 項目   | 実施事項  |          | 中期   | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |                 | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期   | 年度  |   |             |
| 7    | 【1年次から4年次までを通した、体系的なキャリア教育の実施】<br>1年次学生に対して、人生観・職業観を育成する教育を行う。(キャリア・ガイダンス)<br>2年次学生に対して、適性・進路を選択させる教育を行う。(キャリア・デザイン)<br>3年次学生に対して、自己確立・専門性の深化・職業技能の習得に役立つさまざまな機会を提供する。(キャリア・トレーニング)<br>4年次学生に対して、進路実現の活動を最後まで支援する。(キャリア・リライゼーション)<br><br>学生の就職希望進路を公務員・教員・一般企業の3種類に大別し、それぞれに応じた講座(公務員養成講座・教員試験対策講座・教養試験対策講座)を提供する。<br><br>○達成目標<br>・開設科目数<br>:最大8科目(平成19年度より順次開講)<br>・学生の成績<br>:B以上60%<br>・学生による授業評価<br>:4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>:B以上75%<br>・インターンシップ<br>:参加率30%以上<br>・インターンシップ先アンケート<br>:良好評価60%以上<br>・就職関連講座受講率<br>:平成22年度までに在学生の60%<br>・公務員合格者数<br>:6年間に50人以上<br>・公私立教員採用者数<br>:6年間に50人以上<br>・企業内定率<br>:95%以上 | 7-1      | 【平成23年度計画】<br>○キャリア教育の実施<br>・既存学部については、職業キャリア導入科目(1科目)を開講する。(2年生)<br>・新学部においては、1年次に必修科目でキャリア教育として、「ファーストイヤー・ゼミ」を実施する。また、体験学習科目や全寮制教育の実施により、学生のキャリア形成を支援する。<br>○数値目標<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75% | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○既存学部においては、後期に職業キャリア導入科目「キャリア・デザインⅡ」を実施した。<br>○新学部において、「ファーストイヤー・ゼミⅠ」、「ファーストイヤー・ゼミⅡ」を実施するとともに、体験学習(フィールドスタディ)や全寮制教育を通じ、学生のキャリア形成を支援した。  | B             | 新学部については、「ファーストイヤー・ゼミⅠ」、「ファーストイヤー・ゼミⅡ」を実施するとともに、体験学習(フィールドスタディ)や全寮制教育を通じ、学生のキャリア形成を支援した。既存学部については、「キャリア・デザインⅡ」を実施し、社会人講師を招聘し学生のキャリア形成を支援した。以上のことより、年度計画を十分に実施している。  | No.15「インターンシップ」 | 8                          |  |   |   |             |
|      |   | 7-2      | 【平成23年度計画】<br>○インターンシップの実施<br>・福岡県インターンシップ推進協議会を通じたインターンシップ及び大学独自の企画によるインターンシップを実施する。<br>・ゼミの教員との連携により、参加率の向上を図る。<br>○数値目標<br>・参加率30%、アンケート良好評価75%以上   |    | 【平成23年度の実施状況】<br>○大学独自の企画によるインターンシップは、23年度は先方の都合等もあり実施に至らなかったが、福岡県インターンシップ推進協議会の夏季インターンシップには、本学から53人の応募があり、抽選の結果、24人が参加した。また、昨年度はほとんど参加がなかった同協議会の春季インターンシップには、2年生向けの「キャリアガイダンス」を3回程実施し積極的に参加を推奨することで、27人の応募があり、抽選の結果、20人が参加した。これ以外にも、積極的に外部のインターンシップ情報を提供することにより11人の参加があり、結果として全体で55人の参加となった。<br><br>○目標実績<br>参加率:30.6%(55人/180人=1学年定員)<br>アンケート良好評価:72.7% |               |   |                 |                            | B  | 大学独自の企画によるインターンシップは実施できなかったものの、福岡県インターンシップ推進協議会のインターンシップへの参加を積極的に推奨し、また、外部のインターンシップ情報を積極的に提供することにより、参加率は数値目標に到達した。これにより、年度計画を十分に実施している。 | No.19「就職状況」   | 9           |
|      |   | 7-3      | 【平成23年度計画】<br>○就職関連講座、キャリアコンサルティングの実施<br>・就職関連講座は、「就職対策講座」「教員試験対策講座」「公務員試験対策講座」の3種類を提供する。<br>・キャリアコンサルティングを年間延べ350人に対して実施する。<br>○数値目標<br>・就職関連講座受講率 在学生(3年生)の60%<br>・公務員合格者数6人、教員採用者数8人<br>・就職率 90%                            |    | 2  |               |   |                 |                            | 【平成23年度の実施状況】<br>○就職関連講座は、「就職対策講座」(全員対象:9回、その他希望者対象講座:9回、企業セミナー等:6回)、「教員試験対策講座」(7回)、「公務員試験対策講座」(262回)の3種類を実施した。キャリアコンサルティングに関しては、学内に常駐する就職支援員2名が「キャリアカウンセラー」の資格を持って学生に対応しており、外部のキャリアカウンセラーの相談件数は前年度と比べて減少(135件)しているが、個別面談やグループディスカッション、模擬面談の指導等の学生サービスは以前よりも向上した。<br>○平成23年度は、「就職対策講座」を全面的に見直した。具体的には、これまでの一般的な就職対策の講座を、本学学生の動向を踏まえ、「就職支援員」の現場の声を反映しながら、本学の課題の確認と、月々の「本学学生が身につけるべき力」の目標設定を行い、外部企業と連携しながら実施するものとした。また「公務員対策講座」も、昨年の厳しい実績を踏まえ、講座内容の十分な検討を行い、講座実施企業の選定を行った。<br><br>○目標実績<br>・就職関連講座受講率 在学生(3年生)の52.1%<br>【延べ:844人/1620人(3年生定員:180人×9回)】<br>・公務員合格者数 14人<br>・教員採用者数 4人<br>・就職率 94.6% | A   | 就職関連講座については、より有効なものとなるよう見直しを行った。また、キャリアコンサルティングの実施については、「キャリアカウンセラー」の資格を持つ常駐の就職支援員の対応により、以前よりも学生サービスが向上した。特に、23年度の就職率94.6%は、昨年の就職率に比べ、2.5ポイント増であり、過去10年の中でも、最も高い就職率となっており、厳しい経済状況の中で就職支援の結果が出たものと言える。以上により、年度計画を上回って実施している。 | No.19「就職状況」 |
|      |   |          | 【中期目標期間の実施状況】<br>①職業キャリア導入プログラムを開設し、本カリキュラムを含むキャリア教育プログラムが文部科学省平成19年度現代GPIに採択された。<br>②県インターンシップ推進協議会を通じたインターンシップや、大学独自の企画によるインターンシップを実施した。<br>③就職関連講座や、キャリアコンサルティングを実施した。<br><br>○目標実績   | 2  |  | A             | 「入試広報・キャリア支援センター」と「教育学習支援センター」が連携し、学生のキャリア形成支援に正課の内外で、積極的に取り組んでいる。中期計画目標の達成については、経済情勢の影響等により、企業内定率等において取り組みの成果が直接的に表れていない年度もあったが、継続的な取り組みの効果が表れ、最終年度において、厳しい経済状況の中、中期計画目標に掲げた就職率をほぼ達成することができた。以上の点から、中期計画を上回って実施している。 | No.19「就職状況」     | 中期<br>7                    |  |   |   |             |
|      |   |          |  |    |  |               |   |                 |                            |  |   |   |             |

# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画   |  | 平成23年度計画 | ウェイト  |       | 計画の実施状況  | 自己評価          |   |                            | 通し番号      |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
|--|--|----------|-------|-------|--|---------------|---|----------------------------|-----------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|----------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期    | 年度    |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | データ<br>番号 | 中期 | 年度  |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 2 専門教育<br>学生が卒業後に安定したキャリアを実現できるように、専門教育を狭い専門性に閉じこめず、関連分野の素養を併せ向上させるカリキュラムとする。実施面では、小規模大学の特徴を生かした少人数教育によりきめ細かな指導体制で当たる。<br><br>1. 文学部<br>国文学・英文学の基礎的知識とともに、今日の高度情報化国際社会に対応できる高い語学力と国際性・社会性・文化理解力を備えた学生を育てる。<br>全学的な「大学改革の推進」(中期計画・項目1-8)に沿った抜本的改革を行う。<br><br>2. 人間環境学部<br>人間環境学部では自然科学分野を統合して教育し、人の健康と環境の関係についての知識と技術を有する人材を育成する。 | 1【文学部:国際文化関連科目の充実】<br>国際社会における「人間と文化」の相互関係を理解し、多文化共生の方法を探ると同時に、自国の特色ある文化の創造に寄与する人材を養成するために、国際文化科目を充実する。ここでは広義の文化(社会・経済・政治・思想・芸術)を理解する総合的知識を与える授業を行う。<br>(「国際関係論」「国際政治学」「国際経済学」「国際社会学」など)<br><br>○達成目標<br>・改善科目数 :平成21年度までに5科目以上<br>・学生の成績 :B以上60%<br>・学生による授業評価 :4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動) :B以上75% | 1-1      | 1     | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○国際文化関連科目を7科目開講した。( )内は受講生数<br>「世界経済入門」(37名)、「朝鮮半島の歴史と社会」(65名)、「国際政治学」(16名)、「異文化間コミュニケーションI」(2名)、「地域・国家・世界」(11名)、「アジア経済事情」(31名)、「異文化間コミュニケーションII」(8名)<br><br>○九州大学、西南学院大学との3大学によるコンソーシアム「EUIJ九州」が4月1日に発足した。この活動の一環で、3大学連携の単位互換プログラム「EUディプロマコース」をスタートさせた。コンソーシアム発足に合わせて、学内で本コースの個別説明会を開催し、他大学でのEU関連科目の受講機会の拡充、履修によるコース修了証明書(ディプロマ)の授与、就職活動における欧州関連企業へのアピール効果等を説明した。また、学内での本コース資料の配布や掲示を積極的に行ない、国際化推進センターを訪問する学生への周知活動も展開した。その結果、本学では68名の学生が登録を行い、連携先の他大学が開講した関連科目等を受講した。<br><br>○数値目標<br>・登録学生数 本学 :68名(登録率8.0%)<br>九州大学 :20名(登録率0.17%)<br>西南学院大学:76名(登録率0.96%)<br><br>○目標実績<br>・学生の成績B以上 87.1%<br>・学生による授業評価4以上 86.9%                                     | A+            | 国際文化関連科目については、計画以上の7科目を実施し、計170名の学生が受講するなど、国際文化関連科目開設のねらいは十分達成されている。また、EUディプロマコースに登録した学生は68名にのぼり、全学生数を考慮した場合、本学の登録率は他大学に比して突出している。以上のことから、年度計画を大きく上回って実施している。 |                            | 11        |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
|  |  |          |       |       | 【中期目標期間の実施状況】<br>①大学改革に先行して、平成20年度から国際文化関連科目を3科目実施した(平成21年度から5科目、平成23年度は7科目実施)<br>②平成23年度から、九州大学、西南学院大学とのコンソーシアム「EUIJ九州」の一環として、単位互換プログラムを開始し、在校生の1割弱が本プログラムに登録した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講科目</td> <td>3科目</td> <td>5科目</td> <td>5科目</td> <td>7科目</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>97.3%</td> <td>97.6%</td> <td>94.6%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>77.8%</td> <td>84.0%</td> <td>88.9%</td> <td>86.9%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table> |               |   |                            |           |    | H20 | H21 | H22 | H23 | 開講科目 | 3科目 | 5科目 | 5科目 | 7科目 | 学生の成績B以上 | 97.3% | 97.6% | 94.6% | 87.1% | 学生による授業評価4以上 | 77.8% | 84.0% | 88.9% | 86.9% | 個人業績評価(授業活動)B以上 |
|  | H20  | H21      | H22   | H23   |  |               |   |                            |           |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 開講科目   | 3科目  | 5科目      | 5科目   | 7科目   |  |               |   |                            |           |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 学生の成績B以上   | 97.3%  | 97.6%    | 94.6% | 87.1% |  |               |   |                            |           |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 学生による授業評価4以上   | 77.8%  | 84.0%    | 88.9% | 86.9% |  |               |   |                            |           |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |
| 個人業績評価(授業活動)B以上  |  |          |       | 未実施   |  |               |   |                            |           |    |     |     |     |     |      |     |     |     |     |          |       |       |       |       |              |       |       |       |       |                 |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画            |  | 平成23年度計画 | ウェイト   |       | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | データ番号               | 通し番号                       |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
|-----------------|--|----------|--|-------|---|---------------|---|---------------------|----------------------------|-----|-----|----------|-----|-------|-------|-------|-------|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|--|--|-----|--|--|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|---|---|
| 項目              | 実施事項   |          | 中期   | 年度    |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |                     | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
| 2               | 【人間環境学部：各学科の特色が輝く教育システムの構築】<br>自然科学と技術の立場から「健康な暮らしと環境」を学ぶことを本学部の専門教育の柱とする。「総合理学」、「栄養と食・健康」、「生活環境の設計・管理」の3つの視点からなる3学科において、それぞれ学問・技術の特色を伸ばす教育システムをつくる。<br>○達成目標<br>・学生の成績<br>：B以上60%<br>・学生による授業評価<br>：4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>：B以上75%<br>・管理栄養士国家試験合格率<br>：平成18年度の新試験システムにおいて、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率。平成19年度に目標値を設定。<br>・インテリアプランナー資格試験合格率<br>：30%以上(全国平均25%)<br>・2級建築士資格試験合格率<br>：20%以上(全国平均15%) | 2-1      | 【平成23年度計画】<br>○23年度から食品衛生監視員及び食品衛生管理者資格(任用)の登録養成施設として、資格取得のための履修指導を行う。<br>○数値目標<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75% | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○当該資格を得るのは新学科のみである。1年生に対し食品衛生監視員及び食品衛生管理者資格(任用)の必要性を説明し、資格取得に必要な「基礎化学」の積極的な履修を指導した。なお、ほとんどの科目が3年次に開講されるため、具体的な当該資格の取得指導などは次年度以降である。<br>○目標実績<br>学生の成績B以上 86.4%<br>学生による授業評価4以上 87.1%   | B             | 食品衛生監視員及び食品衛生管理者資格(任用)取得に必要な「基礎化学」については、選択科目にも関わらず、履修者数は35名(36名中)とほぼ全員が履修した。これにより、年度計画を十分に実施している。 |                     | 12                         |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
|                 |  | 2-2      | 【平成23年度計画】<br>○管理栄養士国家試験対策講座を実施するとともに、模擬試験を実施する。また、模擬試験の結果を分析したものを学生・教員に配付するとともに、対策講座に反映させる。<br>○数値目標<br>・管理栄養士国家試験合格率85%                  | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○平成23年度の新規の取組みとして、年度当初(4月)に「決起集会」及び「国試対策計画の説明会」を実施することで、国家試験合格に向けた意識高揚を図った。<br>○学生へのアンケートの結果、例年よりも模擬試験の回数を増やすこととし、計6回実施した。<br>○夏季休暇前及び冬季休暇後に、4年生向けに、管理栄養士取得のメリットやこれまでの勉強を無駄にしないことなどを説明する集会を行い、更に標語やポスターを学内に掲示することで合格に向けた意識高揚を図った。<br>○各科目担当教員への管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)の教育状況調査を実施した。その結果、ガイドライン全体をカバーできるようなカリキュラム編成となるようにカリキュラムを改善した。<br>○合格率の高い公立大学に出向き、国試対策の実施状況などを調査した。その結果、ボーダーラインの学生に対する重点指導が重要であることが判明した。模試の結果を踏まえ、ボーダーラインの学生と国試対策部員3名による面談を計2回実施し、今後の勉強計画の確認や意識の発揚等に努めた。学生によっては模試の成績が20点以上も上がるなど、重点的な個別指導が有効であることを確認した。<br>○最終の国試対策講習会を実施するにあたり、模試の実施状況から、学生の不安項目や理解度の低い項目等を調査し、これを教員に開示して、その項目に重点を置いたメリハリのある対策講習会を実施した。<br>○目標実績<br>・管理栄養士国家試験合格率96.9%  | A             | 23年度は年度計画以上の取組みを行っており、結果として管理栄養士国家試験合格率も数値目標を大きく上回った。これにより、年度計画を上回って実施している。                       | No.9「資格試験合格率、免許の取得」 | 13                         |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
|                 |  |          |  | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①大学改革に合わせ、人間環境学部の学科見直しとカリキュラムの改善を行った。<br>②管理栄養士国家試験対策の充実を図り、試験対策講座等を実施した。<br>③平成23年度から、食品衛生監視員(任用資格)及び食品衛生管理者(任用資格)の登録養成施設として、資格取得のための履修指導を開始した。<br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>未実施</td> <td>88.8%</td> <td>85.1%</td> <td>84.3%</td> <td>86.4%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>未実施</td> <td>75.4%</td> <td>83.5%</td> <td>79.5%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td></td> <td></td> <td>未実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理栄養士国家試験合格率</td> <td>93.5%</td> <td>83.9%</td> <td>78.8%</td> <td>74.2%</td> <td>96.9%</td> </tr> </tbody> </table><br>※インテリアプランナー資格試験は、20歳以上であれば誰でも受験可能で、受験者(及び合格者)を把握できないため、達成目標外とした。<br>※2級建築士資格は、修得単位により卒業後一定の実務経験が必要であり、受験者(及び合格者)を把握できないため、達成目標外とした。 |               | H19   | H20                 | H21                        | H22 | H23 | 学生の成績B以上 | 未実施 | 88.8% | 85.1% | 84.3% | 86.4% | 学生による授業評価4以上 | 未実施 | 75.4% | 83.5% | 79.5% | 87.1% | 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |  | 未実施 |  |  | 管理栄養士国家試験合格率 | 93.5% | 83.9% | 78.8% | 74.2% | 96.9% | B | 平成23年度までにカリキュラムの改正や検討、資格取得講座を実施した。管理栄養士国家試験合格率が目標に到達していない年度が存在するが、最終年度の23年度は、例年以上の取組の結果、合格率は目標を大きく上回った。また、23年度から、食品衛生監視員、食品衛生管理者資格の登録養成施設として指導を開始した。以上により、中期計画を十分に実施している。 |
|                 | H19  | H20      | H21  | H22   | H23   |               |   |                     |                            |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
| 学生の成績B以上        | 未実施  | 88.8%    | 85.1%  | 84.3% | 86.4%   |               |   |                     |                            |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
| 学生による授業評価4以上    | 未実施  | 75.4%    | 83.5%  | 79.5% | 87.1%   |               |   |                     |                            |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
| 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |          | 未実施  |       |   |               |   |                     |                            |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |
| 管理栄養士国家試験合格率    | 93.5%  | 83.9%    | 78.8%  | 74.2% | 96.9%   |               |   |                     |                            |     |     |          |     |       |       |       |       |              |     |       |       |       |       |                 |  |  |     |  |  |              |       |       |       |       |       |   |   |

# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画            |  | 平成23年度計画 | ウエイト   |       | 計画の実施状況   | 自己評価          |  | データ番号 | 通し番号                       |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
|-----------------|--|----------|--|-------|---|---------------|--|-------|----------------------------|----------|------|----------|------|-------|-------|--------------|-------|--------------|-------|-------|-------|-----------------|-----|-----------------|--|--|-----|-----------|-----|-----|--|----------|-----|---|
| 項目              | 実施事項   |          | 中期   | 年度    |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期       | 年度   |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 3 大学院教育         | <p>学部教育で培った基礎知識を基に、大学院においては、地域あるいは国際的にも通用する高度な専門知識・技術を教授し、将来、教育研究分野においてリーダー的役割を担う人材を育てる。</p> <p>1. 文学研究科<br/>女性のライフサイクルを考慮した教育環境を提供し、高等教育研究機関において、国文学・英文学の教育者・研究者として活躍する高度専門職業人を育成する。</p> <p>2. 人間環境学研究科<br/>高度専門職業人等の養成機能をもつ研究科・修士課程をさらに活性化するために、生活者の観点から人の健康と環境とのかかわりあいを解明する特色ある教育を推進し、人間の社会活動や健康に関連する分野でリーダーとなる人材を養成する。</p> | 1-1      | <p>【平成23年度計画】</p> <p>○大学院生(社会人を含む)の受入れを推進するため就学状況に対応した時間割を作成するとともに、長期履修制度についての積極的な情報発信を行う。</p> <p>○数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の成績B以上60%</li> <li>・学生による授業評価4以上60%</li> <li>・個人業績評価(授業活動)B以上75%</li> </ul>  | 1     | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○「長期履修制度」の利用を促すために、新たに「学生募集要項」に詳細な記述を付し、かつ在学生に周知するよう努めた。同時に、学部既卒者を対象に、本制度を利用した大学院進学を勧める取り組みを行った。</p> <p>○就学状況に応じ、開講時間を柔軟に組み、育児・仕事等との両立を可能にする教育体制を敷いた。</p> <p>○目標実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の成績B以上 94.4%</li> <li>・学生による授業評価4以上 未実施</li> <li>※平成23年度については学生の要望等は通常の授業の中で把握できたことなどから、アンケートは実施しなかった。</li> </ul>  | B             | <p>長期履修制度について23年度に本制度を利用した入学者はいなかったが、「学生募集要項」に本制度についての詳細な記述を付し、かつ在学生及び学部既卒者等に周知するよう努めた。また、就学状況に応じた柔軟な時間割作成を行い、社会人を含む大学院生受入体制を整えた。これにより、年度計画を十分実施している。</p>              |       | 14                         |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
|                 |  | 1        | <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の成績 :B以上60%</li> <li>・学生による授業評価 :4以上50%</li> <li>・個人業績評価(授業活動) :B以上75%</li> </ul>   | 1     | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成19年度から、大学院生の就学状況に応じて時間割を柔軟に作成する体制を整えた。</p> <p>②社会人の大学院への受け入れを推進するため、平成21年度から長期履修制度を実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>100%</td> <td>99.5%</td> <td>89.1%</td> <td>95.2%</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>89.0%</td> <td>97.2%</td> <td>99.0%</td> <td>100%</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table> |               | H19  | H20   | H21                        | H22      | H23  | 学生の成績B以上 | 100% | 99.5% | 89.1% | 95.2%        | 94.4% | 学生による授業評価4以上 | 89.0% | 97.2% | 99.0% | 100%            | 未実施 | 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |  |     |           | 未実施 | B   | <p>学生の就学状況に応じた時間割の柔軟な作成を行うとともに、長期履修制度を実施した。また、社会人の大学院への受け入れを推進するために、「学生募集要項」や大学ホームページに長期履修制度の情報を記載し、周知を徹底した。なお、「教育者・研究者として活躍する高度専門職業人の育成」が本研究科の使命であるが、博士後期課程を持つ英文学専攻の場合、32名の課程修了生のうち、大学の専任教員は7名(外国人留学生を含む)、非常勤教員は22名を数え、その課題を十分に果たしている。以上により、中期計画を十分に実施している。</p> | 中期<br>10 |     |   |
|                 | H19  | H20      | H21  | H22   | H23   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 学生の成績B以上        | 100%   | 99.5%    | 89.1%  | 95.2% | 94.4%   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 学生による授業評価4以上    | 89.0%  | 97.2%    | 99.0%  | 100%  | 未実施   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |          |  |       | 未実施   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 2               | <p>【人間環境学研究科:修士課程の特色ある教育システムの構築】</p> <p>人間環境学研究科においては、基礎科学の知識にたち、広い視野と専門性を持ち、特色ある各分野で課題を解決する能力を養う。本学独自の「環境」と「健康」が結合した分野において、地域社会で活躍できる高度の専門知識をもつ人材を育成する。</p> <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラム申請数 :文科省『魅力ある大学院教育』イニシアチブ等へ、毎年度、1件程度の申請</li> </ul>  | 2-1      | <p>【平成23年度計画】</p> <p>○他大学と連携して単位互換を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他大学(福岡工業大学、九州大学、西南学院大学)との連携事業「国公立大コンソーシアム・福岡」(H20年度文科省「戦略的大学連携支援事業」に採択)により、コンソーシアムプログラム(単位互換制度)を実施する。</li> <li>・本学も他大学の大学院生に授業科目を提供する。(3科目)</li> </ul> <p>○数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他大学授業の受講科目数 5科目</li> </ul>  | 1     | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○「国公立大コンソーシアム・福岡」の一環で、単位互換制度を実施し、本学は3科目「環境生物学特論」「生活材料化学特論」「生活環境衛生学特論」の単位互換科目を提供・実施した(他大学学生延べ12人が受講)。他大学にて開講された科目についての本学学生の受講科目は3科目(3名)であった。</p> <p>○また、当コンソーシアムで実施される「4大学合同ゼミナール」に本学の教員・職員と共に本学大学院生5名が参加し、エネルギー問題について学習・議論を行った。</p> <p>○その他にも、4大学オムニバス講義、東京サテライト講義等、当コンソーシアムに関連する様々な取組みに、学生・教員を挙げて積極的に取り組んだ。</p> <p>※4大学合同ゼミナール 夏季休暇を利用して、4大学に学ぶ学生による2泊3日の合同研修型短期交流プログラム</p> <p>○目標実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他大学授業の受講科目数:3科目</li> </ul>  | B             | <p>「国公立大コンソーシアム・福岡」に関しては、本学学生の他大学授業の受講科目は3科目であったが、本学が提供・実施した単位互換科目について、他大学の学生(延べ12名)が受講した。また、このコンソーシアムに関しては、関連する様々な活動に学生・教員挙げて参加し、積極的な取組みを行った。これにより、年度計画を概ね実施している。</p> |       | 15                         |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
|                 |  | 1        | <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>92.2%</td> <td>84.3%</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>他大学の受講科目数</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>4科目</td> <td>6科目</td> <td>3科目</td> </tr> </tbody> </table> |       | H19   | H20           | H21  | H22   | H23                        | 学生の成績B以上 | 100% | 100%     | 目標外  | 目標外   | 目標外   | 学生による授業評価4以上 | 92.2% | 84.3%        | 目標外   | 目標外   | 目標外   | 個人業績評価(授業活動)B以上 |     |                 |  |  | 未実施 | 他大学の受講科目数 | 目標外 | 目標外 | 4科目  | 6科目      | 3科目 | B |
|                 | H19  | H20      | H21  | H22   | H23   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 学生の成績B以上        | 100%   | 100%     | 目標外  | 目標外   | 目標外   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 学生による授業評価4以上    | 92.2%  | 84.3%    | 目標外  | 目標外   | 目標外   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 個人業績評価(授業活動)B以上 |  |          |  |       | 未実施   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |
| 他大学の受講科目数       | 目標外  | 目標外      | 4科目  | 6科目   | 3科目   |               |  |       |                            |          |      |          |      |       |       |              |       |              |       |       |       |                 |     |                 |  |  |     |           |     |     |  |          |     |   |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画  |   | 平成23年度計画   | ウェイト |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |    | データ番号 | 通し番号                       |    |    |  |
|---|---|--|------|----|--|---------------|----|-------|----------------------------|----|----|--|
| 項目  | 実施事項  |  | 中期   | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 | 年度 |  |
| 4 教員の教育能力の向上<br>ファカルティ・デベロップメント(FD)及び授業評価によって教育の質の充実に資する。 | 1【学生による授業評価の導入】<br>授業内容をわかりやすく学生に伝え、学習の到達目標等を明示したシラバスの作成を実施する。これを用いた、より客観的な評価が可能な「学生による授業評価」の仕組みを導入する。「学生による授業評価」は、教員の授業改善の資料として用いるとともに、教員業績評価の教育分野の評価にも利用する。 | 1-1 【平成23年度計画】<br>○学生による授業アンケートを実施するとともに、授業アンケートの回収率の向上を図る。<br>○また、当該アンケート結果を教員の個人業績評価に活用する。 | 1    | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○前期アンケートの回収率が低かったため、年末に授業アンケート部会を立ち上げ、授業アンケートの内容の見直しと回収率向上に向けた方策を検討した。<br>※前期アンケート回収率・・・ 新学部：10.7%、 既存学部：1.6%、 大学院：7.6%<br>○部会において、授業アンケート実施方針の取りまとめとアンケート内容の見直しを図り、後期の最終授業において、紙媒体を用いた新たなアンケートを試行的に実施した。(本格実施は24年度予定)<br>アンケート実施方法:教員がアンケート用紙を各授業の最終回に、出席している学生全員に配布し、その場で回収。<br>※後期アンケート回収率・・・<br>新学部、既存学部:概ね100% (アンケート実施科目における最終授業出席者への配付数に対する回答数の割合)<br>※但し、後期授業の全単位取得者数におけるアンケート回収率は77%<br>大学院は未実施。<br>○アンケート結果の教員個人業績評価への活用については、評価基準票の中で、日常の授業に関する改善や工夫について授業アンケート結果を考慮して自己評価する項目を設定しており、これを評価することで個人業績評価に活用した。 | B             |    |       | 16                         |    |    |  |
|   |   |  |      |    | 【中期目標期間の実施状況】<br>①学習の到達目標等を明示したシラバスを作成し、学生による授業評価の仕組みを導入した。<br>②アンケートの実施に係る作業量の軽減と、アンケート結果を活用し易くする観点から、平成21年度よりWebによる5段階のアンケートシステムを導入した。<br>③Webによるアンケートの回収率が低いため、平成23年度に「授業アンケート部会」を立ち上げ、実施方針の取りまとめとアンケート内容の見直しを図り、後期の最終授業において、紙媒体を用いた新たなアンケートの試行実施により、回収率が大幅に改善した。   |               |    |       |                            | B  |    | 中期<br>12   |
|   |   | 2【教員の個人業績評価制度と任期制の導入】<br>教員の個人業績評価を導入することにより、教員の教育目標を明確にし、達成度等の事後評価を徹底する。<br>また、教員の任期制を導入する。 |      |    | 2-1 【平成23年度計画】<br>○22年度の活動実績について個人業績評価を行う。<br>○任期制の導入  |               |    |       |                            | 1  | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○個人業績評価の実施<br>5月から9月にかけて個人業績評価を実施した。<br>学内説明会 5月31日、6月7日<br>提出締切 6月30日<br>評価結果通知 9月12日<br>○教員の任期制導入<br>23年度採用教員(全27名)は全て任期制を導入した。 |
|   |   |  | 1    | 1  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年4月から、任期制を導入した。<br>②平成18年度から、各教員の前年度の活動実績についての個人業績評価を開始した(平成18年度は試行、平成19年度から本実施)。評価結果を基に、12月の報奨金、業務年俸に反映させた。   | B             |    |       | 中期<br>13                   |    |    |  |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画                  |  | 平成23年度計画 | ウェイト   |       | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | データ番号     | 通し番号                       |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
|-----------------------|--|----------|--|-------|---|---------------|---|-----------|----------------------------|-----|-----|-----|-------------|-------|------|------|------|------|------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-----|--|--|--|--|--|-----------------------|----|----|----|----|----------|--|---|--|
| 項目                    | 実施事項   |          | 中期   | 年度    |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |           | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
| 3                     | 【教員向けの教育指導研修の実施】<br>現在、授業の教授法は教員個人の改善努力によっており、教員相互の情報交換が十分ではないので、全教員を対象とした教育指導研修(教員相互の授業参観等も含む)を実施する。<br><br>○達成目標<br>・FD研修会等教員参加率 :100%<br>・学生による授業評価 :4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動) :B以上75%<br>・他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発 :平成23年度までに6件 | 3-1      | 【平成23年度計画】<br>○FD研修会の実施<br>・教育学習支援センターが中心となり、学生の主体的学習を支援するための具体的な履修指導方法等FD研修会の充実を図る。<br>○数値目標<br>・FD研修会件数 5回以上<br>・FD研修会等教員参加率 100%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75% | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○FD研修会を9回実施した。<br>4/4:新学部(国際文理学部)に係る全学説明会<br>6/7:新教務システムについての全学説明会<br>6/29:公開授業(国際開発におけるNGO)<br>7/14:公開授業(心の栄養士を目指して)<br>7/19:学生主催「東京理科大 女子寮視察報告会」<br>7/26:新教務システムについての全学説明会<br>10/14:金沢工業大学 学長 FD講演会<br>11/8:AA(アカデミック・アドバイザー)、FYS(ファースト・イヤー・ゼミ)、体験学習に係るFD<br>2/28:知的財産権セミナー<br><br>○目標実績<br>・FD研修会件数 9回<br>・FD研修会等教員参加率 100.0%<br>・学生による授業評価4以上 83.9%  | B             | FD研修会を9回実施し、教員参加率も100%であった。これにより、年度計画を概ね実施している。                                 | No.11「FD」 | 18                         |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
|                       |  | 3-2      | 【平成23年度計画】<br>○授業改善等の取組み<br>・FDに関する学内サイトを活用し、FD研修会の内容や各教員の授業改善事例等の教員間の情報共有・情報交換を図る。<br>・教員相互の授業参観を実施し、授業改善に役立てる。   | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○FDサイトにFD研修会等の案内・資料を掲載し共有化を図った。<br>○FDとして公開授業を実施した。<br>6/29:公開授業(国際開発におけるNGO)<br>7/14:公開授業(心の栄養士を目指して)   | B             | FDサイトを活用し、FDの案内と資料を掲載することで学内の共有化を図った。公開授業を実施し、授業改善に役立てた。以上のことより、年度計画を十分に実施している。 |           | 19                         |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
|                       |  |          |  | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①FD研修会を毎年実施し、教員の参加率は毎年度ほぼ100%である。<br>②授業アンケート結果を基に各教員が取り組んだ授業改善・工夫等を記載した授業改善事例集を作成し、FD部会のHPに掲載した。また、FD研修会の案内や資料等も掲載し、情報の共有化を図った。<br>③学部・学科において継続して取り組んでいるFDの取組について、平成22年度に実施された大学評価・学位授与機構による認証評価において、高い評価を得た。<br>④平成23年度から、新たに設置された教育学習支援センターを中心に、FDに関する取組を行った。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FD研修会等教員参加率</td> <td>91.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>66.7%</td> <td>73.8%</td> <td>75.3%</td> <td>85.0%</td> <td>83.9%</td> <td>83.9%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td colspan="6">未実施</td> </tr> <tr> <td>他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td colspan="2">未実施(目標外)</td> </tr> </tbody> </table> |               | H18   | H19       | H20                        | H21 | H22 | H23 | FD研修会等教員参加率 | 91.0% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 学生による授業評価4以上 | 66.7% | 73.8% | 75.3% | 85.0% | 83.9% | 83.9% | 個人業績評価(授業活動)B以上 | 未実施 |  |  |  |  |  | 他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発 | 1件 | 1件 | 1件 | 1件 | 未実施(目標外) |  | B | FD研修会については、毎年実施し、教員の参加率はほぼ100%である。また、学部学科において継続して取り組んでいるFDの取組については認証評価において高く評価されたところである。23年度から新たに設置された教育学習支援センターを中心に、FD研修会の案内や資料を掲載し、情報の共有を図る等、FDに関する取組を行っている。以上により、中期計画を概ね実施している。 |
|                       | H18  | H19      | H20  | H21   | H22   | H23           |   |           |                            |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
| FD研修会等教員参加率           | 91.0%  | 100%     | 100%   | 100%  | 100%  | 100%          |   |           |                            |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
| 学生による授業評価4以上          | 66.7%  | 73.8%    | 75.3%  | 85.0% | 83.9%   | 83.9%         |   |           |                            |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
| 個人業績評価(授業活動)B以上       | 未実施  |          |  |       |   |               |   |           |                            |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |
| 他の教員も使用できる教材・学習指導法の開発 | 1件   | 1件       | 1件   | 1件    | 未実施(目標外)  |               |   |           |                            |     |     |     |             |       |      |      |      |      |      |              |       |       |       |       |       |       |                 |     |  |  |  |  |  |                       |    |    |    |    |          |  |   |  |

# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画   |  | 平成23年度計画 | ウェイト |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |    | データ番号 | 通し番号                       |          |
|--|--|----------|------|----|--|---------------|----|-------|----------------------------|----------|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期   | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期       |
| 5 優秀な学生の確保<br><br>質の高い学生、潜在的な能力を持った学生を確保するために、入試方法の改善等を実施する。あわせて広報活動を強化し、高校訪問等を積極的に行い、入学志望者の掘り起こしにつとめる。また、生涯教育の期待に応えるために、社会人入試の一層の充実を図る。 | 1 【多様な入試制度の導入】<br>学ぶ意欲を持った優秀な学生を確保するために、従来型の入試に加えて多様な入試制度を工夫する。センター試験の多様な活用も検討する。<br><br>○達成目標<br>・受験の実施方法の改善<br>：センター入試必須科目の増加<br>平成19年度から、体制の整った学科(または学部)による、多様な入試制度の先行実施<br>・受験倍率(受験者数/定員)<br>：3.5倍以上<br>・辞退率=辞退者数/合格者数(追加合格除く)<br>：15%以下<br>・センターランク(代々木ゼミ)<br>：70以上 |          |      |    | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度から、多様な入試制度の導入について、継続して検討を行った。<br>②平成19年度に推薦入試の導入について検討したが、文学部、人間環境学部については平成23年度から募集を停止するため、推薦入試の導入は現実的に困難と判断し、新学部開設に向け、多様な入試制度の導入についての検討を行うこととした。<br><br>※県の中期目標に「8. 大学改革の推進」が追加されたことに伴い、平成21年度以降の実施状況については、大学改革の推進の1-5に記載 |               |    |       |                            | 中期<br>15 |
|  | 2 【特待生制度の導入】<br>本学の中期目標の理念に合った優秀な学生を大学全体として育てるために、特待生選抜入試及び在校生を対象とした特待生制度を導入する。<br><br>○達成目標<br>・受験倍率<br>：5倍以上<br>・辞退率=辞退者数/合格者数(追加合格除く)<br>：5年平均10%以下<br>・在学生の平均成績<br>：B以上60%(全在学生平均)<br>・国家試験合格率 管理栄養士<br>：平成18年度の新試験システムにおいて、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率。平成19年度に目標値を設定。        |          |      |    | 【中期目標期間の実施状況】<br><br>※特待生制度の導入については、より効果のある制度構築のため、導入を保留した。  |               |    |       |                            | -        |

# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画                |  | 平成23年度計画  | ウェイト   |       | 計画の実施状況   | 自己評価          |  |   | 通し番号      |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
|---------------------|--|---|--|-------|---|---------------|--|---|-----------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----------|-----|--|-----|--|-----|-----|---------|----|----|----|-----|-----|-----|-----------|-----|--|------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|------|------|------|------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|--|
| 項目                  | 実施事項   |   | 中期   | 年度    |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由  | データ<br>番号 | 中期  | 年度  |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 3                   | 【入試広報の充実】<br>【入試広報の充実】<br>本学が実施する入学試験選抜内容を広く周知するため、大学HPへの掲載、オープンキャンパスの実施や新聞社主催の大学説明会への参加、教職員や在学生の高等学校への訪問や高大連携プログラムの企画、大学案内・募集要項の配布等の多面的な活動を行う。大学の全教職員が取り組む。<br><br>○達成目標<br>・高校訪問数及びアンケート<br>：年間30校、良好評価80%<br>・入試説明会件数及びアンケート<br>：毎年15件以上、良好評価80%<br>・出前講義数及びアンケート<br>：毎年15件以上、良好評価80%<br>・オープンキャンパス参加者数及びアンケート<br>：毎年600人以上、良好評価80%<br>・志願者数(志願倍率)<br>：990人(5.5倍)以上<br>・受験者数(受験倍率)<br>：630人(3.5倍)以上 | 3-1   | 【平成23年度計画】<br>○本学に関する入試情報、教育内容等を広く周知するため、多面的な広報活動を行う。<br>・オープンキャンパス、学校見学会、高校訪問、入試説明会、進学情報誌・進学情報サイト掲載等<br>・オープンキャンパスにおいて、体験授業を実施する。<br>○数値目標<br>・高校訪問(延べ校数) 70校以上<br>・進学説明会件数40件以上<br>・オープンキャンパス・学校見学会 参加者数1,400人以上、アンケート良好評価 80%<br>・オープンキャンパスにおける体験授業5回以上<br>・志願者数1,100人、受験者数870人 | 2     | 【平成23年度の実施状況】<br>○広報活動に関して、多メディアでの年間広報計画を立て、計画通りに実施した。このため、予定通りに多面的な広報ができた。結果として、数値目標に関しても、すべての項目で達成した。<br>・学内イベント(オープンキャンパス・学校見学会)は、高校生の進路動向に合わせて、年間5回実施した。保護者の参加を促すため、すべて「土・日」の開催とした。<br>・高校訪問は、九州、中・四国地区の偏差値上位(偏差値60以上)の高等学校を中心に実施した。<br>・入試説明会は、九州地区を中心に中四国地域とし、東京・横浜・名古屋・大阪の4都市で実施される説明会にも参加した。<br>・受験生向けの興味喚起として、主要な「進学雑誌」「進学サイト」への広告掲載を実施し、対象者限定のDMも4回実施した。<br>・大学案内冊子を高校生の進路動向に合わせて6月に発行。大学の特長をまとめた簡易リーフレットも9月に作成した。また、学内イベント(オープンキャンパス・学校見学会)用の告知チラシも作成し、配布した。<br>・在校生広報スタッフ(約60名)を運営し、学内イベント(オープンキャンパス・学校見学会)にて活用した。<br>・在校生広報スタッフによる高等学校への情報提供の為に高校訪問を19件実施した。<br>○入試の結果に関して、留学生の志願者は昨年度に比べ若干減少したものの、推薦入試・一般入試共に志願者が増加し、全体として志願者目標・受験者目標共に達成した。<br><br>○目標実績<br>高校訪問(延べ校数) 137校<br>進学説明会件数 64件<br>オープンキャンパス・学校見学会参加者数 1774人、アンケート良好評価 90.0%<br>オープンキャンパスにおける模擬授業 14回<br>志願者数 1154人、受験者数 876人   | A             | 多面的な広報を計画的に実施し、全ての目標を達成するとともに、前年度実績も上回って実施している。特に広報活動については、大幅に目標を上回っている。これにより、年度計画を上回って実施している。 | No.1「入学者選抜試験」<br>No.4「高校訪問」<br>No.5「入試説明会」<br>No.6「出前講義」<br>No.7「オープンキャンパス」 | 20        |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
|                     |  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①企業主催の入試説明会の減少に伴い、出張講義、オープンキャンパス等に積極的に取り組んだ。<br>②福岡都市圏の他大学等と共同して、大学情報発信イベントを実施し、九州各地で本学のPR活動を行った。<br>③平成22年4月に、入試・広報・就職支援業務を一本化した「入試・広報・キャリア支援室」を設置した。<br>④新学部の開設に向け、複数のメディアを戦略的に組み合わせ、多面的な広報活動を展開した。<br><br>○目標実績 | A  |       | 数値目標として掲げている「高校訪問、入試説明会、出張講義、オープンキャンパス参加者数、志願者数、受験者数」すべての項目で、目標を達成している。また、「高校訪問、入試説明会、オープンキャンパス参加者数、志願者数、受験者数」に関しては、当初の実績と比べ、飛躍的な数字の伸びとなっている。以上により、中期計画を上回って実施している。   |               | 中期<br>16   |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
|                     |  |   |  | 1     | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校訪問(延べ校数)</td> <td>21校</td> <td>21校</td> <td>52校</td> <td>63校</td> <td>122校</td> <td>137校</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td colspan="2">未実施</td> <td colspan="2">目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>入試説明会件数</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>14件</td> <td>43件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td colspan="2">未実施</td> <td>100%</td> <td>未実施</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>出前講義(出張講義)</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>23件</td> <td>19件</td> <td>28件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>93.0%</td> <td>未実施</td> <td>81.4%</td> <td>93.9%</td> <td>99.5%</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>オープンキャンパス・学校見学会参加者数</td> <td>707人</td> <td>708人</td> <td>741人</td> <td>686人</td> <td>1514人</td> <td>1774人</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>82.0%</td> <td>87.0%</td> <td>80.6%</td> <td>74.8%</td> <td>87.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>志願者数</td> <td>925人</td> <td>877人</td> <td>833人</td> <td>892人</td> <td>1087人</td> <td>1154人</td> </tr> <tr> <td>志願倍率</td> <td>5.14倍</td> <td>4.87倍</td> <td>4.63倍</td> <td>4.96倍</td> <td>4.53倍</td> <td>4.81倍</td> </tr> <tr> <td>受験者数</td> <td>668人</td> <td>603人</td> <td>538人</td> <td>615人</td> <td>827人</td> <td>876人</td> </tr> <tr> <td>受験倍率</td> <td>2.70倍</td> <td>2.64倍</td> <td>2.20倍</td> <td>2.53倍</td> <td>2.96倍</td> <td>3.23倍</td> </tr> </tbody> </table> |               | H18  | H19   | H20       | H21 | H22 | H23 | 高校訪問(延べ校数) | 21校 | 21校 | 52校 | 63校 | 122校 | 137校 | アンケート良好評価 | 未実施 |  | 目標外 |  | 目標外 | 目標外 | 入試説明会件数 | 9件 | 9件 | 9件 | 14件 | 43件 | 64件 | アンケート良好評価 | 未実施 |  | 100% | 未実施 | 目標外 | 目標外 | 出前講義(出張講義) | 28件 | 30件 | 23件 | 19件 | 28件 | 29件 | アンケート良好評価 | 93.0% | 未実施 | 81.4% | 93.9% | 99.5% | 93.1% | オープンキャンパス・学校見学会参加者数 | 707人 | 708人 | 741人 | 686人 | 1514人 | 1774人 | アンケート良好評価 | 82.0% | 87.0% | 80.6% | 74.8% | 87.0% | 90.0% | 志願者数 | 925人 | 877人 | 833人 | 892人 | 1087人 | 1154人 | 志願倍率 | 5.14倍 | 4.87倍 | 4.63倍 | 4.96倍 | 4.53倍 | 4.81倍 | 受験者数 | 668人 | 603人 | 538人 | 615人 | 827人 | 876人 | 受験倍率 | 2.70倍 | 2.64倍 | 2.20倍 | 2.53倍 | 2.96倍 | 3.23倍 |  |  |  |
|                     | H18  | H19   | H20  | H21   | H22   | H23           |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 高校訪問(延べ校数)          | 21校  | 21校   | 52校  | 63校   | 122校  | 137校          |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| アンケート良好評価           | 未実施  |   | 目標外  |       | 目標外   | 目標外           |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 入試説明会件数             | 9件   | 9件  | 9件   | 14件   | 43件   | 64件           |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| アンケート良好評価           | 未実施  |   | 100%   | 未実施   | 目標外   | 目標外           |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 出前講義(出張講義)          | 28件  | 30件   | 23件  | 19件   | 28件   | 29件           |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| アンケート良好評価           | 93.0%  | 未実施   | 81.4%  | 93.9% | 99.5%   | 93.1%         |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| オープンキャンパス・学校見学会参加者数 | 707人   | 708人  | 741人   | 686人  | 1514人   | 1774人         |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| アンケート良好評価           | 82.0%  | 87.0%   | 80.6%  | 74.8% | 87.0%   | 90.0%         |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 志願者数                | 925人   | 877人  | 833人   | 892人  | 1087人   | 1154人         |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 志願倍率                | 5.14倍  | 4.87倍   | 4.63倍  | 4.96倍 | 4.53倍   | 4.81倍         |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 受験者数                | 668人   | 603人  | 538人   | 615人  | 827人  | 876人          |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |
| 受験倍率                | 2.70倍  | 2.64倍   | 2.20倍  | 2.53倍 | 2.96倍   | 3.23倍         |  |   |           |     |     |     |            |     |     |     |     |      |      |           |     |  |     |  |     |     |         |    |    |    |     |     |     |           |     |  |      |     |     |     |            |     |     |     |     |     |     |           |       |     |       |       |       |       |                     |      |      |      |      |       |       |           |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |       |       |      |       |       |       |       |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       |       |       |  |  |  |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画  |   | 平成23年度計画  | ウェイト  |       | 計画の実施状況   | 自己評価          |    | データ番号 | 通し番号                       |     |     |     |     |
|---|---|---|-------|-------|---|---------------|----|-------|----------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 項目  | 実施事項  |   | 中期    | 年度    |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |     |     |
|   | 4【社会人入試の充実】<br>社会人のライフステージ(ライフサイクル)にあわせた教育サービスを提供するために、学部・大学院への社会人受け入れの体制を整備する。特に学部においては一般県民への広報活動を強化し、大学院においては、現職高校教員の受け入れを図り、県内の中等教育機関との連携を進める。<br><br>○達成目標<br>・現職高校教員受け入れ<br>：平成20年度までに教育機関と協議し、現職教員の受け入れ枠を確保<br>・社会人入試の受験者数<br>：平成20年度から23年度まで年平均2名以上  | 4-1【平成23年度計画】<br>○社会人を大学院で受け入れる各種取組の広報活動を行う。<br>・長期履修制度や県教育委員会研修制度等の活用について、大学ホームページに掲載し、周知を図る。<br>○数値目標<br>・社会人入試受験者数 3人  | 1     | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○文学研究科…ホームページで広報活動を行ったが、社会人の受験者を得ることはできなかった。<br><br>○人間環境学研究科…平成23年度に行った社会人入試により、栄養健康学専攻に3名の社会人が受験し、全員が合格した。<br>長期履修制度については、23年度は社会人大学院生5名中3名が活用している。<br><br>○目標実績<br>・社会人入試受験者数 3人(人間環境学研究科)  | B             |    |       | 21                         |     |     |     |     |
|   |   | 【中期目標期間の実施状況】<br>①社会人の履修年限の弾力化について検討を行い、平成20年度に長期履修制度を整備し、平成21年度から実施した。<br>②県教育委員会の長期派遣研修制度により、平成21年度から教員を研究生として受け入れた。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会人入試受験者数</td> <td>6人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>   |       |       |   |               |    |       |                            | H20 | H21 | H22 | H23 |
|   | H20   | H21   | H22   | H23   |   |               |    |       |                            |     |     |     |     |
| 社会人入試受験者数   | 6人  | 5人  | 2人    | 3人    |   |               |    |       |                            |     |     |     |     |
| 6 成績評価<br>学生の学習意欲向上を図るとともに、進路指導などに活用するため、新たな成績評価基準を導入し、厳格に実施する。 | 1【成績評価基準の明確化とGPA(Grade Point Average)の導入】<br>全学的に明確な成績評価基準を設け、評価を厳格に実施する。学生の成績を4段階(A,B,C,D)評価にしてそれぞれに3,2,1,0のGrade Pointを与えて、ここから算出した単位あたりの平均値(GPA)を学生指導に活用する。<br>成績評価基準とGPA制度についてシラバスに明記する。<br>※GPAの導入により、学生も自分の全体の成績が数値でわかり、学習意欲が高まると期待されるほか、履修登録単位数を自主的に制限したり、教員も適正な成績評価を意識するようになるなどのメリットがある。<br><br>○達成目標<br>・学生の成績<br>：B以上60%<br>・管理栄養士国家試験合格率<br>：平成18年度の新試験システムにおいて、全国平均を大幅に上回る国家試験合格率。平成19年度に目標値を設定 | 1-1【平成23年度計画】<br>○他大学の状況等を参考に、GPA制度の利点と問題点を検証し、平成22年度に制定した運用基準に基づき、より有効に活用していく。<br>○シラバスによる成績評価基準の明記を徹底させる。<br>○数値目標<br>・学生の成績B以上60%  | 1     | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○新学部のカリキュラムにおけるGPA制度と履修登録単位制限(CAP制)の考え方について整理を行い、掲示等により学生に周知した。<br>○GPAをCAP制の緩和に活用することを決定した。(GPA3.0以上の学生については、翌年度の履修制限を最大8単位緩和する。)<br>○GPAの数値を、24年度から留学生の授業料免除などに活用することを決定した。<br>○シラバスに各科目の成績基準評価を明記させた。<br><br>○目標実績<br>・学生の成績評価B以上 85.1% | B             |    |       | 22                         |     |     |     |     |
|   |   | 【中期目標期間の実施状況】<br>①明確な成績評価基準(GPA)の導入について検討し、平成20年度入学生から導入・実施した。<br>②GPAの運用について検討し、平成23年度から履修登録単位制限(CAP制)と併せて活用することとした。<br>③GPAを、CAP制の緩和や留学生の授業料免除等に活用することを決定した(平成24年度から実施)。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>89.0%</td> <td>84.4%</td> <td>94.8%</td> <td>85.1%</td> </tr> </tbody> </table><br>※管理栄養士国家試験合格率の実績については、教育の2-2に記載 |       |       |   |               |    |       |                            | H20 | H21 | H22 | H23 |
|   | H20   | H21   | H22   | H23   |   |               |    |       |                            |     |     |     |     |
| 学生の成績B以上  | 89.0%   | 84.4%   | 94.8% | 85.1% |   |               |    |       |                            |     |     |     |     |

# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画   |  | 平成23年度計画  | ウェイト   |  | 計画の実施状況   | 自己評価  |   | データ番号 | 通し番号   |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
|--|--|---|--|--|---|---|---|-------|--|-----|---|-----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-----------|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-----------------------|-----|--|---|---|----------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目   | 実施事項   |   | 中期   | 年度   |   | 中期<br>↓<br>変更   | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由   | 中期  | 年度  |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 7 学習及び就職支援体制の整備<br>学生の学習環境は、勉学や人間性向上への意欲を高める重要な要因である。高い勉学意欲と向上心を身に付け、教育制度の充実と併せて質の高い学生を育てる。またキャリア支援センターを設置して就職支援活動を充実させ、卒業後の高い就職率を確保する。  | 1【補習授業の実施】<br>基礎的な学力を確保するため、補習授業を実施する。<br><br>○達成目標<br>・補習授業実施科目数<br>：平成18年度までに、数学、物理、化学、生物の4科目開講<br>・学生の成績<br>：B以上60%<br>・学生による授業評価<br>：4以上50%<br>・個人業績評価(授業活動)<br>：B以上75%      | 1-1【平成23年度計画】<br>○専門教育に必要な基礎学力を確保するため、数学、物理、化学、生物の自然科学系科目に関する補習授業を実施する。<br>○数値目標<br>・補習授業科目数 4科目<br>・学生の成績B以上60%<br>・学生による授業評価4以上60%<br>・個人業績評価(授業活動)B以上75%   | 1  | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○入学時に化学・生物・物理の基礎テストを実施し、学生の理解度について把握した。<br>・学科に理科基礎教育専門部会等を設置し、基礎テストをもとに補習計画を立てた。<br>・補習授業を6時限目に数学・物理・化学・生物で各12回を実施した。(受講学生：各科目で延べ100名以上)<br>・補習授業に関するアンケートを実施した。<br>・理科基礎教育専門部会等で補習授業の改善点等を把握し、H24年度の実施計画を策定した。(非常勤講師によるサポートの必要性等)<br><br>○目標実績<br>・学生の成績B以上 74.2%<br>・学生による授業評価4以上 85.0% | B   | 放課後に補習授業時間を確保し、4教科で48時間以上(これまでの20%増)の補習を実施した。学生のアンケートでは、役に立った等の意見が多く見られた。大学の授業における基礎理科目の成績は、まだ不合格となるものがあるなど、さらなる強化が必要と考えられるが、一定以上の成績を確保できている。以上により、年度計画を概ね実施している。 | 23    |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
|  |  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成19年度から、数学、物理、化学、生物の自然科学系科目に関する補習授業を実施した。<br>②平成23年度から、放課後に補習授業時間を確保し、4教科で48時間(これまでの20%増)の補習授業を実施した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補習授業科目数</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> <td>4科目</td> </tr> <tr> <td>学生の成績B以上</td> <td>65.2%</td> <td>64.6%</td> <td>92.6%</td> <td>58.1%</td> <td>74.2%</td> </tr> <tr> <td>学生による授業評価4以上</td> <td>55.6%</td> <td>73.6%</td> <td>59.5%</td> <td>59.8%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>個人業績評価(授業活動)B以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |  |  |   |   |   |       |  | H19 | H20   | H21 | H22 | H23 | 補習授業科目数 | 4科目 | 4科目 | 4科目 | 4科目 | 4科目 | 学生の成績B以上 | 65.2%     | 64.6% | 92.6% | 58.1% | 74.2% | 学生による授業評価4以上 | 55.6% | 73.6% | 59.5% | 59.8% | 85.0% | 個人業績評価(授業活動)B以上 |       |       |                       | 未実施 |  | B | 平成22年度まで補習授業を毎年、計画通りに実施した。また、新学部を設置した平成23年度においても、補習授業時間を拡大して実施した。大学における基礎理科・基礎数学科目(基礎化学・基礎生命科学・基礎物理学・基礎数学)での成績を一定レベル確保できている(平均でB以上70.9%)ことなどからも、中期計画を十分に実施している。 | 中期<br>19 |  |       |       |       |       |       |
|  |  | H19   | H20  | H21  | H22   | H23   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 補習授業科目数  | 4科目  | 4科目   | 4科目  | 4科目  | 4科目   |   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 学生の成績B以上   | 65.2%  | 64.6%   | 92.6%  | 58.1%  | 74.2%   |   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 学生による授業評価4以上   | 55.6%  | 73.6%   | 59.5%  | 59.8%  | 85.0%   |   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 個人業績評価(授業活動)B以上  |  |   |  | 未実施  |   |   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 2【就職活動の支援】<br>キャリア教育を推進するためにキャリア支援センターを設置し、就職指導体制を整備する。併せて、有力な就職先を確保するために、教職員による企業訪問を実施する。<br>①キャリア支援センターの設置<br>②教職員による企業訪問の実施<br>③既卒者に対する就職支援の充実(卒後1年間)<br>④就業者の状況把握と支援<br><br>○達成目標<br>・教職員の訪問企業数<br>：毎年30社以上<br>：アンケート良好評価80%以上<br>・既卒者の就職支援回数<br>：卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援<br>：就職決定率50%以上<br>・就職率<br>：95%以上 | 2-1【平成23年度計画】<br>○有力な就職先を確保するために、教職員による企業訪問を実施する。<br>○就業卒業生への就業状況調査を行う。<br>○民間企業の人事業務経験者等を就職支援員として採用し、学生の就職相談・指導をきめ細かく行う。<br>○数値目標<br>・企業訪問実施100社以上、アンケート良好評価90%以上<br>・就職率 90%以上 | 2   | 2  | 【平成23年度の実施状況】<br>○企業訪問に関しては、県の緊急雇用対策で雇用している「就職支援員」1名が企業訪問を積極的に実施し、予定以上の訪問実施となった。企業とのリレーションも以前に比べ大きく進展した。<br>○就業卒業生への就業状況調査を実施した。<br>○民間企業の人事業務経験者などを「就職支援員」として、3名配置しており、学生に対してきめ細かく就職指導(エントリーシート添削・面接指導・キャリア指導など)を実施した。<br>○就職率に関しては、大変厳しい経済状況にもかかわらず、昨年と比べ上昇し、数値目標を達成できた。<br><br>○目標実績<br>企業訪問実施 138社<br>アンケート良好評価 95.8%<br>就職率 94.6% | A   | 企業訪問について、目標を大きく上回って達成しており、就職率についても過去10年間で最も良い就職率となった。これにより、年度計画を上回って実施している。 | No.18「企業訪問」<br>No.19「就職状況」  | 24    |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 2-2【平成23年度計画】<br>○既卒者(卒後1年間)に対して求人情報を提供する。また、要望に応じてキャリアコンサルティングを実施する。<br>○数値目標<br>・卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援、就職決定率50%以上  | 1  |   |  | 1  |   |   |   |       | 【平成23年度の実施状況】<br>○既卒者(卒後1年間)に対しては、各々のニーズに応じた求人情報を随時提供した。<br><br>○目標実績<br>卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援<br>→既卒募集情報提供は、随時実施<br>就職決定率 50%(6人/12人=11卒未内定者) | B   | 卒業生に対しても、必要に応じて情報を随時提供しており、サポートできる体制をとっている。これにより、年度計画を十分実施している。 | 25  |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
|  |  |   | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成19年4月に、キャリア支援センターを設置し、就職活動の支援を行った。<br>②平成22年度に、民間企業の人事業務経験者等を就職支援員として3名採用し、就職相談・指導をきめ細かく実施した。<br>③平成23年度に、県の緊急雇用対策で就職支援員1名を採用し、企業訪問を積極的に実施した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問実施</td> <td>27社</td> <td>26社</td> <td>37社</td> <td>33社</td> <td>50社</td> <td>138社</td> </tr> <tr> <td>アンケート良好評価</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>72.7%</td> <td>95.8%</td> </tr> <tr> <td>就職率</td> <td>90.3%</td> <td>93.3%</td> <td>93.5%</td> <td>93.0%</td> <td>92.1%</td> <td>94.6%</td> </tr> <tr> <td>卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>就職決定率</td> <td>25.0%</td> <td>33.0%</td> <td>50.0%</td> <td>33.3%</td> <td>50.0%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table> |  |   | H18   | H19   | H20   | H21  |     |   |     | H22 | H23 | 企業訪問実施  | 27社 | 26社 | 37社 | 33社 | 50社 | 138社     | アンケート良好評価 | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 72.7%        | 95.8% | 就職率   | 90.3% | 93.3% | 93.5% | 93.0%           | 92.1% | 94.6% | 卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援 |     |  |   |   |          |  | 就職決定率 | 25.0% | 33.0% | 50.0% | 33.3% |
|  |  |   | H18  | H19  | H20   | H21   | H22   | H23   |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 企業訪問実施   | 27社  | 26社   | 37社  | 33社  | 50社   | 138社  |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| アンケート良好評価  | 100%   | 100%  | 100%   | 100%   | 72.7%   | 95.8%   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 就職率  | 90.3%  | 93.3%   | 93.5%  | 93.0%  | 92.1%   | 94.6%   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 卒後1年以内の未就職者に1回以上の就職支援  |  |   |  |  |   |   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |
| 就職決定率  | 25.0%  | 33.0%   | 50.0%  | 33.3%  | 50.0%   | 50.0%   |   |       |  |     |   |     |     |     |         |     |     |     |     |     |          |           |       |       |       |       |              |       |       |       |       |       |                 |       |       |                       |     |  |   |   |          |  |       |       |       |       |       |



# 福岡女子大学(教育)

| 中期計画  |   | 平成23年度計画  | ウェイト     |            | 計画の実施状況  | 自己評価          |    |  | 通し番号       |          |    |
|---|---|---|----------|------------|--|---------------|----|--|------------|----------|----|
| 項目  | 実施事項  |   | 中期       | 年度         |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由   | データ<br>番号  | 中期       | 年度 |
| 8 大学改革の推進<br>福岡県とアジア諸国とのネットワークの知的拠点となる大学づくりを進め、国際社会で活躍できる高度専門職業人を育成するため、理事長のもと、福岡女子大学の教育組織及び教育内容の抜本的な改革を推進する。 | 【改革案の検討・作成】<br>・理事長のもと、全学的な検討のための組織を立ち上げて検討を行う。<br>・労働市場や学生のニーズ等、マーケティングを行う。<br>・学部・大学院を含め、大学全体の教育組織、教育内容を見直す。<br>・19年度までに改革案を検討・作成し、中期計画の変更を行う。<br><br>○達成目標<br>・改革案の作成<br>：平成19年度中に作成 | (中期計画の変更により項目削除(中期目標項目「8.大学改革の推進」へ移行)(平成21年1月変更認可)) | 1        |            | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度に、大学改革案作成のため「改革委員会」を設置し、改革草案を平成19年5月に県に提示した。<br>②平成20年度に、学内に「大学改革準備部会」を設置し、改革の基本案を検討・作成した。<br>③県が設置した「福岡女子大学の抜本的改革に向けた準備委員会」において策定された「福岡女子大学改革基本計画」を具体化するため、学内に「新学部設置準備部会」を設置し、県と連携して平成23年4月の新学部開設に向けた作業を進めた。<br>④県の中期目標の変更に伴い、中期計画の変更を行い、平成21年1月に県知事の認可を得た。<br><br>※県の中期目標に「8. 大学改革の推進」が追加されたことに伴い、平成21年度以降の実施状況については、「8. 大学改革の推進」に記載 | B             |    | 平成20年度までに、大学改革の基本案を検討・作成した。県が策定した「福岡女子大学改革基本計画」を具体化するため、学内に「新学部設置準備部会」を設置し、県と連携して新学部開設に向け作業を進めた。また、県の中期目標の変更に基づき、中期計画の変更を行い、県知事の認可を得た。以上により20年度までの取組みについては、中期計画を十分に実施している。 |            | 中期<br>21 |    |
| 平成20年度、中期目標変更に伴い、中期計画を変更。<br>平成21年度から本項目を中期計画より削除。  |   |   |          |            |  |               |    |  |            |          |    |
| ウェイト総計  |   |   | 中期<br>23 | 23年度<br>29 | 項目数計   |               |    | 中期<br>21   | 23年度<br>25 |          |    |

## 【ウェイト付けの理由】(年度計画)

- 「1-4-2」福岡女子大学改革基本計画と方針が一致する取り組みであり、重点施策として位置づける。
- 「1-7-3」、「7-2-1」現在、厳しい就職状況を迎えていることもあり、学生のキャリア形成支援、就職支援への取り組みが非常に重要である。
- 「5-3-1」意欲のある優秀な学生を確保するため、積極的に学生募集活動に取り組む必要がある。

|   |
|---|
| 教育に関する特記事項(平成18年度～平成22年度)   |
| ①九州大学、西南学院大学との三大学連携協力に関する基本協定に基づき、九州大学大学院オートモーティブサイエンス専攻に参画する等、他大学との連携による教育活動等の向上を図った。  |
| 教育に関する特記事項(平成23年度)  |
| ①人間環境学研究科において臨床栄養師養成教育を開始するため、日本健康栄養システム学会への実施申請を行い、平成24年2月15日付で受理された。また、この資格取得に必要な900時間の臨床研修を行うため、国立病院機構九州医療センターとの連携協定の締結を行った。 |

# 福岡女子大学(研究)

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|               |   |
|---------------|---|
| 中期目標<br>2. 研究 | 「大学の教育や社会の発展に役立つ研究を推進する。」<br><br>福岡女子大学は、試験研究機関や他大学との共同研究、産学官連携などを通じ、大学の教育と社会の発展に有用な研究を重点的に推進する。研究費については、大学の財源を効果的に配分するとともに、外部研究資金の獲得に積極的に取り組む。 |
|---------------|---|

| 中期計画   |   | 平成23年度計画 | ウエイト |     | 計画の実施状況  | 自己評価  |    | データ番号 | 通し番号                       |     |     |     |     |           |     |     |     |     |     |     |  |   |
|--|---|----------|------|-----|--|---|----|-------|----------------------------|-----|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|
| 項目   | 実施事項  |          | 中期   | 年度  |  | 中期<br>↓<br>変更   | 年度 |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |     |     |           |     |     |     |     |     |     |  |   |
| 1 特色ある研究の推進<br><br>時代の要請に応じ、先駆的・独創的研究や社会貢献の大きい研究を支援する体制を整備して、「文化」「健康」「環境」の研究により社会の活性化を支援する。福岡県・北部九州地域を中心とする様々な地域の社会的要請も配慮して点検評価を行うとともに、外部資金の獲得を図る。また、研究成果を活用して、産学官連携を推進する。 | 1 【学内外の共同研究プロジェクトの促進】<br>県及び国の試験研究機関や他大学との間で設備装置の共同利用等を含む研究交流を推進し、「文化」「健康」「環境」の分野において魅力的かつ学際的・国際的な研究領域を開拓する。研究交流の中核となる産学官地域連携センターの機能を強化する。<br><br>○達成目標<br>・学内外の共同研究件数：10%の増加(平成18年度を基準として) | 1-1      | 1    | 1   | 【平成23年度の実施状況】<br>○福岡県保健環境研究所との包括的連携協力に関する協定を平成28年度まで延長した。<br>○教育・研究活動全般における交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、九州産業大学・福岡工業大学と東部地域大学連携協定を締結した。<br>○引き続き、九州大学グローバルCOEプログラム「新炭素資源学」に共同推進大学として参加した。<br><br>○目標実績<br>共同研究数 35件 |   | A  |       |                            | 26  |     |     |     |           |     |     |     |     |     |     |  |   |
|  |   |          |      | 1   | 1  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度に、福岡県保健環境研究所と包括的連携協力に関する協定締結及び共同研究を開始した。<br>②平成18年度から、産学官地域連携センターが中心となり、産学官技術交流会等を開催した。<br>③平成20年度から、九州大学新炭素資源学グローバルCOEプロジェクトに参加した。<br>④平成23年度に、東部地域大学(九州産業大学・福岡工業大学)と連携協定を締結した。<br><br>○目標実績<br><table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学内外の共同研究数</td> <td>20件</td> <td>22件</td> <td>18件</td> <td>20件</td> <td>26件</td> <td>35件</td> </tr> </tbody> </table> |    | H18   | H19                        | H20 | H21 | H22 | H23 | 学内外の共同研究数 | 20件 | 22件 | 18件 | 20件 | 26件 | 35件 |  | A |
|  | H18   | H19      | H20  | H21 | H22  | H23   |    |       |                            |     |     |     |     |           |     |     |     |     |     |     |  |   |
| 学内外の共同研究数  | 20件   | 22件      | 18件  | 20件 | 26件  | 35件   |    |       |                            |     |     |     |     |           |     |     |     |     |     |     |  |   |

# 福岡女子大学(研究)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画 | ウェイト  |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |   |                                | 通し番号      |    |
|------|--|----------|---|----|--|---------------|---|--------------------------------|-----------|----|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期  | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由     | データ<br>番号 | 中期 |
| 2    | 【研究予算の有効活用】<br>研究環境の整備のために、学内予算を工夫するとともに積極的に学外予算を獲得する。研究計画及び研究業績から優秀であると評価された研究を行っている個人、グループに比重を置いた傾斜配分を行う。<br><br>○達成目標<br>・傾斜配分割合<br>: 学術研究費の30%に増加<br>・論文数(査読付、学術書掲載分)<br>: 5件以上(教員あたり5年間)<br>・学会発表(招待講演、シンポジスト招聘分)<br>: 5件(年平均)<br>・特許・実用新案件数(取得済のもの)<br>: 1件(5年間)<br>: 特許申請数5件(5年間) | 2-1      | 【平成23年度計画】<br>○学内研究奨励交付金制度(傾斜配分)を継続し、研究活動の活性化を図る。<br>○数値目標<br>・傾斜配分割合 30%<br>・論文数 教員1人当たり1件<br>・学会発表(招待講演、シンポジスト招聘分)30件以上<br>・特許・実用新案申請数 1件を目指す   | 2  | 【平成23年度の実施状況】<br>○学内研究奨励交付金については、22年度と同様に傾斜配分を30%とし、応募25件中、16件が採択された。<br>○特許・実用新案の申請はなかったが、特許の対象、申請手続き等への理解を深めてもらい、今後の申請を促すため、2月に学内向けに知的財産権に関するセミナーを開催した。(参加者54名)<br><br>○目標実績<br>傾斜配分割合 30%<br>論文数 0.66件(58件/教員88名)<br>学会発表 43件<br>特許・実用新案申請数 0件                              | B             | 平成23年度は、学内研究奨励交付金を継続して実行したほか、知的財産権に関するセミナーを開催するなど学内における研究活動の活性化を図った。論文数、特許・実用新案申請数は目標に達していないが、学会発表は目標を大きく上回り、年度計画を概ね実施している。                           | No.21「論文等の実績」                  | 27        |    |
|      |  | 2        | 【中期目標期間の実施状況】<br>①学内研究奨励交付金(傾斜配分)の引き上げを行い、平成22年度までに30%とした。<br>②学内研究奨励金の募集・審査方法の改善を行い、科研費の申請を応募の条件とする等、外部資金獲得の取組を促進した。<br>③平成23年度に、特許・実用新案等の申請手続きへの理解を深め、今後の申請を促すため、知的財産権に関するセミナーを開催した。<br><br>○目標実績   |    | B  |               | 研究予算の有効活用については、学術研究費の傾斜配分割合を年々増加させ、22年度以降の傾斜配分割合は目標の30%とした。論文数、特許・実用新案申請数は目標に達していないが、学会発表は達成目標を大きく上回っており、中期計画を概ね実施している。                               |                                |           |    |
| 3    | 【外部研究資金の獲得】<br>外部研究資金を積極的に獲得する。<br><br>○達成目標<br>・科研費等交付件数、受託研究・共同研究・奨学寄附金件数<br>: 毎年15件以上<br>・外部研究資金収入額<br>: 年間3,000万円以上  | 3-1      | 【平成23年度計画】<br>○23年度から設置する地域連携センター内の産学官地域連携部門において、外部資金獲得に関する支援を行う。<br>・ホームページ、電子メールを利用して、種々の外部研究資金を学内に案内する。<br>・科研費獲得支援のため、科研費説明会を開催する。<br>・知的財産に関するセミナーを開催して特許に関する意識を向上させ、これに関連した研究を推進する。<br>○数値目標<br>・科研費等交付件数、受託研究、共同研究、奨学寄附金件数20件以上<br>(・外部研究資金収入額 4000万円以上) | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○科研費説明会を9月28日、29日に実施(参加者45名)した結果、33件の科研費申請があった。<br>○ホームページで52件の外部の研究公募情報を報知し、電子メールで教員に情報を提供した。<br>○9月に研究者の「フォト研究紹介2011」を発行した。<br>○2月28日に学内教員向けに知的財産権セミナーを開催した。(参加者54名)<br><br>○目標実績<br>科研費件数25件、受託研究5件、共同研究5件、奨学寄附金9件、研究助成1件、他4件 計49件<br>(外部研究資金収入額 84,896千円) | A             | 資金獲得に関する情報提供に努めるとともに、研究者情報誌を発行し、受託研究、共同研究等の獲得を図った。これにより、外部研究資金収入額が8400万円余と前年度を大幅に上回っており、年度計画を上回って実施している。  | No.20「研究(研究推進の状況、外部研究資金獲得の状況)」 | 28        |    |
|      |  | 1        | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度から、電子メールを利用して学内に外部資金案内を提供するシステムを立ち上げ、研究助成金獲得を推進した。<br>②科研費獲得支援のため、科研費説明会を実施した。<br>③平成23年度に、研究者の「フォト研究紹介2011」を発行した。<br><br>○目標実績   |    | A  |               | 外部資金獲得のため、学内向けの科研費説明会開催、HP掲載や電子メールによる教員への外部研究資金情報提供、獲得のための解説書の購入及び教員への貸出、知的財産権セミナー開催など外部資金応募のためのサポート体制を強化した結果、全年度において数値目標を上回った。以上により、中期計画を上回って実施している。 |                                |           |    |



# 福岡女子大学(研究)

| 中期計画        |   | 平成23年度計画 | ウェイト  |      | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | データ番号 | 通し番号                       |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
|-------------|---|----------|---|------|---|---------------|---|-------|----------------------------|------|-----|-----|----------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-------------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| 項目          | 実施事項  |          | 中期  | 年度   |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期   | 年度  |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
| 4           | <p>【産学官連携の推進】</p> <p>産学官地域連携センターに改組し、産学官交流会、講演会、セミナーなどの活動を通して、地域のニーズの把握とそれに対応した共同研究を推進する。情報発信を目的に、学内研究情報データベースの作成、産学官連携に関連する外部情報の学内発信、パンフレットやホームページなどの広報活動を推進する。また、大学、企業、公設研究所の研究者間の情報交換、共同研究斡旋、戦略的研究の促進を行うために、学外支援機関として産学官連携コンソーシアムを創設し、運営する。</p> <p>○達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学官共同研究数 :年10件以上</li> <li>広報活動/パンフレット :年2回</li> <li>ホームページ改訂 :年1回</li> </ul> | 4-1      | <p>【平成23年度計画】</p> <p>○23年度から設置する地域連携センター内の産学官地域連携部門において、共同研究の支援体制を強化し、産学官交流会、講演会、セミナーなどの活動を通して、地域のニーズの把握とそれに対応した共同研究を推進する。</p> <p>○数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学官共同研究数 15件以上</li> <li>パンフレット・広報発行 2回</li> <li>主催の交流会等及び共催のシンポジウム等の開催 3件以上</li> </ul> | 1    | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○「環境白書を読む会」を開催した。(6月23日、参加者62名)</p> <p>○9月に「フォト研究紹介2011」を発行した。</p> <p>○福岡ビジネス創造センターと共催で2011年度セミナー「赤ちゃん・子どもの食と健康を考える」を開催した。(10月14日、参加者78名)</p> <p>○エコテック2011に研究パネル「消霧装置の開発と性能評価」他5品を出品した。(10月12日～14日)</p> <p>○産学官技術交流会「世界に羽ばたく福岡方式のごみ処理」を開催した。(11月24日、参加者113名)</p> <p>○新生活産業くらぶFUKUOKA、福岡県共催のシーズ発表会に参加した。(1月20日、講師1名参加)</p> <p>○知的財産権セミナーを開催した。(2月28日、参加者54名)</p> <p>○3月に「教員データブック」を発行した。</p> <p>○目標実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学官共同研究数 26件</li> <li>パンフレット・広報発行 2件</li> <li>主催の交流会等及び共催のシンポジウム等の開催 4件</li> </ul>   | A             | 産学官技術交流会やセミナーを他機関と連携して開催し、主催者及び参加者の交流の場を設定することで、学内の研究情報の発信及び地域ニーズの把握に努めた結果、すべての項目において数値目標を達成し、産学官共同研究数においては、前年度実績(16件)を大きく上回った。以上により、年度計画を上回って実施している。 |       | 29                         |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
|             |   | 4-2      | <p>【平成23年度計画】</p> <p>○福岡ビジネス創造センターや福岡経済情報基盤協議会の運営参画や他大学との大学連携事業を実施し、産学官連携活動を推進する。</p>   | 1    | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○福岡ビジネス創造センター運営委員会に参加した。(6月3日)</p> <p>○福岡ビジネス創造センターのインキュベーターミーティングに参加した。(通年)</p> <p>○福岡ビジネス創造センターコーディネーター仲介による共同研究契約を締結した。(10月1日)</p> <p>○福岡ビジネス創造センターと共催で2011年度セミナー「赤ちゃん・子どもの食と健康を考える」を開催した。(10月14日)</p> <p>○福岡社会情報基盤協議会(旧福岡経済情報基盤協議会)と協同して、新寮のセキュリティシステムを導入した。</p> <p>○教育・研修・研究交流を促進することにより、福岡県における医療職の人材育成と地域医療の充実及び健康づくりに寄与することを目的として、国立病院機構九州医療センターと連携協定を締結した。(12月21日)</p>   | A             | 福岡ビジネス創造センターの運営委員会等に参加するとともに、共催によりセミナーを開催した。また、国立高度総合医療施設と国公立大学管理栄養士養成施設としては全国初となる、国立病院機構九州医療センターとの連携協定を締結し、産学官連携の推進に努めた。年度計画を上回って実施している。             |       | 30                         |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
|             |   |          |   |      | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成18年4月に、「産学官地域連携センター」を設置し、産学官連携による共同研究や技術交流会を実施した。</p> <p>②産学官コンソーシアム活動の一環として、平成19年度から福岡ビジネス創造センターの運営に参画し、産学官連携セミナーを共催した。</p> <p>③平成20年度から、他大学との連携事業「国公立大コンソーシアム・福岡」に参画した。</p> <p>④平成23年度に、国立病院機構九州医療センターと連携協定を締結した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産学官共同研究数</td> <td>16件</td> <td>9件</td> <td>10件</td> <td>11件</td> <td>16件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>広報活動/パンフレット</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>ホームページ改訂</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> </tr> </tbody> </table> |               | H18   | H19   | H20                        | H21  | H22 | H23 | 産学官共同研究数 | 16件 | 9件 | 10件 | 11件 | 16件 | 26件 | 広報活動/パンフレット | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | ホームページ改訂 | 1回 | 1回 | 目標外 | 目標外 | 目標外 | 目標外 | B | 交流会・セミナーの開催、研究者情報誌・広報誌等の発行等で産学官共同研究を継続的に推進し、産学官共同研究数は達成目標を大きく上回っている。また、大学独自の産学官連携コンソーシアムの設立には至っていないが、23年度には東部地域大学連携協定(九州産業大学・福岡工業大学)、国立病院機構九州医療センターとの連携協定を締結し、さらに福岡県保健環境研究所との包括的連携協力に関する協定を平成28年度まで延長するなど、産学官連携の強化に努めた。福岡ビジネス創造センターや国公立大コンソーシアム・福岡等の他大学・企業等との連携事業には引き続き積極的に参画している。以上により、中期計画を十分に実施している。 |
|             | H18   | H19      | H20   | H21  | H22   | H23           |   |       |                            |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
| 産学官共同研究数    | 16件   | 9件       | 10件   | 11件  | 16件   | 26件           |   |       |                            |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
| 広報活動/パンフレット | 2回  | 2回       | 2回  | 2回   | 2回  | 2回            |   |       |                            |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
| ホームページ改訂    | 1回  | 1回       | 目標外   | 目標外  | 目標外   | 目標外           |   |       |                            |      |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
| ウェイト総計      |   |          | 中期  | 23年度 |   |               | 項目数計  |       | 中期                         | 23年度 |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |
|             |   |          | 5   | 6    |   |               |   |       | 4                          | 5    |     |     |          |     |    |     |     |     |     |             |    |    |    |    |    |    |          |    |    |     |     |     |     |   |   |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

「1-2-1」限られた学内資源を有効活用し、研究活動の活性化を図るための学内研究奨励交付金(傾斜配分)に関する計画であり、科学研究費補助金への応募を条件とするなど競争的資金獲得への誘導にも資する重点施策である。

# 福岡女子大学(社会貢献)

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|                 |   |
|-----------------|---|
| 中期目標<br>3. 社会貢献 | 「大学の保有する人材、知識、施設等を社会のために活用する。」<br>大学が保有する人材や知識等を活用して、就業中の女性や転職・復職を希望する女性を対象としたリカレント教育などを実施し、積極的な社会貢献を果たす。 |
|-----------------|---|

| 項目   | 実施事項   | 平成23年度計画   | ウェイト  |  | 計画の実施状況   | 自己評価          |     | データ番号     | 通し番号 |     |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
|--|--|--|-------|--|---|---------------|-----|-----------|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|------|----|----|----|----|-----|-----|--------------|-----|-----|------|-------|------|-------|--|---|--|
|  |  |  | 中期    | 年度   |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |           | 中期   | 年度  |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
| 1 女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育<br>青少年期、就労期、壮年・高齢期の女性に対する教育支援・学習支援を実施する。<br>1. 青少年期の教育支援<br>男女共同参画社会を見据え、次世代を担う青少年に対する教育支援として、小中学校や高等学校との連携を実施する。<br>2. 就労期の教育支援<br>仕事を継続している女性、復職・転職する女性、育児期間中の女性に対するキャリア・アップ、ブラッシュアップのための再教育の場を提供する。 | 1【小中学校や高等学校との連携(青年期の教育支援)】<br>大学からの出張講義や大学での体験授業、教師に対するワークショップ、また大学生と生徒との交流支援など、多様な視点からの教育連携を図る。(文学、国際文化、環境、栄養・健康科学領域など)<br>○達成目標<br>・出張講義回数 : 毎年10回<br>・体験授業回数 : 毎年10回<br>・受講者アンケート : 良好評価70% | 1-1 【平成23年度計画】<br>○23年4月に設置する地域連携センター内の地域交流部門において、高校へ出張講義を実施する。<br>○文部科学省スーパーサイエンスハイスクールとの連携等、高校生向けの体験授業を実施する。<br>○数値目標<br>・出張講義20回、受講者アンケート良好評価80%<br>・体験授業5回、受講者アンケート良好評価70% |       | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○出張講義は、高校へ出張講義一覧表を送付し、講師派遣依頼を促す等積極的に実施した。<br>○体験授業は、SSHで、8月に小倉高校から21名受入れ、香住丘高校から20名を計8回受入れた。<br>※スーパーサイエンスハイスクール(SSH)・・・文部科学省による事業で、科学技術・理科・数学教育を重点的に行う高等学校等をSSHとして指定している。指定校は、先進的な理科教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組等を推進する。<br>○香椎第3中学校含め計3の中学校を受け入れ、「食・健康学科における取組」等の説明を行ったり、学内施設の案内を行った。<br>○香椎第2中学校の社会人講話に講師を派遣した。<br>○数値実績<br>・出張講義 29回(内、SSH 10回) アンケート良好評価 93.1%<br>・体験授業 20回(内、SSH 9回) アンケート良好評価 89% |               | A   | No6「出前講義」 |      | 31  |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
|  |  |  | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①中期目標期間を通して、高校へ出張講義や高校生向けの体験授業を実施した。<br>②中期目標期間を通して、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業より指定を受けた県立小倉高校と連携し、高校生に先端研究に関する体験授業を行った。<br>③平成21年度から、科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業により指定を受けた県立香住丘高校と連携し、高校生に先端研究に関する体験授業を行った(同校は平成23年度よりスーパーサイエンスハイスクール事業の指定校)。<br>○目標実績<br><table border="1" data-bbox="1246 1176 1884 1312"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出張講義</td> <td>28件</td> <td>30件</td> <td>23件</td> <td>19件</td> <td>28件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>93.0%</td> <td>未実施</td> <td>81.4%</td> <td>93.9%</td> <td>99.5%</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>体験授業</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>17件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> <td>100%</td> <td>85.4%</td> <td>100%</td> <td>89.0%</td> </tr> </tbody> </table> ※H22より、出張講義・体験授業の件数にSSH、SPPを含む |   | H18           | H19 | H20       | H21  | H22 | H23 | 出張講義 | 28件 | 30件 | 23件 | 19件 | 28件 | 29件 | 受講者アンケート良好評価 | 93.0% | 未実施 | 81.4% | 93.9% | 99.5% | 93.1% | 体験授業 | 4件 | 4件 | 4件 | 6件 | 17件 | 20件 | 受講者アンケート良好評価 | 未実施 | 未実施 | 100% | 85.4% | 100% | 89.0% |  | A | 計画期間当初は、体験授業の件数が目標に及ばなかったものの、平成22、23年度は、数値目標として掲げている、「出張講義・体験授業」とともに目標を上回って実施し、アンケートによる評価も十分な結果を残しており、中期計画を上回って実施している。 |
|  | H18  | H19  | H20   | H21  | H22   | H23           |     |           |      |     |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
| 出張講義   | 28件  | 30件  | 23件   | 19件  | 28件   | 29件           |     |           |      |     |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
| 受講者アンケート良好評価   | 93.0%  | 未実施  | 81.4% | 93.9%  | 99.5%   | 93.1%         |     |           |      |     |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
| 体験授業   | 4件   | 4件   | 4件    | 6件   | 17件   | 20件           |     |           |      |     |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |
| 受講者アンケート良好評価   | 未実施  | 未実施  | 100%  | 85.4%  | 100%  | 89.0%         |     |           |      |     |     |      |     |     |     |     |     |     |              |       |     |       |       |       |       |      |    |    |    |    |     |     |              |     |     |      |       |      |       |  |   |  |



# 福岡女子大学(社会貢献)

| 中期計画   |  | 平成23年度計画  | ウェイト  |  | 計画の実施状況  | 自己評価   |   | 通し番号                       |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
|--|--|---|-------|--|--|--|---|----------------------------|-----------|---------------------|-----|-----|-----|-----|---------------------|-------|-------|-------|------|--------------|---|----------|-------|------|-----------------|-----|-----|-----|-----|---|---|----------|----|
| 項目   | 実施事項   |   | 中期    | 年度   |  | 中期<br>↓<br>変更  | 年度  | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | データ<br>番号 | 中期                  | 年度  |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| 提供する。<br>3. 壮年・高齢期の学習支援<br>壮年・高齢期の女性の生涯学習の場を提供する。  | 2【資格取得も含んだ再教育プログラム(リカレント教育)の提供(科目等履修生制度の活用等)(就労期の教育支援)】<br>①正規の授業の開放による各学科・専攻のリカレント教育を提供する。<br>(取得できる資格)<br>国文学科<br>:国語教員、司書教諭<br>英文学科<br>:英語教員、司書教諭<br>環境理学科<br>:理科教員、危険物取扱者、基本情報技術士<br>栄養健康科学科<br>:家庭科教員、栄養教諭、管理栄養士<br>生活環境学科<br>:家庭科教員、インテリアプランナー、2級建築士<br>②社会人を受け入れる学習環境(履修年限の弾力化、託児施設との連携など)の整備・充実を図る。<br><br>○達成目標<br>・受講者数<br>:クラスの学生数の1割程度を上限とした受入の実施<br>・受講者アンケート<br>:良好評価60% | 2-1【平成23年度計画】<br>○23年4月に設置する地域連携センター内の女性生涯学習研究部門において、就労期女性等のリカレント教育や教員免許更新講習等を実施する。<br>・新学部における授業開放を実施する<br>・広報用パンフレットを作成し、広報活動を行う<br>○社会人受け入れを推進するため、長期履修制度をホームページに掲載し、周知を図る。<br>○再就職に役立つプログラムを実施する。<br>○数値目標<br>・受講者数(科目等履修生)3人<br>・受講者アンケート良好評価60%<br>・免許状更新講習受講者数(延べ) 70人 | 1     | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○リカレント教育及び教員免許更新講習<br>・新学部設置された科目についても授業開放を行った。<br>・リカレント教育(科目等履修生制度他)のパンフレット(平成24年度開講分)を刷新し、より内容がわかりやすいものにした。<br>・地域連携センター女性生涯学習研究部門ホームページに、「開放授業(科目等履修生・聴講生制度)」のページを新設した。<br>・教員免許更新講習を、8月17日～19日(理科)、22日～25日(国語)計7日間実施した。(受講者数延べ88名)<br>○長期履修制度<br>・地域連携センター女性生涯学習研究部門のホームページに、「長期履修制度」について掲載し、周知を図った。<br><br>○目標実績<br>・リカレント教育(科目等履修生)<br>受講者数 0人<br>・教員免許状更新講習<br>受講者数(延べ) 88人<br>受講者アンケート良好評価 96.6%   | B  | リカレント教育のパンフレットを刷新し、より内容がわかりやすいものにした。また、ホームページにリカレント教育及び長期履修制度に関する情報を掲載した。さらに、教員免許状更新講習については継続して実施し、受講者の増加及びより高い良好評価を得た。リカレント教育(科目等履修生)に関して、一層の広報活動が必要ではあるが、以上により、年度計画を概ね実施している。 | 32                         | 32        |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
|  |  |   |       |  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①リカレント教育の実施について、平成18、19年度に検討・準備を行い、平成20年度から実施した。<br>②平成21年度から、教員免許更新制の導入に伴い、免許状更新講習を開設した。<br>③平成21年度から導入した長期履修制度について、ホームページに掲載し、周知を図った。<br>④平成23年度から、新学部における授業開放も実施した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リカレント教育受講者数(科目等履修生)</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>77.0%</td> <td>89.3%</td> <td>84.8%</td> <td>実施不能</td> </tr> <tr> <td>教員免許状更新講習(延べ人数)</td> <td>未実施</td> <td>77人</td> <td>67人</td> <td>88人</td> </tr> </tbody> </table> |  |   |                            |           |                     | H20 | H21 | H22 | H23 | リカレント教育受講者数(科目等履修生) | 3人    | 4人    | 2人    | 0人   | 受講者アンケート良好評価 | 77.0%   | 89.3%    | 84.8% | 実施不能 | 教員免許状更新講習(延べ人数) | 未実施 | 77人 | 67人 | 88人 | B | リカレント教育の提供については、随時パンフレットを作成し、科目紹介を継続的に実施した。また、平成23年度からは、新学部における授業開放も行った。さらに、大学院においては、長期履修制度を設定し、これを利用した学生の入学があった。加えて、中期計画になかった教員免許状更新講習を実施した。託児施設との連携は困難な状況が確認されたが、以上により、中期計画を概ね実施している。 | 中期<br>27 | 27 |
|  |  |   |       |  |  |  |   |                            |           | H20                 | H21 | H22 | H23 |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| リカレント教育受講者数(科目等履修生)  | 3人   | 4人  | 2人    | 0人   |  |  |   |                            |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| 受講者アンケート良好評価   | 77.0%  | 89.3%   | 84.8% | 実施不能   |  |  |   |                            |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| 教員免許状更新講習(延べ人数)  | 未実施  | 77人   | 67人   | 88人  |  |  |   |                            |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| 3【正規の授業開放による教育の実施(科目等履修生制度の活用)(壮年・高齢期の学習支援)】<br>「言語・文学・文化」と「健康・生活・環境」に関する学部・大学院における専門教育を提供する。<br><br>○達成目標<br>・受講者数<br>:クラスの学生数の1割程度を上限とした受入の実施<br>・受講者アンケート<br>:良好評価60% | 3-1【平成23年度計画】<br>○23年4月に設置する地域連携センター内の女性生涯学習研究部門において、壮年・高齢女性への高度教養教育を実施する。<br>・新学部における授業開放を実施する<br>・正規の授業科目の中から「おすすめ科目」を整備するとともに、広報用パンフレットを作成して、広報活動を行う<br>○数値目標<br>・受講者数 5人<br>・受講者アンケート良好評価60%   | 1   | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○新学部設置された科目についても授業開放を行った。<br>・「おすすめ科目」を整備し、広報用パンフレットを刷新した。<br>・地域連携センター女性生涯学習研究部門ホームページに、「開放授業(科目等履修生・聴講生制度)」のページを新設した。<br><br>○目標実績<br>・受講者数(聴講生のうち40歳以上の者) 8名(前期5名、後期3名)<br>受講者アンケート良好評価 100%(回答者1名のみ)  | B  | 平成23年度作成のパンフレットは、より内容がわかりやすいものに刷新した。さらに、ホームページにも情報を掲載した。また、新学部設置に伴い、新学部からも「おすすめ科目」を選定し、授業開放を実施した。以上により、年度計画を十分に実施している。 | 33  | 33                         |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
|  |  | 1   | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①壮年・高齢者への学習支援について、科目履修制度を利用して授業開放を行うことを決定し、平成20年度から実施した。<br>②社会人女性に身近なテーマを「おすすめ科目」として設定、広報用パンフレットを作成し、広報活動を行った。<br>③平成23年度から、新学部設置した科目についても授業開放を行った。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数(聴講生のうち40歳以上の者)</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>76.5%</td> <td>90.2%</td> <td>84.8%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> |  | H20  | H21   | H22                        | H23       | 受講者数(聴講生のうち40歳以上の者) | 3人  | 3人  | 6人  | 8人  | 受講者アンケート良好評価        | 76.5% | 90.2% | 84.8% | 100% | B            | 随時広報パンフレットの作成、継続的な科目紹介を実施し、受講生を確保した。また、平成23年度には新学部設置に伴い、新学部における授業開放を実施した。以上により、中期計画を十分実施している。 | 中期<br>28 | 28    |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
|  | H20  | H21   | H22   | H23  |  |  |   |                            |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| 受講者数(聴講生のうち40歳以上の者)  | 3人   | 3人  | 6人    | 8人   |  |  |   |                            |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |
| 受講者アンケート良好評価   | 76.5%  | 90.2%   | 84.8% | 100%   |  |  |   |                            |           |                     |     |     |     |     |                     |       |       |       |      |              |   |          |       |      |                 |     |     |     |     |   |   |          |    |



# 福岡女子大学(社会貢献)

| 中期計画   |  | 平成23年度計画 | ウェイト  |       | 計画の実施状況   | 自己評価          |             | データ番号 | 通し番号                       |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
|--|--|----------|-------|-------|---|---------------|-------------|-------|----------------------------|-----|-----|-----------|-------|-----|------|-----|------|-----------|------|------------------------|-----|-----|-----|--------------------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|--|----------|-------|---|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期    | 年度    |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度          |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
|  | 4【心身の健康や生き甲斐を探究する各種公開講座及びホームページによる情報提供の充実(壮年・高齢期の学習支援)】<br>①壮年・高齢者を対象にして、下記のような公開講座等を開講する。<br>・心身の健康を保つ教育(心理学・哲学・文学・体育学・栄養学等の文理両分野の教養講座)<br>・人生観を共に考える教育:生死について考えることによる充実した生活(心理学・哲学・教育学・文学・生命科学等の教養講座)<br>・現代的課題に関する教育(環境問題、多文化理解、生命倫理等の教養講座)<br>②受講者に対して、ホームページや広報誌等による情報提供を行うなどして、生涯学習を支援する。<br><br>○達成目標<br>・公開講座数<br>: 年間に2公開講座を開講<br>・受講者数<br>: 各講座平均して60名程度<br>・受講者アンケート<br>: 良好評価70% | 4-1      | 1     | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○「脳と加齢—認知症を考える—」(春季公開講座)、「食べる・生きる・楽しむ—健康に生きる秘訣とは—」(秋季公開講座)等心身の健康に関する講座を始めとして、国際化や環境問題についての公開講座を実施した。<br>○公開講座等の受講者へメール登録を促し、講座情報のメール配信を実施した。<br><br>○目標実績<br>・公開講座数(延べ回数) 47回<br>土曜公開講座10回、春季公開講座6回、秋季公開講座6回、自由企画講座23回<br>かすみ祭特別講演会(共催)2回<br>・受講者数(延べ人数) 1990名<br>・各講座受講者数 平均50.1名(受講者を限定しない講座延べ29回分)<br>・受講者アンケート良好評価 81.8%   | B             | No.23「公開講座」 | 34    |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
|  |  | 1        | 1     | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①春季・秋季・土曜公開講座及び特別公開講座、講演会、文学講座等を開催した。<br>②平成19年度からの新規事業として、自由企画講座を実施した。<br>③平成19年度から、講座内容のホームページ掲載、受講者に対する講座情報のメール配信を開始した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座数</td> <td>8講座</td> <td>12講座</td> <td>9講座</td> <td>45講座</td> <td>56講座</td> <td>47講座</td> </tr> <tr> <td>各講座受講者数(受講者数を限定しない講座分)</td> <td>88人</td> <td>92人</td> <td>56人</td> <td>34.4人</td> <td>47.4人</td> <td>50.1人</td> </tr> <tr> <td>受講者アンケート良好評価</td> <td>67.6%</td> <td>75.7%</td> <td>80.7%</td> <td>78.6%</td> <td>76.8%</td> <td>81.8%</td> </tr> </tbody> </table> ※H21より講座のカウント方法を延べ講座数に変更 |               | H18         | H19   | H20                        | H21 | H22 | H23       | 公開講座数 | 8講座 | 12講座 | 9講座 | 45講座 | 56講座      | 47講座 | 各講座受講者数(受講者数を限定しない講座分) | 88人 | 92人 | 56人 | 34.4人              | 47.4人 | 50.1人 | 受講者アンケート良好評価 | 67.6% | 75.7% | 80.7% | 78.6%  | 76.8%    | 81.8% | B |
|  | H18  | H19      | H20   | H21   | H22   | H23           |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| 公開講座数  | 8講座  | 12講座     | 9講座   | 45講座  | 56講座  | 47講座          |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| 各講座受講者数(受講者数を限定しない講座分)   | 88人  | 92人      | 56人   | 34.4人 | 47.4人   | 50.1人         |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| 受講者アンケート良好評価   | 67.6%  | 75.7%    | 80.7% | 78.6% | 76.8%   | 81.8%         |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| 2 教育研究の成果の活用による地域貢献および国際交流の推進<br><br>地域社会からの多様な生涯学習ニーズに一層応える。国際交流を活発に行うシステムを整備し、教育研究の国際化を図り、アジア・太平洋地域と連携・協力して女子教育の推進を図る。 | 1【女性生涯学習研究センターへの改組と福岡女子大学人材バンクの開設】<br>①現生涯学習研究センターを女性生涯学習研究センターへ改組し、地域の生涯学習の要望に一層応える。<br>②福岡女子大学人材バンクの開設により、地域貢献と県行政への貢献を一層図る。<br>※生涯学習講座の充実のために、人材バンクでは本学の人材について専門性や提供できるサービス等の情報をまとめる。<br><br>○達成目標<br>・人材バンク利用実績<br>: 年間に学内外合わせて10件程度   | 1-1      | 1     | 1     | 【平成23年度の実施状況】<br>○心身の健康に関する講座を始めとして、女性の人生観をテーマとした講演会を実施した。<br>・特に、トップリーダー招聘によるリーダー養成講座として、社会の一線で活躍する女性や本学OGである著名な作家を招いて、女性の働き方、生き方に関する特別講演会を2回実施した。<br>「日本の100年プロジェクト—貴女の生きかたが100年後の日本を支える息吹となるように—」<br>「生き直しの旅を続けて」<br><br>○目標実績<br>・プログラム実施数(リーダー養成講座) 2件<br>・人材バンク利用実績 7件<br>・人材バンク登録者数 71人<br>※人材バンク登録に加え、教員の研究概要や社会への貢献可能な分野、高校への出張講義テーマ等を掲載した「教員データブック」を発行した。(配布先: 地方公共団体、公共施設、地域公民館等)  | B             |             | 35    |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
|  |  | 1        | 1     | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年4月に、「生涯学習研究センター」を「女性生涯学習研究センター」に改組した。<br>②「福岡女子大学人材バンク」の開設(平成22年4月)に向け、登録対象者を拡大し、登録情報の充実を図った。<br>③平成23年4月に、「女性生涯学習研究センター」を「地域連携センター女性生涯学習研究部門」に改組し、トップリーダー招聘によるリーダー養成講座として、女性の働き方、生き方に関する特別講演会を実施した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材バンク登録者数</td> <td>41人</td> <td>47人</td> <td>33人</td> <td>71人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>人材バンク利用実績</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>プログラム実施数(リーダー養成講座)</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>                         |               | H19         | H20   | H21                        | H22 | H23 | 人材バンク登録者数 | 41人   | 47人 | 33人  | 71人 | 71人  | 人材バンク利用実績 | 目標外  | 目標外                    | 目標外 | 目標外 | 7件  | プログラム実施数(リーダー養成講座) | 目標外   | 目標外   | 目標外          | 目標外   | 2件    | B     | 生涯学習研究センターを、平成18年度に女性生涯学習研究センターへ、また平成23年度に地域連携センター女性生涯学習研究部門へと改組し、各種再教育プログラムを実施した。人材バンクについては平成22年度よりホームページに掲載し、微増ではあるが利用が増加した。以上により、中期計画を概ね実施している。 | 中期<br>30 |       |   |
|  | H19  | H20      | H21   | H22   | H23   |               |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| 人材バンク登録者数  | 41人  | 47人      | 33人   | 71人   | 71人   |               |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| 人材バンク利用実績  | 目標外  | 目標外      | 目標外   | 目標外   | 7件  |               |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |
| プログラム実施数(リーダー養成講座)   | 目標外  | 目標外      | 目標外   | 目標外   | 2件  |               |             |       |                            |     |     |           |       |     |      |     |      |           |      |                        |     |     |     |                    |       |       |              |       |       |       |  |          |       |   |



# 福岡女子大学(社会貢献)

| 中期計画           |  | 平成23年度計画 | ウェイト   |      | 計画の実施状況   | 自己評価  |     | データ番号 | 通し番号                       |     |      |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
|----------------|--|----------|--|------|---|---|-----|-------|----------------------------|-----|------|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|----|--|
| 項目             | 実施事項   |          | 中期   | 年度   |   | 中期<br>↓<br>変更   | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度   |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
| 2              | 【国際交流・留学生センターの設立】<br>①国際交流・留学生センターの設立<br>②アジアからの留学生支援体制の充実及び海外留学・研修支援制度の充実<br>③学生交流及びアジア・太平洋地域の大学・研究所との学術交流による女子高等教育の推進<br>④国際交流・留学生センターの広報充実<br><br>○達成目標<br>・国外からの留学生数<br>:全学生の2%程度の受け入れ | 2-1      | 【平成23年度計画】<br>○国際交流センター体制の充実<br>・本学の学生、教職員の国際性を一層涵養し、国際化を推進するため、23年4月より既存の「国際交流センター」を「国際化推進センター」と改称し、スタッフを増員する等、組織の強化を行う。<br>○留学生支援制度の充実<br>・22年度にチューター制度を「JD-Mate: JyoshiDai-Mate」として登録制に変更し、従来よりも積極的に本学の国際交流に関わる機会を増やす体制を整備した。23年度からは、入学時に登録制度を説明し、登録者の一層の増加を図る。<br>(22年度:75人→23年度:90人)<br>・学部新入生には、JD-Mateから選抜したJD-Mate freshを1対1で配置する。 |      |   | 【平成23年度の実施状況】<br>○平成23年4月1日から、「国際化推進センター」が発足し、前身の国際交流センター専従職員3名体制を5名体制に拡充・強化した。<br>○JD-Matesに関する説明を新1年生に行い、23年度前期に87名の新入生が登録した。2年生以上では5名が新たに登録した。<br>後期にも登録案内を行い、新たに11名の学生が登録し、23年度中の新規登録者数は合計103名にのぼった。<br>22年度からの継続登録者を合わせたJD-Mates総登録者数は171名(H22年度:70名)であり、目標、前年度実績をはるかに超えている。   |     | A     |                            |     | 36   |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
|                |  | 2-2      | 【平成23年度計画】<br>○国際交流の促進<br>・海外有力大学と協議を行い、提携校を増やす。(3校)<br>・欧州連合(EU)に関する教育・学術研究、情報収集・発信の拠点となるEUIJ(EUインスティテュート・ジャパン)九州を、23年4月に九州大学、西南学院大学とともに設置し、今後、EUIJに対する理解を深める活動を展開する。<br>・アジアの有力協定校との「大学コンソーシアム・アジア・イン福岡」の設立に着手する。<br>○広報の充実<br>・優秀な留学生を確保するため、効率的・効果的な留学生の募集方法を検討し、募集活動を行う。  |      |   | 【平成23年度の実施状況】<br>○海外有力大学との協定は、23年度中に9校と締結した。<br>※協定締結大学: Lund大学人文学部、ポーランド化学アカデミー地理及び空間組織学研究所、ワルシャワ大学地理及び地域研究学部、ダルムシュタット大学、同済大学、コペンハーゲン大学、淡江大学、アイスランド大学、中国医科大学<br>○23年4月のEUIJ九州発足とともに、教育部会、研究部会、広報・アウトリーチ部会及びコーディネーション部会の4部会に分かれ活動を開始した。九州大学、西南学院大学と共にEUIJに関する理解を深める事業を毎月2~5件実施したほか、本学内でもEUIJに関するシンポジウムを6月と11月の2回実施した。3大学キャンパスのほか、大学を離れた都心部でも事業を実施し、大学関係者以外の誘客にも力を入れ、広くEUの普及啓発を図った。<br>○7月21日の「アジア地域大学コンソーシアム福岡」準備会合を経て、10月31日から11月2日の間、「アジア地域大学コンソーシアム福岡代表者会議」を開催した。本学を含めたアジアの有力大学10大学が参集し、11月1日にコンソーシアムの共同宣言を採択し、今後、共同研究等を展開することを確認するとともに、各校代表者のプレゼンテーション、学生と各校代表者の対話集会、学生ミーティング等のイベントを開催した。<br>○海外での広報活動は、9月13日から16日までの間、デンマークのコペンハーゲンで開催された欧州国際交流会議に参加し、EU諸国の大学に本学の紹介を行い、交流協定締結についても各大学と協議した。9月24日と25日に中国の北京で開催された日本留学フェアに参加し、本学の紹介を行った。本学ブースで説明を受けた留学生は約100名に上り、本学への関心を喚起できた。 |     | A+    | No.24「国際交流協定」              | 37  |      |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
|                |  |          |  |      | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年10月に、「国際交流センター」を設置し、学生の語学研修や外国の学生の受入れ・交流を行った。<br>②平成19年度から、海外への短期研修プログラムを実施した。<br>③平成20年度に1校、平成21年度には9校、平成22年度には2校の海外の大学と国際交流協定を締結し、平成23年度にはさらに9校と協定締結を行った。<br>④平成22年度から、海外有力大学の優秀な留学生を受け入れるWJCプログラム(The World of Japanese Contemporary Culture Program)を開始し、短期留学生を受け入れた。<br>⑤平成23年度に、本学を含めたアジアの有力10大学とともに、「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を設立した。<br>⑥平成23年度に、欧州連合(EU)に関する教育・学術研究、情報収集・発信の拠点となる「EUIJ九州」を設立した。<br><br>○目標実績<br><table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国外からの留学生数</td> <td>13人</td> <td>14人</td> <td>17人</td> <td>23人</td> <td>45人</td> <td>目標外</td> </tr> <tr> <td>海外語学研修、海外研修参加者</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>目標外</td> <td>34人</td> <td>目標外</td> </tr> </tbody> </table> ※国外からの留学生数、海外への留学生数は、23年度は「8.大学改革の推進」へ移動 |   | H18 | H19   | H20                        | H21 | H22  | H23 | 国外からの留学生数 | 13人 | 14人 | 17人 | 23人 | 45人 | 目標外 | 海外語学研修、海外研修参加者 | 目標外 | 目標外 | 目標外 | 目標外 | 34人 | 目標外 |  | A+ |  |
|                | H18  | H19      | H20  | H21  | H22   | H23   |     |       |                            |     |      |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
| 国外からの留学生数      | 13人  | 14人      | 17人  | 23人  | 45人   | 目標外   |     |       |                            |     |      |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
| 海外語学研修、海外研修参加者 | 目標外  | 目標外      | 目標外  | 目標外  | 34人   | 目標外   |     |       |                            |     |      |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
| ウェイト総計         |  |          | 中期   | 23年度 |   |   |     |       | 項目数計                       | 中期  | 23年度 |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |
|                |  |          | 7  | 8    |   |   |     |       |                            | 6   | 7    |     |           |     |     |     |     |     |     |                |     |     |     |     |     |     |  |    |  |

# 福岡女子大学(社会貢献)

| 中期計画 |      | 平成23年度計画 | ウェイト |    | 計画の実施状況 | 自己評価          |    |                            | 通し番号      |    |
|------|------|----------|------|----|---------|---------------|----|----------------------------|-----------|----|
| 項目   | 実施事項 |          | 中期   | 年度 |         | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | データ<br>番号 | 中期 |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

「2-2-1」福岡女子大学改革基本計画と方針が一致する取り組みであり、重点施策として位置づける。

| 社会貢献に関する特記事項(平成18年度～平成22年度)  |
|--|
| ①本学が主体となる、産学官連携組織「福岡発食育&食環境整備ネットワーク」の事業が農林水産省の平成20年度「にっぽん食育推進事業」に選定され、教員と学生が連携して食事バランスガイドの普及や食育の推進に取り組んだ。  |
| 社会貢献に関する特記事項(平成23年度)   |
| ①「日本国福岡女子大学食育支援プロジェクトと中国遼寧省公衆栄養士協会との学術交流に関する協議書」を平成23年4月13日付で締結した。中国公衆栄養士協会との学術交流・国際貢献推進のための基礎調査を行うため、本学研究代表者が遼寧省瀋陽を訪問し、学術交流記念講演会での記念講演やパネルディスカッションを行った。また、中国医科大学を訪問し、本学と中国医科大学との学術交流に関する協議を行い、その結果として、本学と中国医科大学との間で平成24年2月5日に学術交流協定を締結した。 |

# 福岡女子大学(業務運営)

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>中期目標<br/>4. 業務運営</p> | <p>「理事長のリーダーシップのもと、主体的・自律的な大学運営を確立する。」</p> <p>大学は、理事長のリーダーシップのもと、全学的な教育研究目標を策定し、大学の有する資源を最大限に活用して、主体的・自律的な大学運営を確立する。<br/>理事長を補佐するため、事務局による支援体制を強化する</p> |
|-------------------------|---|

| 項目  | 実施事項  | 平成23年度計画  | ウエイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |  | データ番号 | 通し番号           |   |
|---|---|---|------|----|---|---------------|--|-------|----------------|---|
|   |   |   | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |       | 中期<br>年度<br>理由 | 中期  |
| <p>1 運営体制の改善</p> <p>理事長が中心となって、全学的経営戦略の観点から学内諸資源の適正な配分を行い、かつ効率的な運用を図る体制を整備する。</p> | <p>1【学内資源の適正な配分と事務局機能の強化】</p> <p>理事長が中心となって策定した全学的な教育研究目標に沿って、教育研究活動の活性化や法人運営に資するよう学内資源の適正な配分を図る。<br/>また、事務局における法人運営機能の強化を図る。</p> | <p>1-1【平成23年度計画】</p> <p>○新学部開設に合わせ、事務局体制の再編を行う。<br/>・新学部開設に伴い、法人・大学運営の機動性を高めるため、その体制を大幅に見直すとともに、重点事業分野を中心として事務体制の強化を図る。<br/>・ノウハウの蓄積が重要な業務、専門知識・能力が必要な業務に、経験者・有資格者を嘱託職員として採用する。<br/>・事務局機能強化に向け、H24年度から職員のプロパー化を行うこととしており、H23年度は県立3大学によるプロパー採用試験を実施する。<br/>○他大学とのFD・SDネットワーク事業(Q-Links)への参画やSD研修等の実施により、事務執行能力の向上を図る。</p> | 1    | 1  | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○新しい大学づくりに向けた機動的な運営を推進するため、附属機関の再編と併せ、事務局の体制・機能の強化を図るべく、要員配置及び事務分掌の見直しを行い、新体制での運営をスタートさせた。(県人事異動の関係で23年5月本稼働)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設: 経営管理部(総務班、財務管理班)、学務部(教務企画班、学生支援班)</li> <li>・新設: 地域連携班、国際化推進班、入試・広報・キャリア支援班</li> <li>・統合等: 大学改革推進室を経営企画室に統合、教育学習支援センターに担当事務員を配置</li> </ul> <p>就職支援の充実(継続性の確保)を図るため、緊急雇用対策で任用した専門知識・技能を有する支援員を嘱託職員として確保した。<br/>事務局機能の強化に向け、国際化推進、入試・広報に関して専門知識・技能を有する職員をプロパー職員として確保した。<br/>H24年度から2名のプロパー職員を採用するため、10月23日にプロパー職員採用試験を実施した。<br/>更なる事務の効率化に向け、事務局職員の適性に応じた配置を行うなど、平成24年度体制の整備を図った。<br/>○業務運営の見直しに向け、全学生に対し「意識調査アンケート」を実施した。アンケート結果に基づき成果・課題分析を行い、関係部署において対応策の検討等を行い、業務改善に繋げた。<br/>○九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク(Q-Links)主催の研修会やカリキュラム開発プロジェクトに参加した。<br/>9月上旬に事務局全職員を対象としたSD研修会を2回実施した。<br/>9/1: 大学を取り巻く環境(入口・出口)の理解、他<br/>9/8: 福岡女子大学の職員としての主体的な取組み<br/>公立大学協会の「公立大学職員セミナー」に職員3人が参加した。</p> | B             | <p>新学部開設に合わせ、附属機関の再編と事務局の体制・機能の強化を図るとともに、就職支援の充実に向けた専門知識・技能を有する支援員の嘱託職員としての確保や、事務局機能の強化に向けた専門知識・技能を有する職員のプロパー職員としての確保、24年度のプロパー職員採用に向けた採用試験の実施等を行った。また、学生の「意識調査アンケート」を実施し、関係部署において対応を図る等業務改善に努めた。さらに、事務局全員を対象としたSD研修会を実施した。以上により、年度計画を十分に実施している。</p> |       |                | 38  |
|   |   |   |      |    |   |               |  | 1     | 1              | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①平成18年度に、法人運営会議、部局長会議による重要課題の検討対応や各種委員会、部会等を設置し、開催した。また、「国際交流センター」等5センターを設置し、運営した。</li> <li>②平成19年度に、大学改革に伴う諸課題に対応するための部署として、「大学改革推進室」を設置した。</li> <li>③平成20年度に、事務局業務の外部委託を進め、人材派遣の活用や嘱託職員の増員を行った。</li> <li>④平成21年度に、新学部開設準備のため、国際交流及び広報を担当する専門職の嘱託事務職員をそれぞれ1名ずつ採用し、海外大学との連携の進展、広報体制の強化に努めた。</li> <li>⑤平成22年度に、国際化に対応するため、県庁内の公募制度を活用し、国際分野経験のある派遣職員を受け入れた。また、多言語対応が可能な嘱託職員を採用した。</li> <li>⑥平成23年度に、新学部開設に合わせ、附属機関の再編、要員配置や事務分掌の見直しを行い、新体制での運営をスタートさせた。また平成24年度のプロパー職員導入に向けて、採用試験を実施した。</li> </ol> |

# 福岡女子大学(業務運営)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画   | ウェイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |    | データ番号 | 通し番号                       |    |    |          |
|------|--|--|------|----|---|---------------|----|-------|----------------------------|----|----|----------|
| 項目   | 実施事項   |  | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 | 年度 |          |
|      | 2【安全衛生管理】<br>学内の安全管理・危機管理を徹底するとともに、学生・教職員の健康衛生管理を充実する。 | 2-1 【平成23年度計画】<br>○安全管理・危機管理体制・防犯体制の点検と改善<br>・安全衛生委員会が中心となって、安全衛生状況の点検を随時行い、必要に応じて施設設備等の改善を行う。<br>・学内のヒヤリハット事例を収集し、研修会等の開催により、学内で情報の共有化を図り、事故の未然防止に役立てる。   | 1    | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○安全管理・危機管理体制・防犯体制の点検・改善<br>・非喫煙者への配慮、学生への教育目的から学内の喫煙所の移設及び改修を実施した。<br>・安全衛生委員会が中心となり、職場巡視を実施した。<br>・安全衛生委員会に寄せられたヒヤリハット報告により、側溝蓋の修理を行った。それを含む学内のヒヤリハット事例を周知し、情報の共有化を図ると共に事故の未然防止への意識を高めた。<br>・安全衛生委員会が実験・実習設備の自主点検を呼びかけ、また共用設備の点検を行い、実験・実習の安全性を高めた。<br>・消防局の「救マーク制度」申請を行い、23年8月認定された。  | B             |    |       | 39                         |    |    |          |
|      |  | 2-2 【平成23年度計画】<br>○講習会・防災訓練等の実施<br>・学外の各種安全講習会、メンタルヘルス・過重労働についての講習会・研修会への参加<br>・救命講習・防災訓練等の実施<br>・毒・劇物適正管理講習会、廃棄物処理説明会の開催<br>○新学部設置を機に全学生・教職員向け(これまでは人間環境学部向け)に改訂した安全マニュアルを新入生に配布し、学内の安全衛生・防災について更なる周知徹底を図る。 |      |    | 【平成23年度の実施状況】<br>○講習会・防災訓練等の実施<br>・労働安全衛生に関する研修会に参加した。<br>・消防署主催の普通救命講習に教職員8名が参加した。<br>・学生寮にて避難訓練、消防訓練及び消防署員による講話を行った。<br>・学内に毒・劇物適正管理講習会、廃棄物処理説明会、過重労働防止説明会を開催した。<br>・12月に学内において、救命講習を実施した。<br>○新入生及び全教職員に改訂した安全マニュアルを配布し、新入生にはオリエンテーション時に内容を説明した。<br>また、24年度新入生配布用に安全マニュアルを印刷、配布準備を整えた。   |               |    |       |                            | B  |    | 40       |
|      |  |  |      |    | 【中期目標期間の実施状況】<br>①安全衛生委員会を中心に、安全管理・危機管理・防犯体制の構築・点検・改善等を実施した。また産業医による職場巡視を実施した。<br>②学生相談室(臨床心理士)の活用と保健室(看護師職)の日々の助言指導等による、学生の健康増進に向けての相互補完的なカウンセリング体制を築いた。<br>③AEDを購入、配置するとともに、取扱説明や救命講習を全教職員対象に実施した。<br>④毒劇物の取扱指針・薬品保管庫使用要領を作成し、適正な保管管理体制を整備した。<br>⑤学外の各種安全講習会に積極的に参加した。また救命講習や毒劇物適正管理講習会等を実施した。<br>⑥教職員に対し、安全講習会・防災訓練を実施し、また安全・危機管理マニュアルの周知徹底を図った。<br>⑦安全・危機管理マニュアルを学生便覧に掲載することで、学生に対しても周知徹底を図った。<br>⑧安全衛生委員会内に廃棄物処理対策専門部会を設置した。 |               |    |       |                            | B  |    | 中期<br>33 |



# 福岡女子大学(業務運営)

| 中期計画   |  | 平成23年度計画  | ウェイト    |  | 計画の実施状況  | 自己評価          |  | データ番号                                     | 通し番号                       |           |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
|--|--|---|---------|--|--|---------------|--|---|----------------------------|-----------|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|---|---|--|----------|
|  |  |   | 中期      | 年度   |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |   | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期        | 年度  |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
| 2 人事の適正化<br>教職員の業務・業績に関する評価制度及び教員全員への任期制を導入する。 | 1【教員の個人業績評価システムの導入】<br>教員の業務・業績に関する評価制度を導入し、教員の職務能力の向上を図る。<br>評価結果を給与に反映させる。 | 1-1【平成23年度計画】<br>○22年度の活動実績について、個人業績評価を実施し、その結果を給与に反映させる。 |         | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○以下の日程により個人業績評価を実施した。<br>学内説明会 5月31日、6月7日<br>提出締切 6月30日<br>評価結果通知 9月12日<br>○評価結果に基づき、12月の報奨金(勤勉手当)に反映させた。 |               | B  | 個人業績評価を行い、評価結果を給与に反映させており、年度計画を十分に実施している。 |                            | 41        |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
|  |  |   | 1       | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度に、試行期間として平成17年度の活動実績について個人業績評価を実施した。平成18年度活動実績についての個人業績評価を行うにあたり説明会を開催し、評価基準等の周知を図った。<br>②平成19年度から平成23年度に、それぞれ前年度の活動実績について個人業績評価を実施し、評価結果を基に、12月の報奨金、業績年俸に反映させた。   |  | B             | 個人業績評価について、18年度に試行的に実施し、19年度からは本格的に実施した。<br>また19年度から23年度まで評価結果に基づいた給与反映を行ってきた。<br>以上のことから中期目標を十分に実施している。 |   | 中期<br>34                   |           |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
|  | 2【教員全員への任期制の導入】<br>全教員を対象とした任期制を導入する。  | 2-1【平成23年度計画】<br>○任期制導入の推進<br>・新規採用教員の公募条件として任期制とする。      |         | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○任期制導入の推進<br>・新規採用教員(全27名)は全て任期制を導入した。  |               | B  | 23年度の新規採用教員は全て任期制を導入しており、年度計画を十分に実施している。  | No.28「任期制同意状況(教員)」         | 42        |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
|  |  |   | 1       | 【中期目標期間の実施状況】<br>①新規採用者は全て任期制を導入した。<br>②非任期制の教員については、昇任時に任期制への移行の打診を行い、平成18年度以降4名の同意を得た。<br><br>○目標実績<br><table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>任期制同意率(各年度3月末)</td> <td>43.8%</td> <td>44.0%</td> <td>41.0%</td> <td>45.0%</td> <td>50.7%</td> <td>65.1%</td> </tr> </tbody> </table> |  | H18           | H19  | H20                                       | H21                        | H22       | H23 | 任期制同意率(各年度3月末) | 43.8% | 44.0% | 41.0% | 45.0% | 50.7% | 65.1% |  | B | 新規採用教員については、すべて任期制としている。<br>また、非任期制の教員が管理職へ昇任する際は任期制への移行を条件としている。<br>以上のことから中期目標を十分に実施している。 |  | 中期<br>35 |
|  | H18  | H19   | H20     | H21  | H22  | H23           |  |   |                            |           |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
| 任期制同意率(各年度3月末)                                 | 43.8%  | 44.0%   | 41.0%   | 45.0%  | 50.7%  | 65.1%         |  |   |                            |           |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |
|  |  | ウェイト総計  | 中期<br>4 | 23年度<br>5  |  |               |  | 項目数計                                      | 中期<br>4                    | 23年度<br>5 |     |                |       |       |       |       |       |       |  |   |   |  |          |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

該当なし

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|               |  |
|---------------|--|
| 中期目標<br>5. 財務 | 「経営者の視点に立って、法人の財政運営を行う。」<br><br>大学は、その運営が公的資金に支えられていることを踏まえ、経営者の視点に立って、不断の経営努力を行う。<br>収入については、重要な自己財源である学生納付金のあり方について検討するとともに、外部研究資金の獲得に努め、社会人向け教育サービスや資産の有効活用などによる新たな収入の確保にも積極的に取り組む。<br>経費については、人員配置や業務内容の見直しを推進し、その抑制を図る。 |
|---------------|--|

| 中期計画  |   | 平成23年度計画  | ウエイト  |   | 計画の実施状況   | 自己評価          |  | データ番号         | 通し番号                       |     |     |          |       |       |       |       |       |       |   |  |
|---|---|---|-------|---|---|---------------|--|---------------|----------------------------|-----|-----|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|--|
| 項目  | 実施事項  |   | 中期    | 年度  |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度                                       |               | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |          |       |       |       |       |       |       |   |  |
| 1 自己収入の増加<br><br>大学経営の資金確保を図るため、自己収入の確保および増加に努める。 | 1 【学生納付金の確保とあり方検討】<br>学生納付金のあり方を検討する。また、学生納付金の未納に対する取り組みを強化する。<br><br>○達成目標<br>・学生納付金収納率:100% | 1-1 【平成23年度計画】<br>○学生納付金の未納解消を図り、未納者に対する督促・納付指導を徹底する。<br>○数値目標<br>・学生納付金収納率100% | 1     | 1   | 【平成23年度の実施状況】<br>○未納者に対して電話連絡を行うとともに、督促状及び催告状を送付した。<br>○担当教員等からの連絡や、納付しない場合は除籍になる旨を記した文書送付による督促等を行い、なお未納の場合は更に保証人(保護者)に対し電話による催告を3回以上行っている。<br>○目標実績<br>学生納付金収納率99.6% | B             | 滞納者への督促・指導を行い、目標を概ね達成しており、年度計画を十分実施している。 | No.29「学生納付金等」 | 43                         | 43  |     |          |       |       |       |       |       |       |   |  |
|   |   | 1   | 1     | 【中期目標期間の実施状況】<br>①未納者に対して、電話連絡、督促状の送付、催告状の送付を行った。<br>②学生納付金の未納解消を図るため、納付しない場合には除籍になる旨を記した文書による督促を行い、なお未納の場合は更に保証人(保護者)に対し電話による催告を3回以上行なった。<br><br>○目標実績<br><table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse; text-align: left;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生納付金収納率</td> <td>99.1%</td> <td>99.3%</td> <td>99.3%</td> <td>99.4%</td> <td>99.6%</td> <td>99.6%</td> </tr> </tbody> </table> |   | H18           | H19                                      | H20           | H21                        | H22 | H23 | 学生納付金収納率 | 99.1% | 99.3% | 99.3% | 99.4% | 99.6% | 99.6% | B | 22年度までは対前年度を概ね上回って回収しており、中期目標期間における達成度は90%以上である。<br>以上により中期計画を十分に実施している。 |
|   | H18   | H19   | H20   | H21   | H22   | H23           |  |               |                            |     |     |          |       |       |       |       |       |       |   |  |
| 学生納付金収納率  | 99.1%   | 99.3%   | 99.3% | 99.4%   | 99.6%   | 99.6%         |  |               |                            |     |     |          |       |       |       |       |       |       |   |  |

# 福岡女子大学(財務)

| 中期計画  |   | 平成23年度計画 | ウェイト   |         | 計画の実施状況   | 自己評価          |     | データ番号           | 通し番号                       |     |     |       |       |       |         |         |         |       |     |     |     |     |     |  |   |
|-------|---|----------|--|---------|---|---------------|-----|-----------------|----------------------------|-----|-----|-------|-------|-------|---------|---------|---------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--|---|
| 項目    | 実施事項  |          | 中期   | 年度      |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |                 | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |       |       |       |         |         |         |       |     |     |     |     |     |  |   |
| 2     | 【学内の特別講座、有料公開講座等による収入の確保】<br>学生対象の特別講座(公務員養成講座、教員試験対策講座、教養試験対策講座、各種資格取得支援講座)や資格取得支援講座等において受講料・聴講料を徴収し、教育プログラムの充実を図るとともに自己収入の増加に努める。<br><br>○達成目標<br>・開設講座数<br>:平成23年度までに3講座以上 | 2-1      | 【平成23年度計画】<br>○23年4月から設置する地域連携センターにおいて、受講生のニーズに合った講座等を計画し、広報に力を入れ、受講者増加を図る。<br>・土曜公開講座<br>・春季・秋季公開講座<br>・教員免許状更新講習<br>・リカレント教育<br>・外国語等コミュニケーション能力養成講座 等<br>○数値目標<br>・開設講座等数 6講座<br>・受講料収入 800千円以上 | 1       | 【平成23年度の実施状況】<br>○土曜公開講座を通年(5月～2月に10回)実施した。<br>・春季公開講座(6月に6回)及び秋季公開講座(10月に6回)を実施した。<br>・教員免許状更新講習(8月)を実施した。<br>・公開講座、教員免許状更新講習、リカレント教育に関して、パンフレットやチラシの作成・配布及びホームページへの掲載などの広報を行った。特に、公開講座に関しては、希望者にメールで情報配信を実施した。<br><br>○目標実績<br>・開設講座等数 5講座(有料公開講座3講座、リカレント教育、教員免許状更新講習)<br>・受講料収入 1,082千円<br>内訳:土曜公開講座(10コマ) 216千円<br>春季・秋季公開講座(6コマ) 188千円<br>リカレント教育(科目等履修生・聴講生) 148千円<br>教員免許状更新講習 530千円  |               | B   | No.30「その他の自己収入」 | 44                         |     |     |       |       |       |         |         |         |       |     |     |     |     |     |  |   |
|       |   |          |  | 1       | 【中期目標期間の実施状況】<br>①土曜・春季公開講座・秋季公開講座、リカレント教育、教員免許状更新講習で受講料を徴収した。<br><br>○目標実績<br><table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講料収入</td> <td>835千円</td> <td>693千円</td> <td>1,257千円</td> <td>1,010千円</td> <td>1,082千円</td> </tr> <tr> <td>開設講座数</td> <td>3講座</td> <td>3講座</td> <td>3講座</td> <td>5講座</td> <td>5講座</td> </tr> </tbody> </table> |               | H19 | H20             | H21                        | H22 | H23 | 受講料収入 | 835千円 | 693千円 | 1,257千円 | 1,010千円 | 1,082千円 | 開設講座数 | 3講座 | 3講座 | 3講座 | 5講座 | 5講座 |  | B |
|       | H19   | H20      | H21  | H22     | H23   |               |     |                 |                            |     |     |       |       |       |         |         |         |       |     |     |     |     |     |  |   |
| 受講料収入 | 835千円   | 693千円    | 1,257千円  | 1,010千円 | 1,082千円   |               |     |                 |                            |     |     |       |       |       |         |         |         |       |     |     |     |     |     |  |   |
| 開設講座数 | 3講座   | 3講座      | 3講座  | 5講座     | 5講座   |               |     |                 |                            |     |     |       |       |       |         |         |         |       |     |     |     |     |     |  |   |



# 福岡女子大学(財務)

| 中期計画   |   | 平成23年度計画   | ウェイト    |          | 計画の実施状況  | 自己評価          |    | データ番号                          | 通し番号                       |    |     |     |     |     |
|--|---|--|---------|----------|--|---------------|----|--------------------------------|----------------------------|----|-----|-----|-----|-----|
| 項目   | 実施事項  |  | 中期      | 年度       |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |                                | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 | 年度  |     |     |     |
|  | 3【外部研究資金の獲得】<br>多様な専門分野の研究者が連携することにより積極的に外部研究資金の確保に努める。<br><br>○達成目標<br>・外部研究資金収入<br>:年間3,000万円以上   | 3-1【平成23年度計画】<br>○23年4月から設置する地域連携センター内の産学官地域連携部門において、外部資金獲得に関する支援を行う。<br>・ホームページ、電子メールを利用して、種々の外部研究資金を学内に案内する。<br>・科研費獲得支援のため、科研費説明会を開催する。<br>・知的財産に関するセミナーを開催して特許に関する意識を向上させ、これに関連した研究を推進する。<br>○数値目標<br>・外部研究資金等収入8000万円以上 | 1       | 1        | 【平成23年度の実施状況】<br>○地域連携センター内の産学官地域連携部門において、以下の取り組みを実施した。<br>・ホームページで52件の外部の研究公募情報を報知し、電子メールで教員に情報を提供した。<br>・科研費説明会を9月28日、29日に実施(参加者45名)した結果、33件の科研費申請があった。<br>・2月28日に学内教員向けに知的財産権セミナーを開催した。(参加者54名)<br><br>○目標実績<br>外部研究資金等収入 98,896,528円(科研費件数25件、受託研究5件、共同研究5件、奨学寄附金9件、研究助成1件、グローバルCOE1件、他4件) 計50件  | A             |    | No.20「研究(研究推進の状況、外部研究資金獲得の状況)」 | 45                         |    |     |     |     |     |
|  |   |  |         |          | 【中期目標期間の実施状況】<br>①「地域連携センター(旧産学官地域連携センター)」が中心となって科研費説明会の開催やホームページ・電子メール利用による外部資金情報提供、産学官技術交流会の開催等を実施し、外部資金獲得を支援した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部研究資金等収入額</td> <td>4,213万円</td> <td>6,972万円</td> <td>9,875万円</td> <td>10,234万円</td> <td>8,483万円</td> <td>9,889万円</td> </tr> </tbody> </table>  |               |    |                                |                            |    | H18 | H19 | H20 | H21 |
|  | H18   | H19  | H20     | H21      | H22  | H23           |    |                                |                            |    |     |     |     |     |
| 外部研究資金等収入額   | 4,213万円   | 6,972万円  | 9,875万円 | 10,234万円 | 8,483万円  | 9,889万円       |    |                                |                            |    |     |     |     |     |
| 2 経費の抑制<br>事務処理の効率化や学内施設の効率的利用を推進することで管理的経費の節減を図る。 | 1【人件費の抑制】<br>大学設置基準を踏まえ、人員配置を見直す。<br>業務内容や手順を洗い直し、適切に人員を配置する。<br><br>○達成目標<br>・人件費削減率<br>:法人化前の5%以上 | 1-1【平成23年度計画】<br>○退職教員の補充など、その必要性について個別事案ごとに検討する。必要に応じ、特任教授制度の適用や非常勤講師制度の活用を行う。<br>○業務執行体制の確立及び経費抑制の観点から職員のプロパー化を推進することとしており、H23年度からプロパー職員採用試験を実施する。<br>○数値目標<br>・人件費削減率5%(対17年度)※退職手当及び大学改革に係る分を除く                          | 1       | 1        | 【平成23年度の実施状況】<br>○新学部開設に伴う教員採用に際し、特任教授制度(特任教授2名)や非常勤講師制度(非常勤講師34名)を活用した。<br>○プロパー職員採用試験を10月23日に実施し、平成24年4月から2名採用した。<br>○人事委員会勧告に準拠した給与改定を実施した。<br>・新給料表の実施<br>・4～12月分の公民の給与格差相当分の期末勤労手当からの調整<br><br>○目標実績<br>・人件費削減率 5.3%(対17年度)※退職手当及び大学改革に係る分を除く。  | B             |    | No.31「経費削減」                    | 46                         |    |     |     |     |     |
|  |   |  |         |          | 【中期目標期間の実施状況】<br>①期間中の教員の退職者の補充について、非常勤教員や特任教授の導入を検討、実行し人件費を削減した。<br>②事務職員については、プロパー職員の採用検討や嘱託職員の採用による事務局業務執行体制の整備を行った。<br>③人事委員会勧告に準拠した給与改定の実施により、人件費を削減した。<br><br>○目標実績<br><table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費削減率(対17年度)</td> <td>4.0%</td> <td>5.4%</td> <td>6.5%</td> <td>9.0%</td> <td>4.4%</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table> ※退職手当及び大学改革に係る分を除く |               |    |                                |                            |    | H18 | H19 | H20 | H21 |
|  | H18   | H19  | H20     | H21      | H22  | H23           |    |                                |                            |    |     |     |     |     |
| 人件費削減率(対17年度)                                      | 4.0%  | 5.4%   | 6.5%    | 9.0%     | 4.4%   | 5.3%          |    |                                |                            |    |     |     |     |     |
|  |   |  | 1       | 1        | 21年度まで、大学改革を見据えながら、退職教員の後任人事につき、その必要性を十分に検討し、一部については非常勤講師対応、非常勤職員対応(助手の場合)、特任教授制度の活用などで人件費の抑制を図った。<br>また、21年度、22年度の県の人事委員会勧告に準拠して、期末勤労手当の削減、住居手当の削減、新給料表の適用等を行った。<br>これらにより、人件費削減率は全ての年度において数値目標を達成し、中期計画における達成目標についても、23年度までに達成することができた。<br>以上により、中期計画を上回って実施している。  | A             |    |                                | 中期<br>39                   |    |     |     |     |     |

# 福岡女子大学(財務)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画 | ウエイト  |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |   |                            | 通し番号      |    |
|------|--|----------|---|----|--|---------------|---|----------------------------|-----------|----|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期  | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | データ<br>番号 | 中期 |
| 2    | 【管理運営業務の効率化(事務処理の効率化と光熱水費の節減)】<br>事務処理の効率化や省エネによる光熱水費の節減によって、経費の削減を図る。<br><br>○達成目標<br>・省エネルギー<br>:基本契約電力の目標値設定、節電型機器の導入等による毎年度の節電目標設定<br>・リサイクル推進<br>:紙回収率の向上による廃棄物量の削減等、毎年度のリサイクル目標設定<br>・印刷資料削減率<br>:平成23年度までに印刷配布資料の20%削減<br>・通信費削減率<br>:郵送料、電話代等の通信費を平成23年度までに10%削減<br>・光熱水費削減率<br>:平成23年度までに、平成16年度実績の5%削減 | 2-1      | 【平成23年度計画】<br>○印刷配付資料削減<br>・新学部開設に伴う教員数・学生数の増加や新規事業の実施、新体制の組織固め等に関連して印刷資料が増加することが見込まれるが、電子メール等電子媒体の活用等により印刷経費の節減に努める。<br>○数値目標<br>・印刷配付資料(コピー枚数) 22年度と同程度(コピー代 22年度と同程度)  | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○23年度新学部開設に伴い、教職員及び学生が増になったことなどによりコピー枚数、コピー代が対前年を上回ったが、紙媒体に代わりメールの活用を促進する等、印刷物の経費節減努力を行った。<br><br>○目標実績<br>・印刷配付資料(コピー枚数) 124%(対22年度)、(189%(対17年度))<br>・コピー代 120.9%(対22年度)、(97.5%(対17年度)) | B             | 印刷配布資料の削減は目標を達成できていないが、これは新学部開設に伴う資料作成等が多量に発生したものである。コピー代については17年度と比較しても減少しており、年度計画を概ね実施している。   | No.31「経費削減」                |           | 47 |
|      |  | 2-2      | 【平成23年度計画】<br>○通信運搬費の節減<br>・新学部開設に伴う教員数の増加や海外大学等との連絡経費の増加が見込まれるが、宅急便の活用等により通信運搬費の節減に努める。<br>○数値目標<br>・通信費 10%減(対17年度)   | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○新学部開設に伴う教職員、学生数の増及びそれに伴う業務が増加したことにより通信運搬費が対前年を上回ったが、宅配便の活用等により節減を図り、対17年度では目標を達成した。<br><br>○目標実績<br>通信費 21.1%減(対17年度)、(103.1%(対22年度))  | B             | 通信運搬費は前年と比較し増となっているが、これは学部開設準備に伴う教員増によるものや、認可申請関係の書類等の送付、教員採用予定者等との文書のやり取り(海外を含む)に伴うもので、特殊な事情によるものである。対17年度では目標を上回って削減できており、年度計画を十分に実施している。 | No.31「経費削減」                |           | 48 |
|      |  | 2-3      | 【平成23年度計画】<br>○電力使用料の節減<br>・教員数・学生数の増加に伴う教員室・研究室等校舎の稼働率の向上や仮設校舎・新学生寮の建設により、電力使用料の大幅増加が見込まれるが、未使用教室・研究室等の電気器具のスイッチオフの徹底、エアコンの設定温度の徹底等により電力使用料の節減に努める。<br>○数値目標<br>・基本契約電力目標 650KW<br>・光熱水費 15%増以内(対17年度(38,026千円)) | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○23年度新学部開設に伴い教職員及び学生が増になったが、学内における節減意識の徹底により目標を達成している。<br><br>○目標実績<br>基本契約電力 578KW<br>光熱水費 3.1%減(対17年度)、(94.8%(対22年度))   | B             | 学部開設に伴う施設の増や夏季の記録的猛暑等にもかかわらず、省エネ意識の啓発等により契約電力量の維持、光熱水費の削減ができており、年度計画を十分に実施している。   | No.31「経費削減」                |           | 49 |
|      |  | 2-4      | 【平成23年度計画】<br>○ごみ削減・リサイクル率向上<br>・粗大ゴミのリサイクルの促進<br>○数値目標<br>・リサイクル率20%以上   | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○学内においてリサイクルや廃棄物処理の説明会を開催するなどの意識向上図り、リサイクル率の向上に努めた。<br><br>○目標実績<br>リサイクル率 18.3%  | B             | 学内においてリサイクルを促進するため指導等を行っており、目標も概ね達成している。年度計画を概ね実施している。  |                            |           | 50 |

# 福岡女子大学(財務)

| 中期計画                 |         | 平成23年度計画 | ウェイト    |         | 計画の実施状況  | 自己評価          |     | データ<br>番号 | 通し番号                       |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
|----------------------|---------|----------|---------|---------|--|---------------|-----|-----------|----------------------------|-----|-----|-----|----------------------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|--|----|--|
| 項目                   | 実施事項    |          | 中期      | 年度      |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |           | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期  | 年度  |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
|                      |         | 1        | 1       | 1       | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①印刷配付資料削減については、紙媒体ではなく、メールの活用を推進した。</p> <p>②通信運搬費の削減については、事務処理の見直し、効率化や宅配便、メール便の活用等を推進した。</p> <p>③電力使用料の削減については、学内への啓発文書や契約電力の変更、オープンキャンパス時の自家発電装置の活用などを推進した。</p> <p>④ごみ削減・リサイクル率の向上については、資源ごみの分別収集の周知徹底や廃棄物処理に関する講習会を実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>印刷配付資料(コピー枚数)(対17年度)</td> <td>11.5%増</td> <td>9.1%減</td> <td>6.3%減</td> <td>5.9%増</td> <td>52.2%増</td> <td>89.0%増</td> </tr> <tr> <td>(コピー代)</td> <td>2,873千円</td> <td>2,541千円</td> <td>1,615千円</td> <td>1,529千円</td> <td>2,311千円</td> <td>2,794千円</td> </tr> <tr> <td>通信費(対17年度)</td> <td>25.9%減</td> <td>29.3%減</td> <td>31.9%減</td> <td>35.8%減</td> <td>23.5%減</td> <td>21.1%減</td> </tr> <tr> <td>光熱水費(対17年度)</td> <td>5.8%減</td> <td>2.8%減</td> <td>1.2%増</td> <td>5.4%減</td> <td>2.2%増</td> <td>3.1%減</td> </tr> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>24.9%</td> <td>18.7%</td> <td>18.9%</td> <td>18.2%</td> <td>17.9%</td> <td>18.3%</td> </tr> </tbody> </table> |               | H18 | H19       | H20                        | H21 | H22 | H23 | 印刷配付資料(コピー枚数)(対17年度) | 11.5%増 | 9.1%減 | 6.3%減 | 5.9%増 | 52.2%増 | 89.0%増 | (コピー代) | 2,873千円 | 2,541千円 | 1,615千円 | 1,529千円 | 2,311千円 | 2,794千円 | 通信費(対17年度) | 25.9%減 | 29.3%減 | 31.9%減 | 35.8%減 | 23.5%減 | 21.1%減 | 光熱水費(対17年度) | 5.8%減 | 2.8%減 | 1.2%増 | 5.4%減 | 2.2%増 | 3.1%減 | リサイクル率 | 24.9% | 18.7% | 18.9% | 18.2% | 17.9% | 18.3% | B | 21年度までについては、新学部開設における大学改革の最中でありながら、経費節減に取り組み、通信運搬費、光熱水費について中期計画を上回って達成している。22年度、23年度については新学部開設に伴う経費が増となっているが、中期計画を上回って達成している。以上により、中期計画を十分に実施している。 | 40 |  |
|                      | H18     | H19      | H20     | H21     | H22  | H23           |     |           |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
| 印刷配付資料(コピー枚数)(対17年度) | 11.5%増  | 9.1%減    | 6.3%減   | 5.9%増   | 52.2%増   | 89.0%増        |     |           |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
| (コピー代)               | 2,873千円 | 2,541千円  | 1,615千円 | 1,529千円 | 2,311千円  | 2,794千円       |     |           |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
| 通信費(対17年度)           | 25.9%減  | 29.3%減   | 31.9%減  | 35.8%減  | 23.5%減   | 21.1%減        |     |           |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
| 光熱水費(対17年度)          | 5.8%減   | 2.8%減    | 1.2%増   | 5.4%減   | 2.2%増  | 3.1%減         |     |           |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
| リサイクル率               | 24.9%   | 18.7%    | 18.9%   | 18.2%   | 17.9%  | 18.3%         |     |           |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |
|                      | ウェイト総計  | 5        | 8       | 5       | 8  | 項目数計          | 5   | 8         |                            |     |     |     |                      |        |       |       |       |        |        |        |         |         |         |         |         |         |            |        |        |        |        |        |        |             |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |       |   |  |    |  |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

該当なし

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <p>中期目標<br/>6. 評価</p> | <p>「評価を厳正に実施し、大学運営に反映する。」</p> <p>教育・研究その他大学運営全般についての自己点検・評価を厳正に実施するとともに、その評価結果を速やかに公表する。<br/>計画・実行・評価・改善の仕組みを確立し、教員の個人業績評価、県評価委員会の評価及び認証評価機関の評価を、大学運営の改善に速やかに反映させる。</p> |
|-----------------------|---|

| 中期計画  |  | 平成23年度計画  | ウエイト |    | 計画の実施状況  | 自己評価  |   | データ番号          | 通し番号                       |    |
|---|--|---|------|----|--|---|---|----------------|----------------------------|----|
| 項目  | 実施事項   |   | 中期   | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更   | 年度  |                | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 |
| <p>1 評価の充実</p> <p>全学的な自己点検・評価及び外部評価のシステムを整備し、その改善によって評価の充実を図り、評価の結果を教育・研究や大学運営の改善に反映させる。また、教員の個人業績評価の評価結果を給与に反映させ、大学運営の改善につなげる。</p> | <p>1 【自己点検・評価の実施と評価委員会等の評価結果の大学運営への反映】</p> <p>教育・研究及び大学運営の改善のために自己点検・評価を行い、その評価結果を公開し、社会への説明責任を果たす。</p> <p>県評価委員会や認証評価機関の評価結果に従って、自己点検・評価システムの改善や、教育・研究及び大学運営の改善を図る。</p>   | <p>1-1 【平成23年度計画】</p> <p>○22年度実績について自己点検・評価を行い、結果を公表する。</p> <p>○自己点検・評価結果及び県評価委員会、大学評価・学位授与機構の評価結果に基づき、必要に応じて大学運営の改善を図るとともに、次期中期計画に反映させる。</p> <p>○法人・大学運営のPDCAサイクルを確立するため、自己点検・評価委員会の機能を強化する。</p> | 1    | 1  | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○新学部設置に合わせて、これまで事務局主導で実施してきた自己点検・評価を実効性のあるものにするともに評価結果を業務改善に活かす仕組みを構築するため、自己点検・評価委員会の規則改正により、進捗確認の機会を年4回に増やすなどその機能強化を図った。</p> <p>○22年度実績について、自己点検・評価を行い、県評価委員会に提出するとともに、結果を公表した。</p> <p>○自己点検・評価結果及び県評価委員会、大学評価・学位授与機構の評価結果を踏まえ、23年度事業において大学運営の改善を図るとともに、次期中期計画に反映させた。</p> | B   | 22年度実績について自己点検・評価を実施し、県評価委員会、大学評価・学位授与機構の評価結果も踏まえ、23年度事業における大学運営の改善を図るとともに、次期中期計画に反映させた。また、新学部設置に合わせて、自己点検・評価委員会の機能を強化するよう規則を改正した。これにより、年度計画を十分に実施している。 | No.32「評価結果の活用」 | 51                         | 51 |
|   | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成19年度から、前年度業務実績について自己点検・評価を実施するとともに、実績報告書を大学ホームページに掲載した。</p> <p>②平成19年度から、前年度業務実績に係る自己点検・評価結果及び県評価委員会の評価結果を踏まえ、次年度計画や次期中期計画の取組上の留意点等について、各担当者に指示し、大学運営の改善を図った。</p> <p>③平成22年度に受審する認証評価に向けて、平成20年度から、学内の認証評価部会を中心に自己点検及び評価作業を実施した。</p> <p>④平成22年度に、本学の自己評価書案を作成し、関連資料とともに大学評価・学位授与機構に提出した。</p> <p>⑤書面調査、訪問調査を経て、平成23年3月に、「大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を得た。</p> <p>⑥平成23年度以降、通知された評価結果を基に特に改善を要する点については、その改善策を検討し、一部を実施した(事務局の就職支援部門のスタッフの増員など)。</p> <p>⑦新学部設置に合わせて評価結果を業務改善に活かす仕組みを構築するため、平成23年度に、自己点検・評価委員会の機能を強化するよう規則を改正した。</p> | 1   | 1    | 1  | B  | 各年度の業務実績について自己点検・評価するとともに県評価委員会の評価結果を参考に大学運営の改善を図っている。また、認証評価については、22年度に評価を受け、「大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている。」との評価を得た。さらに、新学部設置に合わせて、自己点検・評価委員会の機能を強化するよう規則を改正した。以上により、中期計画を十分に実施している。 | 中期<br>41  | 41             | 41                         | 41 |

# 福岡女子大学(評価)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画   | ウェイト    |           | 計画の実施状況   | 自己評価          |  | データ番号   | 通し番号                       |    |   |          |
|------|--|--|---------|-----------|---|---------------|--|---------|----------------------------|----|---|----------|
| 項目   | 実施事項   |  | 中期      | 年度        |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |         | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 | 年度  |          |
|      | 2【教員の個人業績評価システムの導入と評価結果の給与への反映】<br>教員の個人業績評価システムを導入し、評価結果を勤勉手当等に反映させることにより、その努力に報い、教員の職務遂行力を活性化する。 | 2-1 【平成23年度計画】<br>○23年4月の新学部設置に伴い、新任教員にも対応した評価基準となるよう見直しを行う。 | 1       | 1         | 【平成23年度の実施状況】<br>○23年9月教員個人業績評価委員会にて、教員個人業績評価基準を改訂する方針を決定。この方針に基づき評価基準、及び評価基準票の見直しについて同委員会にて審議し、新任教員にも対応した評価基準及び評価基準票を策定した。   | B             | 新学部設置に伴う新任教員に対応した評価基準を策定しており、年度計画を十分に実施している。 |         | 52                         |    |   |          |
|      |  | 2-2 【平成23年度計画】<br>○評価結果を基に個人業績評価の評価基準を見直す。                   |         |           | 【平成23年度の実施状況】<br>○23年度の評価結果を基に、教員個人業績評価委員会にて、教員個人業績評価基準を改訂する方針を決定し、改訂指針をまとめた。この方針に基づき評価基準の見直しについて同委員会にて審議し、評価基準、及び評価基準票を改訂した。   |               |  |         |                            | B  | 評価基準の見直しを行っており、年度計画を十分に実施している。  | 53       |
|      |  |  |         |           | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度に、個人業績評価委員会を設置し、個人業績評価の試行及び評価基準の見直しを行った。<br>②平成19年度から、前年度の活動実績について個人業績評価を行い、その結果を基に12月の勤勉手当、業績年俸に反映させた。また、より適正な評価結果が得られるよう、適宜評価基準及び評価基準票の見直しを行った。 |               |  |         |                            | B  | 毎年度個人業績評価を行い、その評価結果を給与に反映させている。(※試行実施した18年度は除く)<br>また、実績を基に評価基準も毎回見直している。<br>以上のことから中期計画を十分に実施している。 | 中期<br>42 |
|      |  | ウェイト総計   | 中期<br>2 | 23年度<br>3 |   |               | 項目数計   | 中期<br>2 | 23年度<br>3                  |    |   |          |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

該当なし



# 福岡女子大学(情報公開)

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|                 |  |
|-----------------|--|
| 中期目標<br>7. 情報公開 | 「情報公開を積極的に推進する。」<br>入学希望者、学生、県民、企業などに対し、次のような情報を積極的に提供する。<br>・大学や教員の評価に関する情報<br>・組織、教職員、施設設備、入学試験などに関する情報<br>・カリキュラム、シラバス、教員の研究成果や地域貢献活動などに関する情報<br>・学生の就職支援や卒業生の進路状況に関する情報<br>・公開講座、大学施設の開放などに関する情報<br>・予算や決算など財務に関する情報 |
|-----------------|--|

| 項目  | 実施事項   | 平成23年度計画  | ウェイト |    | 計画の実施状況  | 自己評価          |    | データ番号 | 通し番号          |    |
|---|--|---|------|----|--|---------------|----|-------|---------------|----|
|   |  |   | 中期   | 年度 |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |       | 中期<br>↓<br>年度 | 年度 |
| 1 情報公開等の推進<br>大学の教育・研究の内容、中期目標・中期計画等を、ホームページや学内外広報誌など、多様な広報メディアを活用して公開する。一方、情報の健全な活用を図るために、個人情報の漏洩防止など必要な情報管理を図る。 | 1【大学情報の公開の推進】<br>情報センターを設置し、大学の教育研究内容や特色に関する情報を始めとして、シラバス、研究成果、入試情報、各センター情報、就職、組織運営情報、事業計画、中期計画・中期目標などの各種情報を多様な形で広く公表する。 | 1-1【平成23年度計画】<br>○種々の広報活動<br>・大学広報誌を企画・作成して大学ホームページに掲載し、広く学外に公開するとともに、教育情報の公表の義務化にも適切に対応する。<br>・大学ホームページ、携帯ホームページをタイムリーに更新する。<br>・マスコミへの情報提供による、新聞等の掲載等を通じた広報活動の推進。<br>・本学に関する入試情報、教育内容等を広く周知するため、オープンキャンパス・学校見学会、高校訪問、進学情報誌・進学情報サイト掲載等を実施する。 | 1    | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○23年は以下の広報活動を実施した。<br>(大学広報誌の企画・作成)<br>・「大学広報」に関しては9月と3月の2回発行した。(大学HPにも掲載)(ホームページの改訂)<br>・「教育情報の公開」に関しては、情報を適切に整理し、大学HPのTOPページより確認できるように配慮した。(学内イベントの開催)<br>・学内イベント(オープンキャンパス・学校見学会・入試相談会の5回)を通じて、大学の情報をリアルタイムに伝えた。(渉外活動による広報)<br>・高校訪問等も計画通り九州、中四国地区にて実施した。(訪問数は年間計画を達成)(進学メディアによる広報)<br>・進学メディアに関しては、進学情報誌・サイト共に、有料・無料含めて多くの企画に参加した。また、高校生向け対象者指定のDMも時期を決めて4回実施し、広報活動を強化した。(主要駅等広報)<br>・地下鉄の主要駅3駅(博多・天神)の電照看板を設置した。<br>・JRの九州地区主要駅(博多・小倉・大分・長崎・熊本・鹿児島)に電照広告(クリスタルポスター)を設置した。<br>・横断幕(西鉄バス:女子大前バス停前)の内容を時期により変更し、イベント情報・入試情報など学内情報の提供を実施した。(一般広報(福岡県中心))<br>・7月に朝日新聞に「九州の大学力」というテーマで1ページ掲載した。<br>・6月に日経新聞の「オープンキャンパス特集」に掲載した。<br>・経済紙「ふくおか経済」への広告を出稿した(2月:大学特集)。   | A             |    |       | 54            |    |
|   |  |   |      |    | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成18年度に、情報センターの設置に関する必要諸規程や今後の業務について設立準備部会において検討、作成し、また6月にホームページを大幅リニューアルし、大学広報誌を掲載する等内容の充実を図った。また各教員の研究に関する情報をまとめたデータベースを作成し、ホームページに掲載した。<br>②平成19年度4月に、「情報センター」を設置した。センター運営部会が中心となって、当センターを運営し、広報活動や情報のデータベース化を推進した。また、センター担当の嘱託職員を1名採用し、センターの円滑な運営を図るとともに、従来、教員が業務の合間に行っていたホームページの更新業務等を嘱託職員が行うようになったため、掲載依頼に迅速に対応できるようになった。<br>③平成20年度に、大学紹介の英文パンフレットを作成した。また、「国際交流センター」の英文パンフレットを作成して大学ホームページに掲載し、留学等への取組について対外的な周知を行った。文書管理システムを委託開発し、理事会、学内審議機関等の議事録や学内システムに係るマニュアル等の大学資料のデータベース化を行った。<br>④平成21年6月に、広報の専門家を嘱託職員として採用し、9月に「企画広報室」を立ち上げ、戦略的な広報活動を展開した結果、大学広報の充実や、高校渉外・進学相談会への参加等、当初計画を大幅に上回る結果を残した。<br>⑤平成22年度に、大学広報紙の企画・作成や地下鉄・JR主要駅での広報、福岡県内における一般広報活動を行った。<br>⑥平成23年度に、平成22年度の広報活動に加えオープンキャンパスなどの学内イベントの内容充実を図り、学外イベント(進学相談会)に関しては、九州・中四国地区を中心に東京、名古屋、大阪にも参加した。また高校訪問についても福岡を中心に九州・中四国地区への訪問を実施した。 |               |    |       |               | A+ |

# 福岡女子大学(情報公開)

| 中期計画 |   | 平成23年度計画  | ウェイト    |           | 計画の実施状況  | 自己評価          |      | データ番号 | 通し番号                       |           |
|------|---|---|---------|-----------|--|---------------|------|-------|----------------------------|-----------|
| 項目   | 実施事項  |   | 中期      | 年度        |  | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期        |
|      | 2【個人情報の保護】<br>個人情報・調査結果・入試データなどの情報漏えいを防止するため、適正な管理体制をつくる。 | 2-1【平成23年度計画】<br>○個人情報保護に関する講習会を実施し、個人情報の適正な取扱い等について、教職員の意識啓発を図る。 |         | 1         | 【平成23年度の実施状況】<br>○外部講師による個人情報保護に関する講習会を全教職員を対象に予定していたが、講師の日程調整がつかず実施に至らなかった。<br>代替手段として、県の県民情報広報課が作成した研修資料や個人情報保護条例を全教職員に配布し、周知徹底を図った。   |               | C    |       |                            | 55        |
|      |   |   |         | 1         | 【中期目標期間の実施状況】<br>①全教職員を対象とした個人情報保護に関する講習会の開催や県の県民情報広報課が作成した研修資料の配布により、個人情報保護に関する意識の啓発を図った。<br>②平成18年度に、県の個人情報保護条例に沿って法人の個人情報保護に関する規程を制定するとともに、その制度概要や注意点をまとめた資料を作成した。また、学内システムの機能向上に伴い、規定等の点検を行い、必要に応じて改訂を行った。<br>③平成22年度に、大学におけるセキュリティ対策を体系的・具体的にまとめた「情報セキュリティポリシー」を策定した。 |               | B    |       | 中期<br>44                   |           |
|      |   | ウェイト総計  | 中期<br>2 | 23年度<br>2 |  |               | 項目数計 |       | 中期<br>2                    | 23年度<br>2 |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

該当なし

# 福岡女子大学(大学改革の推進)

## 項目別の状況(年度計画項目・中期計画項目)

|                    |  |
|--------------------|--|
| 中期目標<br>8. 大学改革の推進 | 「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、平成二十三年度を用途に、学部学科の再編及び新たな教育システムの構築をはじめとする抜本改革に取り組む。」 |
|--------------------|--|

| 中期計画   |   | 平成23年度計画 | ウエイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | データ番号 | 通し番号                       |          |
|--|---|----------|------|----|---|---------------|---|-------|----------------------------|----------|
| 項目   | 実施事項  |          | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期       |
| 1 大学改革の推進<br>「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、次の事項を改革の柱として、平成23年度の新学期開設に向け、全学を挙げて改革推進に取り組む。<br>・グローバル化時代に対応した学部学科の再編<br>・自らの関心に応じて学習できる弾力的な教育システムの導入<br>・これからの社会に求められる普遍的な能力を培う「国際共生プログラム」を実施<br>・外国語によるコミュニケーション能力の育成<br>・学外の教育リソースを活用した体験型の学習環境の創出<br>・教育の場としての学生寮<br>・社会貢献機能の充実 | 1【学部学科の再編】<br>グローバル化時代の課題に幅広く対応できるよう、現在の2学部5学科を1学部3つのコース(「国際」「環境」「食・健康」の3つの課題に応じたコース)に再編する。 | 1-1      | 1    | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○国際共生プログラムとして、以下の教育を実施した。<br>・学術英語プログラム、学術日本語プログラム、外国語科目、情報活用科目、日本文化理解科目、語学研修科目、体験学習科目、共通基盤科目、学生寮における異文化交流・コミュニケーション<br>○教員の中から、アカデミック・アドバイザーを任命し、学生の主体的学習を支援した。<br>・アカデミック・アドバイザー:学生が主体的、体系的に履修できるよう、入学時から卒業するまで助言・指導を行う<br>教員<br>○5月12日付で、文科省に「設置計画履行状況報告書」を提出した。当該計画に基づき、追加・変更が必要な教員について、6月・8月・12月に合計7名の「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、文部科学省の教員審査の結果、申請科目全てに対し「可」の判定を受けた。 | B             |   |       | 56                         |          |
|  |   |          |      |    | 1   | 1             | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成21年度に、県と連携して学内の総合企画調整分科会において検討を重ね、また文部科学省との事務相談の結果も踏まえ、これまでの2学部5学科から、1学部3学科への再編案を作成した。<br>②平成22年度に、新学部の設置認可について5月に「福岡女子大学国際文理学部設置認可申請書」を提出した。また申請内容について大学設置・学校法人審議会(文部科学省)の審査意見に対応する形で認可申請書の補強・修正等を行い、9月に「福岡女子大学国際文理学部設置認可に係る補正申請書」を、さらに文部科学省の答申「継続審査(保留)」を受けて、11月に「福岡女子大学国際文理学部設置認可に係る再補正申請書」を提出した。12月に文部科学省の設置認可を得た。<br>③平成23年度に、国際文理学部の国際共生プログラムとして、学術英語プログラム、体験学習科目等の教育を実施した。 | B     |                            | 中期<br>45 |

# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画 |   | 平成23年度計画 | ウェイト   |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | データ番号 | 通し番号                       |    |
|------|---|----------|--|----|---|---------------|---|-------|----------------------------|----|
| 項目   | 実施事項  |          | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期 |
| 2    | 【新たな教育システムの構築】<br>グローバル化する社会で自らにふさわしい生き方を実現するために必要な能力と専門性を身に付けることができるよう、主体的な学びと幅広い学びを重視した実践的な教育システムを構築する。 | 2-1      | 【平成23年度計画】<br>○グローバル化する現代社会で世界の様々な国や地域の人々と共生していくために必要な基盤的・実践的な力を養う教育(国際共生プログラム)等の全学共通教育課程(人文・社会・自然科学等に関する基本的な知識を習得し、広くかつ深く学べるカリキュラム)を実施する。<br>○各分野における高度な専門性を修得するための専門教育課程を実施する。<br>○学生参加型少人数教育、体験型学習(フィールドスタディ等)を充実する。<br>○外国語コミュニケーション能力育成のため、能力別クラス編成による学術英語プログラム(AEP)を開設する。              | 2  | 【平成23年度の実施状況】<br>○人文・社会・自然科学等の学問世界に学生をいざなう「共通基盤科目」を含めて、いずれの項目についても順調に実施した。<br>特に「学生参加型少人数教育」については、全学部必修の「ファーストイヤー・ゼミ」を中心に適切に実施され、本年度担当教員による毎月のFD会合で密度の高い意見交換を行い、成績評価基準の統一や主体的学習の意欲を盛り立てる教育手法の検討等、授業改善に努めるとともに、24年度前期の「ファーストイヤー・ゼミⅠ」で使用するための学部共通資料『学問キャリアの作り方 2012年度 ファーストイヤー・ゼミⅠ ハンドブック』の原案をまとめた。<br>○体験学習(「フィールドスタディ」等全7プログラム)では、地域・企業・海外等での現場体験と事前、発展学習を組み込んだ通年の活動に、新学部1年生27人、既存2学部の上級生8人が参加。各種報告会開催や詳細な報告書の作成、学内外での様々なイベントの実施、研究会での発表等、成果発信にも積極的に取り組んだ。一連の活動は、大学教育におけるユニークな人材育成手法という観点から、新聞、テレビ、ラジオ等各種メディアに合計20回以上取り上げられた。<br>○AEPでは7月末と2月初めに、履修生全員にTOEFL試験を課し、能力別クラス編成の判断資料に活用した。震災等により年度当初に生じた専任2人の欠員分を1年かけて充足し、読み書き討論の学問基礎力を英語で育成するための、独自の教育手法の開発にも着手した。<br><br>TOEFL試験結果(500点以上)    1回目(7/30)    2回目(2/8)<br>国際教養                            6人                            11人<br>環境                                    1人                            1人<br>食・健康                              1人                              3人 | A             | 学生参加型少人数教育としては、全学部必修の「ファーストイヤー・ゼミ」を中心に実施しており、また毎月のFD会合において担当教員同士の意見交換を行うことで、授業改善に努めた。体験型学習として、地域・企業・海外等での現場体験や事前、発展学習を実施し、さらに各種報告会開催、報告書の作成、学内外でのイベント実施、研究会での発表等、成果発信にも積極的に取り組んだ。<br>また外国語コミュニケーション能力を育成するため、「学術英語プログラム(AEP)」において、独自の教育手法の開発に着手した。以上により、年度計画を上回って実施している。                    |       | 57                         |    |
|      |   | 2-2      | 【平成23年度計画】<br>○学生のニーズに応じた教育プログラムを幅広く提供するため、国内の大学・企業等との連携を強化する。<br>・自治体や企業等との連携による事業の実施<br>福津市との包括連携協定による各プログラム<br>JAとの連携による朝倉市での農業体験プログラム等<br>・九州大学、西南学院大学との3大学によるコンソーシアム「EUインスティテュート」の設置に伴い、23年度から、3大学連携単位互換プログラム「EUSターディーズ・コース」をスタートさせる。<br>・アジア立命館太平洋大学(APU)との協定に基づく連携事業の検討<br>・新たな連携先の開拓 | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○23年度は以下のとおり国内の大学・企業等との連携を強化した。<br>・福津市との包括連携協定による各プログラム、JAとの連携による朝倉市での農業体験プログラム等を実施した。<br>・4月に「EUIJ九州(EU Institute in Japan,Kyushu)」が発足、単位互換プログラム(EUディプロマコース)に本学学生68名が登録し、学生定員に対する登録率は8.0%であった。参加している大学の中で、登録率は他の2大学に比して最高であった。(九州大学:20名(登録率0.17%)、西南学院大学:76名(登録率0.96%))<br>・九州大学のプログラムである「ASEAN in Today's World(As TW)」に本学が協力校として連携し、本学学生の同プログラムへの参加に際し、授業料免除の便宜供与を得、これを活用して5名の学生が参加した。<br>・本学と立命館アジア太平洋大学(APU)との間で、連携推進を確認し、協力内容の主項目について検討を行った。<br>・11月に本学の提唱による「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を発足し、アジアの主要大学との学術交流、学生交流を開始した。<br>・教育・研究活動全般における交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的として、九州産業大学・福岡工業大学と東部地域大学連携協定を締結した。<br>・地域の教育及び地域社会の充実・発展に寄与するため、西日本新聞社との連携協定を締結した。<br>・国立病院機構九州医療センターと協定書を交わし、臨床栄養師資格申請の資格取得条件(900時間の臨床研修)が整備された。   | A+            | 福津市、朝倉市での教育プログラムの実施や大学連携単位互換プログラムを達成した。また、ASEAN全域のトップ大学から受講生が参集しASEANについて英語で学ぶ「AsTW」への本学在籍生の参加枠を確保し、学びの場に留まらず、将来アジアで活躍する人材との人脈構築する場を本学学生に提供することができた。更に、「アジア大学コンソーシアム福岡」の発足によるアジア主要大学との連携強化、東部地域大学連携協定の締結や西日本新聞社との連携協定締結、国立病院機構九州医療センターとの協定締結など、大学や企業との新たな連携先を開拓した。以上により、年度計画を大幅に上回って実施している。 |       | 58                         |    |



# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画 |      | 平成23年度計画   | ウェイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |    | データ番号 | 通し番号   |    |          |
|------|------|--|------|----|---|---------------|----|-------|--|----|----------|
| 項目   | 実施事項 |  | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度 |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由   | 中期 | 年度       |
|      |      | 2-3 【平成23年度計画】<br>○履修システム・履修指導制度・体制の実施<br>・学生への教育学習支援のため、学生ごとに任命する教員が履修指導などを行うアカデミック・アドバイザーシステムを導入する。<br>※アカデミック・アドバイザーの任務<br>・学生の主体的学習の支援<br>・プログレス・ファイル(学生が各履修科目についての学習目標、成果、課題等を記入するファイル)、カリキュラム・マトリックス(授業ごとに獲得すべき能力・態度分布を明らかにした表)等を用いた効率的なアドバイジング<br>・入試・広報・キャリア支援室と連携したキャリア支援 |      | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○アカデミック・アドバイザーシステムについては、新学部開設とともに任務を開始した。<br>○カリキュラム・マトリックス、プログレス・ファイルについては、教育・学習・支援センターにおいて、ハード面の整備を9月までに終え、10月からの導入を目指していたが、アカデミック・アドバイザーシステム、カリキュラム・マトリックス、プログレス・ファイルの総合的運用をより円滑にし、より有効なシステムとするため、部会を設置し再検討することとした。<br>部会では、主にアカデミック・アドバイザーによるカリキュラム・マトリックス、プログレス・ファイルの具体的な運用に関する改善と、学生のプログレス・ファイル使用に関する利便性向上を図ることを主眼とした見直し作業を行い、カリキュラム・マトリックスはシラバスと一体化させ、プログレス・ファイルは学生と教員とのコミュニケーションツールとしての役割を与えるなど改善を図ったことで平成24年4月からの正式運用にこぎつけた。  |               | B  |       |  | 59 |          |
|      |      |  |      | 2  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成21年度に、県と連携して、総合企画調整分科会他5つの分科会において、各教育分野のカリキュラムについて検討を重ね、全学共通教育、専門教育、体験学習等の教育課程を編成した。また外国語コミュニケーション能力育成のための教育手法(英語集中プログラム、アドバンスト・イングリッシュ)を提供することとした。さらに、海外留学プログラムや学生のニーズに応じた教育プログラムを提供するため、九州大学や福津市等との連携活動を図った。<br>②平成22年度に、新学部における学士課程教育の4年間を通じた教育の柱として、グローバル社会に対応できる基盤的・実践的な力を養う国際共生プログラムの編成を行った。また魅力ある海外留学プロジェクトとして豪州エコビレッジでの体験学習プログラムを試行的に実施した。さらに福津市と包括的連携協定を締結し、「学生記者インターンシップ」プログラムを実施した。<br>③平成23年度に、学生参加型少人数教育を目指したファーストイヤー・ゼミと学術英語プログラム(AEP)及び体験学習科目を含む、1年生向けの学部共通科目をすべて開講した。各学科の専門科目も一部開講した。また学生のニーズに応じた教育プログラムを幅広く提供するため、自治体や企業と連携し、事業を実施した。さらに「EUIJ九州」や「アジア大学コンソーシアム福岡」を発足し、九州大学、西南学院大学やアジアの主要大学との連携を強化した。 |               | A  |       | グローバル化する社会で自らふさわしい生き方を実現するために必要な能力と専門性を身につけるための新しい教育課程を編成し、23年度の新学部開設にあわせ、これを実施した。「EUIJ九州」の発足により、九州大学及び西南学院大学におけるEU関連科目を受講する道を開くことで、学生の選択肢を大幅に拡充することができた(本校在学生の1割弱が制度に登録)。また魅力ある海外留学プログラムや学生のニーズに応じた教育プログラムを幅広く提供するため、多くの国内外の大学・企業等との連携を検討・実施した。<br>以上により、中期計画を上回って実施している。 |    | 中期<br>46 |

# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画   | ウエイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | 通し番号                       |           |    |
|------|--|--|------|----|---|---------------|---|----------------------------|-----------|----|
| 項目   | 実施事項   |  | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | データ<br>番号 | 中期 |
| 3    | 【海外学習及び海外からの留学生受入のための制度並びに支援体制の構築】<br>・国際舞台で通用する人材を育成するため、海外学習プログラム(交換留学、語学研修、フィールドスタディなど)を整備するなど海外学習制度を構築するとともに、質の高い留学生を受け入れるための教育プログラムを整備する。<br>・奨学金を創設し、海外学習及び海外からの留学生受入の支援体制を構築する。 | 3-1 【平成23年度計画】<br>○新学部において海外語学研修の科目を設定し、交流締結校を中心に本学学生のための海外研修プログラムを実施する。<br>○22年10月に半年間のパイロット事業として開始した短期留学生受入プログラム(WJC)を通年化し、協定校との交流を深化・充実させる。<br>○海外学習プログラムの実施<br>・オーストラリアやスリランカにおいて、環境問題や国際開発協力をテーマとした海外体験学習プログラムを実施する。<br>・国際化推進基金を原資とする奨学金制度(交換留学40万円、研修等5万円)の周知により、提携校への留学を推進する。<br>○数値目標<br>・海外派遣留学参加者数 15人・海外語学研修参加者数 80人<br>・国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計) 60人 | 2    | 2  | 【平成23年度の実施状況】<br>○海外語学研修については、日本学生支援機構による競争的奨学金獲得プログラムに応募し、年間120名の派遣奨学金を獲得した。これを受けて、夏季・春季の休業期間中に101名の学生が、海外語学研修(韓国語(釜山外国語大学校)、中国語(同済大学)、英語(オークランド大学)、フランス語(ルーバン・カトリック大学)、タイ語(マヒドン大学)、米語(カリフォルニア州立大学ノースリッジ校)、ドイツ語(ミュンヘン大学))に参加し、24名の学生が海外体験学習(スリランカ18名)、オーストラリア(6名))に参加した。<br>○短期留学生受入プログラム(WJC)を通年化し、協定校から前期23名、後期26名(※)の短期留学生が参加した。<br>・また、通年化により、当初半年間だったプログラムに加え別のプログラムを新たに実施することができた。(前期:現代文化中心のプログラム、後期:近代・伝統文化を主とするプログラム)<br>・さらに、留学生を在校生の家庭に受け入れる「ホームビジット」の実施により、優秀な留学生が、在校生本人に留まらず、在校生の家族等とも交流することができた。<br>○国際化推進基金による奨学金制度に関しては、12名の交換留学生のうち11名の学生に支援した。(残り1名については、日本学生支援機構から付与された月額8万円の交換留学奨学金枠を活用)<br>海外語学研修・海外体験学習では99名の学生に支援した。<br>※交換留学先: ルンド大学(スウェーデン)、梨花女子大学校(韓国)、ルーバン・カトリック大学(ベルギー)、コペンハーゲン大学(デンマーク)、同済大学(中国)<br><br>○目標実績<br>・海外派遣留学参加者数 16人(内23年度の新規留学参加者12人)<br>・海外語学研修参加者数 101人<br>・国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計) 75人(学部生22人、大学院生4人、短期プログラム生49人(前期23、後期26(※)))。<br>※: うち前期からの継続参加者8人 | A+            | 日本学生支援機構の奨学金プログラムの獲得により、多くの学生が参加したことで、海外語学研修参加者数は数値目標を大きく上回っている。また、短期受入れプログラム(WJC)の通年化により、22年度後期実施のプログラムに加え、新たなプログラムを実施し、日本文化を長期にわたり俯瞰する機会を参加者に提供することが可能となり、プログラム参加校も6校から9校に増加した。更に、「ホームビジット」の実施により、優秀な留学生が、在校生本人に留まらず、在校生の家族等とも交流することにより、国際化・留学に関する理解を広く促進することができた。以上により、年度計画を大幅に上回って実施している。 | No.33「留学の状況」               | 60        | 60 |
|      |  | 3-2 【平成23年度計画】<br>○奨学金(「福岡女子大学国際化推進基金」)を一部活用して、海外で学習する本学学生及び海外からの留学生に対し財政的支援を行う。   | 1    | 1  | 【平成23年度の実施状況】<br>○「福岡女子大学国際化推進基金」を一部活用して、海外で学習する本学学生のための「海外留学・研修奨励金」や、海外からの留学生に対する「私費外国人留学生給付金」の支給を開始した。<br>※平成23年度支援実績<br>海外留学(40万円): 440万円(11人)<br>語学研修・体験学習(5万円) : 595万円(119人)<br>私費外国人留学生: 258万円(月額1万円×22人、うち1人6か月休学) 計1,293万円<br>○国際化推進基金については、東日本大震災や厳しい経済情勢等により、基金の確保が極めて困難な状況となっており、当初方針の見直しが必要となっている。このため、改めて、学生の学習意欲の向上と教育研究の活性化を促進すべく、国際化推進基金の活用を検討する「国際化推進基金部会」を学内に設置し、平成24年度以降の奨学金の給付内容等の見直しを行った。<br>※平成24年度以降の奨学金給付内容<br>(海外留学)<br>・JASSOの補助金受給者 ……月額8万円(10ヶ月)<br>・上記補助金を受給しない者……渡航費として欧米15万円、アジア8万円(目安)<br>(語学研修・体験学習)<br>・参加費として5万円<br>(私費外国人留学生)<br>・23年度入学生に限定して支援(24年度以降入学生は、支援廃止)<br>・25年度から月額5千円   | A             | 「国際化推進基金」を取り巻く状況の変化に対応するため、国際化推進基金の活用を検討する「国際化推進基金部会」を設置し、24年度以降の奨学金の給付内容等の見直しを行い、23年度の海外研修生や海外からの留学生に対する財政的支援を実施し、多くの海外語学研修参加者を得ることができた。以上のことから、年度計画を上回って実施している。   |                            | 61        | 61 |



# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画                    |  | 平成23年度計画 | ウェイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |   | 通し番号                       |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |
|-------------------------|--|----------|------|----|---|---------------|---|----------------------------|--------------------|------------|------|-------------------------|------------------|----|--|----|--|--|
| 項目                      | 実施事項   |          | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度  | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | データ<br>番号          | 中期         | 年度   |                         |                  |    |  |    |  |  |
|                         |  |          | 1    |    | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①福岡女子大学の国際化を推進するために、海外の有力大学との提携を進め、本中期目標期間中に各国トップクラスの大学21校と国際交流協定を締結した。</p> <p>②海外の有力大学の優秀な学生を確保するため、平成22年10月から短期受入れプログラム(WJC)を実施し、延べ74名(実員52名)の留学生を受け入れ、在校生の家族等との交流を目的とした「ホームビジット」等を実施した。</p> <p>③平成22年度に、国際化推進基金を設立し、海外学習の支援体制を構築した。</p> <p>④平成23年度から、海外語学研修科目や体験学習科目を実施した。</p> <p>○目標実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外派遣留学参加者数</td> <td style="text-align: center;">16人(うち23年度新規留学12人)</td> </tr> <tr> <td>海外語学研修参加者数</td> <td style="text-align: center;">101人</td> </tr> <tr> <td>国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計)</td> <td style="text-align: center;">75人(うち前期からの継続8人)</td> </tr> </tbody> </table> | H23           |   | 海外派遣留学参加者数                 | 16人(うち23年度新規留学12人) | 海外語学研修参加者数 | 101人 | 国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計) | 75人(うち前期からの継続8人) | A+ | 海外留学・研修制度については、本中期目標期間中に、当初ゼロだった海外交流協定校を21校とした。協定校は各国トップランクの大学が中心であり、留学希望者に極めて良質な留学環境を確保することができた。また、新学部開設と同時に海外語学・文化研修を大学として催行。101名の参加をみることとなり、全学的に海外留学・研修に向けた気運を醸成することができた。短期受入プログラムの実施については、質の高い留学生の受入を目指して開始した福岡女子大学記念プログラム(WJC)が海外協定校から好評を博し、平成22年度後期の開始から3学期間で延べ74名(実員52名)の留学生を受け入れた。更にこれら優秀な留学生が、在校生本人に留まらず、在校生の家族等とも交流する仕組みを取り入れたことにより、国際化・留学に関する理解を広く促進することができた。また国際化推進基金を設立し、学生の海外学習等の支援体制を構築している。以上により、中期計画を大きく上回って実施している。 | 47 |  |  |
| H23                     |  |          |      |    |   |               |   |                            |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |
| 海外派遣留学参加者数              | 16人(うち23年度新規留学12人)   |          |      |    |   |               |   |                            |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |
| 海外語学研修参加者数              | 101人   |          |      |    |   |               |   |                            |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |
| 国外からの留学生数(学部、短期プログラム合計) | 75人(うち前期からの継続8人)   |          |      |    |   |               |   |                            |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |
| 4                       | 【教育の場としての学生寮の活用(原則1年間の全寮制教育)】<br>異文化理解力、コミュニケーション能力、リーダーシップなどの育成を図るためのプログラムを整備するとともに、学生寮運営の仕組みを構築する。 | 4-1      |      | 1  | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○国際交流・キャリア支援に関する講演会・イベントとして、寮生企画講演会等を18回開催した。</p> <p>・また国際交流に関するイベントとして、イングリッシュデイ(後期より毎週1日)、留学生歓迎会を実施した。</p> <p>・キャリア支援に関するイベントとして、入寮式、退寮式、学科別茶話会(4回)、東京理科大学長万部校見学報告会を開催した。</p> <p>・共同生活支援に関するイベントとして、共用キッチン使用説明会及び講習会(2回)、消防署による避難訓練及び講話を実施した。</p> <p>・また、寮生アンケート(寮生活支援調査)を2回実施した。</p> <p>○円滑な寮運営を図るため、寮運営協議会(寮運営部会委員10名 RA11名、フロアリーダー15名で構成)を4回、寮運営部会(部会とRA又はフロアリーダーとの連絡協議会を含む)を19回開催した。</p>  | B             | 学生を主体とした講演会、イベントの開催や、寮運営部会とフロアリーダー、RA等学生との連携による各種プログラムを着実に実施したことにより、年度計画を十分に実施している。 | 62                         |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |
|                         |  |          | 1    |    | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <p>①平成21年度に、共用施設を利用した日本文化などに関する講演の実施や食に対する意識を高めるための学生・留学生の共同調理施設の設置などを検討し、これらを県へ提案した。</p> <p>②平成22年度に、学生寮における教育プログラムの企画・立案・実施準備を行った。冊子「新1年生のための手作り朝ごはん」を作成、配布したほか、新入生の学校見学会などを実施した。また学生寮運営部会を組織し、学生寮を活用したセミナー・イベントの具体的な検討、学生寮規則の策定、新入生をサポートするRA(レジデント・アシスタント)の任命などを行い、学生受入れの体制の整備を図った。</p> <p>③平成23年度に、国際交流・キャリア支援に関する講演会・イベントを実施した。また円滑な寮運営を図るため、寮運営協議会や寮運営部会を組織、開催した。</p>  | B             | 22年度までに、寮運営の仕組みや教育プログラムを企画し、23年度から学生を主体とした運営を実施している。以上により、中期計画を十分に実施している。           | 48                         |                    |            |      |                         |                  |    |  |    |  |  |

# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画              |   | 平成23年度計画   | ウェイト  |   | 計画の実施状況  | 自己評価   |   | データ番号 | 通し番号                       |            |      |       |     |   |   |
|-------------------|---|--|---|---|--|--|---|-------|----------------------------|------------|------|-------|-----|---|---|
| 項目                | 実施事項  |  | 中期  | 年度  |  | 中期<br>↓<br>変更  | 年度  |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期         | 年度   |       |     |   |   |
| 5                 | 【多様な入試制度の導入及び入試体制の充実・強化】<br>・優秀かつ多様な学生の確保のため、多様な入試制度を導入する。<br>・入試業務全体を統括するアドミッションオフィスを設置するとともに、高等学校等へのPR活動、オープンキャンパスの充実等、積極的な情報発信活動を展開する。 | 5-1 【平成23年度計画】<br>○24年度入試の推薦入試の在り方を検討する。<br>・推薦入試の具体的な内容・実施方法等について検討・決定し、実施する。<br>○25年度入試の在り方について議論を始め、方向性を出す。   | 1   | 年度  | 【平成23年度の実施状況】<br>○24年度の推薦入試に関しては、「入試委員会」を中心に議論を重ね、具体的な内容及び実施方法について決定した。7月に「募集案内」、9月に「願書」を作成し、公表した。その結果、昨年度同様2回の推薦入試を実施し、2回とも志願者数が昨年度を上回った。<br>○さらに、24年度私費外国人留学生入試に関しては、海外での渡日前入学許可制度を利用した。試験を2カ国(韓国・タイ)において、初めて設定し、志願者のあった韓国で実施した。その結果、韓国からの入学者を初めて学部に入学者させることができた。<br>○25年度の入試制度の在り方については、留学生の試験日程の今後の対応方針などの方向性を年度内に出した。 | A  | 留学生を募集するため、他大学ではあまり実績がない渡日前入学許可による海外での入学試験を設定し、2ヶ国での開催を計画し、1カ国で実施した。以上のことから年度計画を上回って実施している。 |       | 63                         |            |      |       |     |   |   |
|                   |   | 5-2 【平成23年度計画】<br>○アドミッションオフィスを中心に、入試情報などを適時・積極的に発信する。<br>・オープンキャンパス・学校見学会、高校訪問、進学説明会、進学情報誌・進学情報サイト掲載や、大学ホームページ・携帯ホームページのタイムリーな更新による情報発信<br>・オープンキャンパスにおける、模擬授業の実施<br>○数値目標<br>オープンキャンパスにおける模擬授業 5回以上<br>学校見学会 4回<br>高校訪問(延べ校数) 70校以上<br>進学説明会 40件以上 | 1   | 【平成23年度の実施状況】<br>○「入試・広報・キャリア支援センター(入試・広報部門)」を中心に入試などの大学情報をダイレクト・メールやホームページでタイムリーかつ積極的に発信した。その結果、オープンキャンパス等のイベントへの参加者が昨年度より増加した。(オープンキャンパス・学校見学会参加者数：H22 1514人 → H23 1774人)<br>○23年度はメインの募集エリアの九州エリアだけでなく、中四国エリアまで「高校渉外」「進学説明会」を実施し、大学情報を直接広報した。その結果、県内だけでなく、県外からの志願者数についても昨年度より増加した。(日本人学生志願者数：H23入試 県内737人、県外296人 → H24入試 県内789人、県外327人)<br>・数値目標<br>オープンキャンパスにおける模擬授業 14回<br>学校見学会 ⇒学内イベント【オープンキャンパス・学校見学会・入試相談会】の実施回数=5回<br>高校訪問(延べ校数)137校<br>進学説明会 64件 | A  | 全ての数値目標に対して、達成している。また、模擬授業、高校訪問、進学説明会については前年度を上回って実施している。以上のことから年度計画を上回って実施している。 |   | 64    |                            |            |      |       |     |   |   |
|                   |   | 1  | 【中期目標期間の実施状況】<br>①平成21年度に、選抜方法の見直しを行い、平成23年度からの国際文理学部では、一般入試(前期・後期)、社会人入試、帰国子女入試、外国人入試に加え、志や意欲ある学生を確保できるよう、推薦入試を2回実施することを決定した。<br>②平成22年度に、国際文理学部において重要な位置を占める留学生の確保目標を明確にするため、留学生枠を設けた。また、留学生を対象に海外での渡日前入学許可による入試も実施した。<br>③平成22年度に、入試業務と就職業務を一元的な組織で運営することにより、本学に対する社会のニーズ把握を徹底するとともに、入試、就職それぞれの情報を結びつけ、戦略的、効果的に目標とする人材育成を図ることを目指し、これまで別々に行っていた入試・広報・就職支援業務を一本化した「入試・広報・キャリア支援室」(アドミッションオフィス)を設置した。<br>④「入試・広報・キャリア支援センター」を中心に、高等学校への渉外活動、オープンキャンパス、学校見学会及び入試相談会の実施により、大学情報を積極的に発信した。<br><br>○目標実績<br><table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td></td><td style="text-align: center;">H23</td></tr> <tr><td>オープンキャンパスにおける模擬授業</td><td style="text-align: center;">14回</td></tr> <tr><td>学校見学会</td><td style="text-align: center;">5回</td></tr> <tr><td>高校訪問(延べ校数)</td><td style="text-align: center;">137校</td></tr> <tr><td>進学説明会</td><td style="text-align: center;">64件</td></tr> </table> |   | H23  | オープンキャンパスにおける模擬授業  | 14回   | 学校見学会 | 5回                         | 高校訪問(延べ校数) | 137校 | 進学説明会 | 64件 | A | 18年度から、多様な入試制度の導入に向けて検討を行ってきたが、国際文理学部を開設することに伴い、23年度4月の入学者確保に向けて、推薦入試等を導入した。また、23年度は留学生を対象に海外での渡日前入学許可による入試も実施した。また22年度に入試・広報・就職支援業務を一本化した「入試・広報・キャリア支援室」(アドミッションオフィス)を設置し組織的な強化を行った。広報活動等についても、オープンキャンパス参加者が1200名を上回るなど成果を上げている。また、新規に学校見学会や入試相談会を開催するなど、従来の実績を大幅に上回る取り組みを展開し、学内イベントでの動員が23年度で1774人と、大学の認知度アップに大きく貢献している。以上のことから中期計画を上回って実施している。 |
|                   | H23   |  |   |   |  |  |   |       |                            |            |      |       |     |   |   |
| オープンキャンパスにおける模擬授業 | 14回   |  |   |   |  |  |   |       |                            |            |      |       |     |   |   |
| 学校見学会             | 5回  |  |   |   |  |  |   |       |                            |            |      |       |     |   |   |
| 高校訪問(延べ校数)        | 137校  |  |   |   |  |  |   |       |                            |            |      |       |     |   |   |
| 進学説明会             | 64件   |  |   |   |  |  |   |       |                            |            |      |       |     |   |   |



# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画 |  | 平成23年度計画 | ウェイト |    | 計画の実施状況   | 自己評価          |          | 通し番号      |       |    |
|------|--|----------|------|----|---|---------------|----------|-----------|-------|----|
| 項目   | 実施事項   |          | 中期   | 年度 |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度       | データ<br>番号 | 中期 年度 |    |
|      |  |          |      |    |   |               |          |           | 中期    | 年度 |
| 6    | <p>【社会貢献機能の充実に向けた各種プログラム及び体制等の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の特色を活かし、社会人教育や再就職支援プログラムの提供など、女性の一生涯を対象とした再学習拠点としての機能を充実する。</li> <li>・大学と地域が相互交流する環境づくりを推進する。</li> <li>・社会貢献活動の積極的な推進と情報発信機能の強化を図るため、大学の社会貢献活動を総合的に実施する全学的組織としてエクステンションセンターを設置する。</li> </ul> | 6-1      | 1    | 1  | <p>【平成23年度の実施状況】</p> <p>○平成23年度に、地域貢献を目的として、地域連携センターを設置したことに伴い、地域連携センターニュースの発行、地域連携センターホームページ構築のほか、下記の3部門による各種活動を実施した。</p> <p>(女性生涯学習研究部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な教養講座の実施<br/>土曜公開講座(10回、400人)、春季公開講座(6回、608人)、秋季公開講座(6回、232人)、自由企画講座(23回、705人)、特別講演会(2回、45人)を実施した。</li> <li>・女性のライフステージに対応した各種プログラムの実施<br/>リーダー養成講座として、社会の第一線で活躍中の女性や本学出身の著名な作家による女性の生き方をテーマとして実施した。(2回、214人)</li> </ul> <p>(産学官地域連携部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官交流会・セミナーの実施<br/>「環境白書を読む会」開催(参加者62名)<br/>産学官地域連携セミナー「赤ちゃん・子どもの食と健康を考える」開催(参加者78名)<br/>※福岡ビジネス創造センターと共催<br/>産学官技術交流会「世界に羽ばたく福岡方式のごみ処理」開催(参加者113名)<br/>知的財産権セミナーを開催(参加者54名)</li> <li>・他大学や企業・自治体等との共同研究や交流の推進<br/>「フォト研究紹介2011」発行<br/>エコテック2011に研究パネル「消霧装置の開発と性能評価」他5品を出品<br/>シーズ発表会(新生活産業くらぶFUKUOKA、福岡県共催)に参加(講師1名参加)<br/>「教員データブック」を発行</li> </ul> <p>(地域交流部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区自治協議会等地元との交流活動<br/>福岡女子大学施設見学会実施(参加者34名)<br/>地域と留学生との交流会開催(参加者235名)<br/>地元開催イベントへの参加</li> <li>・高校への出張講義や高校生向けの体験授業<br/>出張講義、スーパーサイエンスハイスクール指定校等を対象とした体験授業実施<br/>高校生のためのイングリッシュキャンプ開催(参加者18名、応募74名)<br/>鈴木章先生2010年ノーベル化学賞受賞記念講演会開催(参加者513名)</li> <li>・企業や自治体との交流活動<br/>東部地域大学学生との地域との交流<br/>東部地域3大学学生懇話会を2回開催し、学生同士の交流を図り地域ボランティア活動への共同参加等検討した。<br/>西日本新聞社と連携協力に関する協定締結<br/>平成23年10月3日/目的:地域の教育及び地域社会の充実・発展に寄与すること</li> <li>・社会貢献活動の積極的な情報発信<br/>教員免許更新講習実施<br/>平成23年8月17日～19日理科、8月22日～25日国語/参加者88名</li> </ul> | A             | 65       |           |       |    |
|      |  |          | 1    | 1  | <p>【中期目標期間の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域交流活動の具体的な取組として、平成22年度に福津市との包括的連携協定を締結した。</li> <li>②国際文理学部開設後の運営組織、施設整備の検討段階において、「エクステンションセンター(地域連携センター)」の機能や要員配置等について整理、検討し、平成23年度に「地域連携センター」を設置した。</li> <li>③平成23年度に、地域連携センター女性生涯学習研究部門において、リーダー養成等を目的とした各種公開講座や特別講演会を実施した。</li> <li>④平成23年度に、地域連携センター産学官地域連携部門において、他大学や企業・自治体等との共同研究や交流を推進するため、各種交流会・セミナーを実施した。</li> <li>⑤平成23年度に、地域連携センター地域交流部門において、大学と地域の相互交流を図るため、各種イベントや出張講義、大学施設見学会、学生同士の交流を実施した。また地域の教育や地域社会の充実・発展に寄与するため、西日本新聞社との連携協定を締結した。</li> </ol>  | B             | 中期<br>50 |           |       |    |

# 福岡女子大学(大学改革の推進)

| 中期計画   |      | 平成23年度計画  | ウェイト |      | 計画の実施状況   | 自己評価          |      | データ番号 | 通し番号                       |      |    |          |
|--|------|---|------|------|---|---------------|------|-------|----------------------------|------|----|----------|
| 項目   | 実施事項 |   | 中期   | 年度   |   | 中期<br>↓<br>変更 | 年度   |       | 中期目標期間評価理由<br>又は<br>年度評価理由 | 中期   | 年度 |          |
| 7【大学運営に係る体制等の整備】<br>・優秀な教職員の確保に取り組むとともに、事務局体制を整備する。<br>・新学部開設に伴う教育設備等の整備に取り組む。 |      | 7-1【平成23年度計画】<br>○効果的・効率的な事務局体制の再編準備<br>・新学部開設に伴い、新しい教育システムの構築や国際化の推進など、各種事業を重点的かつ機動的に推進することができる大学の組織・運営体制に再編・整備する。<br>「副学長」職の設置<br>常勤役員の担務制の導入<br>付属機関の再編(地域連携センターの設置等)等 | 1    | 1    | 【平成23年度の実施状況】<br>○理事長(学長)のリーダーシップを支えとともに、国際交流や地域連携等の対外折衝業務の大幅増に対応するため、4月に「副学長」職を設置した。その後、12月に大学運営をより機動的に推進していく観点から副学長を2名から4名へ増員した。<br>・大学の円滑な運営を図るため、法人経営の責任を有する副理事長・学内理事が大学運営に係る各分野を分担する「担務制」を導入した。<br>・大学の理念を実現するための全学的組織として、重点的に取り組む必要のある事業分野について、教職協働による附属機関(教育学習支援センター、地域連携センター、国際化推進センター、入試・広報・キャリア支援センター、学術情報センター)を設置した。<br>・円滑な学部運営を図るため、学部長を補佐する「学部長補佐」職を設置した。<br>・特定の重要事業に対して迅速かつ集中的に対応できるよう理事長特命による「学長補佐」職を設置した。<br>・大学の円滑な運営を図るため、法人・大学の調整機関として位置づけられていた「部局長会議」を廃止し、それに代わるものとして「大学連絡協議会」を設置し、大学運営に関する協議・調整を行った。<br>・大学の戦略的かつ機動的な運営を推進するため、学内に「予算編成会議」を設置し、予算の重点化と効果的・効率的な配分を検討した。 | B             |      |       | 66                         |      |    |          |
|  |      | 7-2【平成23年度計画】<br>○「施設整備分科会」が中心となり、県及び各学科等と協力の上、教育設備の整備を図る。<br>・新校舎の建設に向けて、教育に必要な設備等の検討を行う。  |      |      | 【平成23年度の実施状況】<br>○大学内部の施設利用者の意見・要望をとりまとめ、県及び設計委託業者との緊密な調整を行い研究棟の実施設設計を完成させ、平成24年度発注できる運びとなった。   |               |      |       |                            | B    |    | 67       |
|  |      |   |      |      | 【中期目標期間の実施状況】<br>①新学部の教育理念を共有し意欲的に取り組むことのできる優秀な教員を確保するため、広く公募し、専任教員、非常勤講師を選考し採用した。<br>②社会の変化やグローバル化時代に対応した福岡女子大学の創造に向け、各種事業分野について、教職協働による附属機関を設置した。<br>③「施設整備分科会」が中心となり、県及び各学科等と協力のうえ、新学生寮の設置、新学部開設に必要な専門図書等の整備、新校舎(研究棟)の実施設設計を行った。<br>④新学部設置に伴い、各種業務を重点的かつ機動的に推進することができるよう、組織運営体制の再編・整備を行った。   |               |      |       |                            | B    |    | 中期<br>51 |
| ウェイト総計   |      |   | 中期   | 23年度 |   |               | 項目数計 |       | 中期                         | 23年度 |    |          |
|  |      |   | 8    | 14   |   |               |      |       | 7                          | 12   |    |          |

【ウェイト付けの理由】(年度計画)

- 「1-2-1」大学改革の中核となる教育課程の編成に関する計画であり、重点施策として位置づける。
- 「1-3-1」新学部の特長である国際交流の推進に関する計画であり、重点施策として位置づける。

大学改革の推進に関する特記事項(平成18年度～平成22年度)

- ①新学部の開設を記念し、平成22年11月に記念シンポジウムを開催し、300名を超える参加者を得た。
- ②平成23年2月に立命館アジア太平洋大学と連携協力に関する基本協定を締結し、相互の特色を活かした連携を推進することとした。



項目別の状況(年度計画項目)

その他中期計画において定める事項

| 中期計画             |           | 年度計画          |        |        | 自己評価  |            |
|------------------|-----------|---------------|--------|--------|-------|------------|
|                  |           | 計画            | 実績     |        |       |            |
| I 収支計画予算及び資金計画予算 | 1. 収支計画予算 | (百万円)         |        |        | -     |            |
|                  |           | 区分            | 予算額(a) | 決算額(b) |       | 差額 (a)-(b) |
|                  |           | 費用の部          | 1,887  | 1,776  | 111   |            |
|                  |           | 経常費用          | 1,887  | 1,768  | 118   |            |
|                  |           | 業務費           | 1,703  | 1,606  | 97    |            |
|                  |           | 教育研究経費        | 373    | 311    | 61    |            |
|                  |           | 人件費           | 1,330  | 1,294  | 36    |            |
|                  |           | 一般管理費         | 184    | 162    | 21    |            |
|                  |           | (減価償却費 再掲)    | (45)   | (43)   | (1)   |            |
|                  |           | 臨時損失          | 0      | 7      | △ 7   |            |
|                  |           | 収益の部          | 1,780  | 1,845  | △ 64  |            |
|                  |           | 経常収益          | 1,780  | 1,742  | 38    |            |
|                  |           | 運営費交付金収益      | 1,074  | 1,064  | 9     |            |
|                  |           | 授業料収益         | 459    | 443    | 16    |            |
|                  |           | 入学金収益         | 92     | 85     | 6     |            |
|                  |           | 検定料収益         | 21     | 19     | 1     |            |
|                  |           | 受託研究等収益       | 20     | 19     | 0     |            |
|                  |           | 補助金等収益        | 32     | 23     | 8     |            |
|                  |           | 寄附金収益         | 21     | 19     | 1     |            |
|                  |           | 資産見返運営費交付金等戻入 | 21     | 16     | 4     |            |
|                  |           | 資産見返補助金等戻入    | 1      | 1      | 0     |            |
|                  |           | 資産見返寄附金戻入     | 5      | 4      | 1     |            |
|                  |           | 資産見返物品受贈額戻入   | 5      | 5      | 0     |            |
|                  |           | 財務収益          | 0      | 0      | 0     |            |
|                  |           | 雑益            | 25     | 38     | △ 13  |            |
|                  |           | 臨時利益          | 0      | 103    | △ 103 |            |
|                  |           | 純利益           | △ 106  | 69     | △ 176 |            |
|                  |           | 目的積立金取崩額      | 106    | 31     | 75    |            |

|                            | 2. 資金計画予算 | (百万円)   |        |        |  |            |
|----------------------------|-----------|---|--------|--------|--|------------|
|                            |           | 区分  | 予算額(a) | 決算額(b) |  | 差額 (a)-(b) |
|                            |           | 資金支出  | 2,219  | 2,131  | 88   |            |
|                            |           | 業務活動による支出   | 1,842  | 1,703  | 139  |            |
|                            |           | 投資活動による支出   | 45     | 26     | 19   |            |
|                            |           | 財務活動による支出   | 0      | 13     | △ 13   |            |
|                            |           | 翌年度への繰越金  | 331    | 387    | △ 56   |            |
|                            |           | 資金収入  | 2,219  | 2,131  | 88   |            |
|                            |           | 業務活動による収入   | 1,780  | 1,735  | 45   |            |
|                            |           | 運営費交付金による収入   | 1,109  | 1,099  | 9  |            |
|                            |           | 授業料等による収入   | 573    | 549    | 24   |            |
|                            |           | 受託研究等による収入  | 20     | 20     | 0  |            |
|                            |           | 補助金による収入  | 32     | 23     | 8  |            |
|                            |           | その他収入   | 45     | 41     | 3  |            |
|                            |           | 投資活動による収入   | 0      | 0      | 0  |            |
|                            |           | 財務活動による収入   | 0      | 0      | 0  |            |
|                            |           | 前年度からの繰越金   | 438    | 395    | 42   |            |
| II 短期借入金の限度額               |           | 1. 短期借入金の限度額 2億円<br>2. 想定される理由 運営費交付金の交付時期と資金需要の期間差及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすること。 |        |        | 該当なし   | —          |
| III 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画   |           | 該当なし  |        |        | 該当なし   | —          |
| IV 剰余金の使途                  |           | 決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。  |        |        | 平成22年度は剰余金による教育研究等改善目的積立金はなし。目的積立金31百万を取崩し、以下のとおり教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充当した。<br>活用内容 ・国際化の推進、充実<br>・CTL活動(FD、国内体験学習)の充実 | —          |
| V その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項 |           | 1. 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることのできる積立金の処分に関する計画<br>なし<br>2. その他法人の業務に関し必要な事項<br>なし       |        |        | 該当なし   | —          |

項目別の状況(中期計画項目)

その他中期計画において定める事項

| 中期計画                 |           | 計 画  | 実 績      | 自己評価 |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
|----------------------|-----------|--|----------|------|------|-------|-----|-------|--------|-------|-----|-------|-------|-----|------------|-------|------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|----|----|---------|----|-------|----|---------------|----|-------------|-----|-----|---|---|----|----|------|-------|-----|-------|--------|-------|-----|-------|-------|-----|------------|-------|------|----|------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----|-----|---------|-----|-------|----|---------------|----|-----------|----|-----------|---|-------------|----|------|-----|-----|-----|---|
| I 収支計画予算<br>及び資金計画予算 | 1. 収支計画予算 | (単位:百万円)   |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
|                      |           | (単位:百万円)   | (単位:百万円) |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
|                      |           | <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用の部</td><td>7,618</td></tr> <tr><td>  業務費</td><td>6,918</td></tr> <tr><td>    教育研究経費</td><td>1,133</td></tr> <tr><td>    人件費</td><td>5,785</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>700</td></tr> <tr><td>    (減価償却費 再掲)</td><td>(269)</td></tr> <tr><td>収益の部</td><td>7,618</td></tr> <tr><td>  運営費交付金収益</td><td>3,883</td></tr> <tr><td>  授業料収益</td><td>2,755</td></tr> <tr><td>  入学金収益</td><td>456</td></tr> <tr><td>  検定料収益</td><td>115</td></tr> <tr><td>  雑益</td><td>54</td></tr> <tr><td>  受託研究等収益</td><td>81</td></tr> <tr><td>  寄附金収益</td><td>60</td></tr> <tr><td>  資産見返運営費交付金等戻入</td><td>24</td></tr> <tr><td>  資産見返物品受贈額戻入</td><td>190</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> | 区分       | 金額   | 費用の部 | 7,618 | 業務費 | 6,918 | 教育研究経費 | 1,133 | 人件費 | 5,785 | 一般管理費 | 700 | (減価償却費 再掲) | (269) | 収益の部 | 7,618 | 運営費交付金収益 | 3,883 | 授業料収益 | 2,755 | 入学金収益 | 456 | 検定料収益 | 115 | 雑益 | 54 | 受託研究等収益 | 81 | 寄附金収益 | 60 | 資産見返運営費交付金等戻入 | 24 | 資産見返物品受贈額戻入 | 190 | 純利益 | 0 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用の部</td><td>8,537</td></tr> <tr><td>  業務費</td><td>7,659</td></tr> <tr><td>    教育研究経費</td><td>1,467</td></tr> <tr><td>    人件費</td><td>6,192</td></tr> <tr><td>  一般管理費</td><td>809</td></tr> <tr><td>    (減価償却費 再掲)</td><td>(254)</td></tr> <tr><td>  臨時損失</td><td>67</td></tr> <tr><td>収益の部</td><td>8,742</td></tr> <tr><td>  運営費交付金収益</td><td>4,727</td></tr> <tr><td>  授業料収益</td><td>2,563</td></tr> <tr><td>  入学金収益</td><td>465</td></tr> <tr><td>  検定料収益</td><td>101</td></tr> <tr><td>  補助金収益</td><td>253</td></tr> <tr><td>  雑益</td><td>138</td></tr> <tr><td>  受託研究等収益</td><td>108</td></tr> <tr><td>  寄附金収益</td><td>65</td></tr> <tr><td>  資産見返運営費交付金等戻入</td><td>56</td></tr> <tr><td>  資産見返寄附金戻入</td><td>16</td></tr> <tr><td>  資産見返補助金戻入</td><td>4</td></tr> <tr><td>  資産見返物品受贈額戻入</td><td>74</td></tr> <tr><td>  臨時利益</td><td>167</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>205</td></tr> </tbody> </table> | 区分 | 金額 | 費用の部 | 8,537 | 業務費 | 7,659 | 教育研究経費 | 1,467 | 人件費 | 6,192 | 一般管理費 | 809 | (減価償却費 再掲) | (254) | 臨時損失 | 67 | 収益の部 | 8,742 | 運営費交付金収益 | 4,727 | 授業料収益 | 2,563 | 入学金収益 | 465 | 検定料収益 | 101 | 補助金収益 | 253 | 雑益 | 138 | 受託研究等収益 | 108 | 寄附金収益 | 65 | 資産見返運営費交付金等戻入 | 56 | 資産見返寄附金戻入 | 16 | 資産見返補助金戻入 | 4 | 資産見返物品受贈額戻入 | 74 | 臨時利益 | 167 | 純利益 | 205 | - |
| 区分                   | 金額        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 費用の部                 | 7,618     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 業務費                  | 6,918     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 教育研究経費               | 1,133     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 人件費                  | 5,785     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 一般管理費                | 700       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| (減価償却費 再掲)           | (269)     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 収益の部                 | 7,618     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 運営費交付金収益             | 3,883     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 授業料収益                | 2,755     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 入学金収益                | 456       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 検定料収益                | 115       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 雑益                   | 54        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 受託研究等収益              | 81        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 寄附金収益                | 60        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 資産見返運営費交付金等戻入        | 24        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 資産見返物品受贈額戻入          | 190       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 純利益                  | 0         |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 区分                   | 金額        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 費用の部                 | 8,537     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 業務費                  | 7,659     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 教育研究経費               | 1,467     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 人件費                  | 6,192     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 一般管理費                | 809       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| (減価償却費 再掲)           | (254)     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 臨時損失                 | 67        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 収益の部                 | 8,742     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 運営費交付金収益             | 4,727     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 授業料収益                | 2,563     |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 入学金収益                | 465       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 検定料収益                | 101       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 補助金収益                | 253       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 雑益                   | 138       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 受託研究等収益              | 108       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 寄附金収益                | 65        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 資産見返運営費交付金等戻入        | 56        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 資産見返寄附金戻入            | 16        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 資産見返補助金戻入            | 4         |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 資産見返物品受贈額戻入          | 74        |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 臨時利益                 | 167       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
| 純利益                  | 205       |  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |
|                      |           | <p>※増減の主な理由</p> <p>■費用の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究経費<br/>大学改革に伴う教育研究経費や広報費等の増による</li> <li>・人件費<br/>大学改革に伴う教職員体制の整備強化による増による</li> <li>・一般管理費<br/>大学改革に伴う新校舎・寮の備品整備費等の増による</li> </ul> <p>■収益の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費交付金収益<br/>教職員数や学生数の増等に伴い、運営費交付金の交付額が増加したことによる</li> <li>・授業料収益<br/>授業料収入を財源として取得した固定資産が計画で想定していた取得額を上回ったことにより、収益に計上すべき金額が想定していた収益の金額を下回ったことによる減</li> <li>・補助金等収益<br/>新校舎・寮に係る施設整備補助金や文部科学省の大学改革推進等補助金の交付を受けたことによる増</li> <li>・資産見返物品受贈額戻入<br/>県から無償譲渡された物品の資産価値減少による減</li> </ul>  |          |      |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |    |    |         |    |       |    |               |    |             |     |     |   |   |    |    |      |       |     |       |        |       |     |       |       |     |            |       |      |    |      |       |          |       |       |       |       |     |       |     |       |     |    |     |         |     |       |    |               |    |           |    |           |   |             |    |      |     |     |     |   |

| 中期計画                       |   | 計 画   | 実 績      | 自己<br>評価 |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
|----------------------------|---|---|----------|----------|------|-------|-----------|-------|-----------|-----|-----------|---|------|-------|-----------|-------|-------------|-------|-----------|-------|------------|-----|-------|----|-----------|---|-----------|---|--|-----|-----|------|-------|-----------|-------|-----------|-----|-----------|-----|---------------|-----|------|-------|-----------|-------|-------------|-------|-----------|-------|----------|-----|------------|----|------------|----|-------|-----|-------|-----|------------------------|----|-----------|-----|-----------|---|----------------|---|---|
| I 収支計画予算<br>及び資金計画予算       | 2. 資金計画予算   | (単位:百万円)  |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
|                            |   | (単位:百万円)  | (単位:百万円) |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
|                            |   | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td style="text-align: right;">7,550</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による支出</td> <td style="text-align: right;">7,349</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による支出</td> <td style="text-align: right;">201</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による支出</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td style="text-align: right;">7,550</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による収入</td> <td style="text-align: right;">7,550</td> </tr> <tr> <td>  運営費交付金による収入</td> <td style="text-align: right;">3,990</td> </tr> <tr> <td>  授業料等による収入</td> <td style="text-align: right;">3,326</td> </tr> <tr> <td>  受託研究等による収入</td> <td style="text-align: right;">180</td> </tr> <tr> <td>  その他収入</td> <td style="text-align: right;">54</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </tbody> </table> | 区 分      | 金 額      | 資金支出 | 7,550 | 業務活動による支出 | 7,349 | 投資活動による支出 | 201 | 財務活動による支出 | 0 | 資金収入 | 7,550 | 業務活動による収入 | 7,550 | 運営費交付金による収入 | 3,990 | 授業料等による収入 | 3,326 | 受託研究等による収入 | 180 | その他収入 | 54 | 投資活動による収入 | 0 | 財務活動による収入 | 0 | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金支出</td> <td style="text-align: right;">9,001</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による支出</td> <td style="text-align: right;">8,026</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による支出</td> <td style="text-align: right;">453</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による支出</td> <td style="text-align: right;">103</td> </tr> <tr> <td>  次期中期目標期間への繰越金</td> <td style="text-align: right;">418</td> </tr> <tr> <td>資金収入</td> <td style="text-align: right;">9,001</td> </tr> <tr> <td>  業務活動による収入</td> <td style="text-align: right;">8,758</td> </tr> <tr> <td>  運営費交付金による収入</td> <td style="text-align: right;">4,825</td> </tr> <tr> <td>  授業料等による収入</td> <td style="text-align: right;">3,244</td> </tr> <tr> <td>  補助金による収入</td> <td style="text-align: right;">267</td> </tr> <tr> <td>  受託研究等による収入</td> <td style="text-align: right;">81</td> </tr> <tr> <td>  受託事業等による収入</td> <td style="text-align: right;">24</td> </tr> <tr> <td>  寄附金収入</td> <td style="text-align: right;">141</td> </tr> <tr> <td>  その他収入</td> <td style="text-align: right;">147</td> </tr> <tr> <td>  預かり科学研究費補助金等の純<br/>増減額等</td> <td style="text-align: right;">25</td> </tr> <tr> <td>  投資活動による収入</td> <td style="text-align: right;">243</td> </tr> <tr> <td>  財務活動による収入</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>  前期中期目標期間よりの繰越金</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </tbody> </table> | 区 分 | 金 額 | 資金支出 | 9,001 | 業務活動による支出 | 8,026 | 投資活動による支出 | 453 | 財務活動による支出 | 103 | 次期中期目標期間への繰越金 | 418 | 資金収入 | 9,001 | 業務活動による収入 | 8,758 | 運営費交付金による収入 | 4,825 | 授業料等による収入 | 3,244 | 補助金による収入 | 267 | 受託研究等による収入 | 81 | 受託事業等による収入 | 24 | 寄附金収入 | 141 | その他収入 | 147 | 預かり科学研究費補助金等の純<br>増減額等 | 25 | 投資活動による収入 | 243 | 財務活動による収入 | 0 | 前期中期目標期間よりの繰越金 | 0 | - |
| 区 分                        | 金 額   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 資金支出                       | 7,550   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 業務活動による支出                  | 7,349   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 投資活動による支出                  | 201   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 財務活動による支出                  | 0   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 資金収入                       | 7,550   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 業務活動による収入                  | 7,550   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 運営費交付金による収入                | 3,990   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 授業料等による収入                  | 3,326   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 受託研究等による収入                 | 180   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| その他収入                      | 54  |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 投資活動による収入                  | 0   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 財務活動による収入                  | 0   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 区 分                        | 金 額   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 資金支出                       | 9,001   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 業務活動による支出                  | 8,026   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 投資活動による支出                  | 453   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 財務活動による支出                  | 103   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 次期中期目標期間への繰越金              | 418   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 資金収入                       | 9,001   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 業務活動による収入                  | 8,758   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 運営費交付金による収入                | 4,825   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 授業料等による収入                  | 3,244   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 補助金による収入                   | 267   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 受託研究等による収入                 | 81  |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 受託事業等による収入                 | 24  |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 寄附金収入                      | 141   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| その他収入                      | 147   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 預かり科学研究費補助金等の純<br>増減額等     | 25  |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 投資活動による収入                  | 243   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 財務活動による収入                  | 0   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| 前期中期目標期間よりの繰越金             | 0   |   |          |          |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| II 短期借入金の限度額               | 1. 短期借入金の限度額 2億円<br>2. 想定される理由 運営費交付金の交付時期と資金需要の期間差及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすること。 | 該当なし  |          | -        |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| III 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画   | なし  | 該当なし  |          | -        |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| IV 剰余金の使途                  | 決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上並びに組織運営の改善に充てる。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度から平成23年度までに取り崩した教育研究等改善目的積立金合計56百万円を、次のとおり教育研究の質の向上並びに組織運営の改善に充当した。</li> <li>・平成22年度 大学改革に係る広報経費ほか 25百万円</li> <li>・平成23年度 国際化推進関連経費ほか 31百万円</li> </ul>  |          | -        |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |
| V その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項 | 1. 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることのできる積立金の処分に関する計画<br>なし<br>2. その他法人の業務に関し必要な事項<br>なし       | 該当なし  |          | -        |      |       |           |       |           |     |           |   |      |       |           |       |             |       |           |       |            |     |       |    |           |   |           |   |  |     |     |      |       |           |       |           |     |           |     |               |     |      |       |           |       |             |       |           |       |          |     |            |    |            |    |       |     |       |     |                        |    |           |     |           |   |                |   |   |



# 福岡女子大学(中期目標項目)

## 項目別の状況(中期目標項目)

| 中期目標項目 | 法人<br>自己評価  |
|--------|---|
| 1. 教育  | <p>【平成23年度】<br/>           おおむね計画どおり実施している。<br/>           ○既存学部において、「学問基礎論」相当科目や「男女共同参画科目」等を引き続き開講するとともに、新学部において、文理統合教育の理念に基づいた「各種総合科目」や、主体的な学びの動機付けやキャリア教育の推進等を目指した「ファーストイヤー・ゼミ」等を開講した。また、既存学部生が新学部の科目を受講できるよう、制度の運用を見直した。<br/>           ○英語総合能力を育成するため、新学部の学生向けに開講した海外語学研修やフィールドスタディ等の海外実習科目を既存学部生も受講できる体制を構築した。TOEICテストの実施と対策講座の開催等、学習継続の動機付けと個々の学習進捗を図る機会を提供したが、数値目標の達成には至らなかった。<br/>           ○ボランティア活動等の単位認定については、本計画において単位認定制度を導入することとした本来の主旨である、社会性や協調性、行動力、推進力を養成する活動として、新学部において体験学習科目(「フィールドスタディ」「国際インターンシップ」「フィールドワーク」「サービスマーケティング」)を開講した。<br/>           ○九州大学、西南学院大学との3大学によるコンソーシアム「EUIJ九州」の発足に伴い、3大学連携の単位互換プログラム「EUディプロマコース」をスタートさせ、学内で個別説明会において、本コース登録のメリットを説明する等、登録を促した。その結果、本学の登録率は、他大学と比べ突出したものとなった。<br/>           ○管理栄養士国家試験対策については、年度計画以上の取組を行い、管理栄養士国家試験合格率は数値目標、前年度実績を共に大きく上回った。<br/>           ○学生による授業アンケートについては、回収率向上に向けて回収方法等を工夫したところ、回収率は大幅に改善した。<br/>           ○入試・広報については、複数メディアによる年間広報計画に基づき、多面的な広報を行った。高校訪問、入試説明会、オープンキャンパス等についても戦略的な活動を展開し、目標を上回った。結果、志願者数、受験者数についても目標を達成した。<br/>           ○就職支援については、民間企業の人事業務経験者を就職支援員として配置し、学生に対しきめ細かく就職支援を行った結果、目標を超える高い就職率を達成できた。</p> <p>【中期目標期間】<br/>           おおむね計画どおり実施している。<br/>           ○「理解力・思考力・洞察力を育成する科目群の充実」については、学生の職業観を育成し、理解力・思考力・洞察力を養成するため、キャリア教育科目の導入を決定し、キャリア教育に関するプログラム「男女共同参画社会をめざすキャリア教育」が文部科学省の現代GPIに採択された。プログラムの一環として、男女共同参画関連科目を拡充するとともに、学問キャリア導入科目や職業キャリア導入科目を開講し、学生のキャリア形成に取り組んだ。また、新学部設置に伴い、文理統合教育の教えに基づいた「各種総合科目」や「文理統合科目」を開講するとともに、既存学部生にも受講を認めた。<br/>           ○「英語総合能力を養成する科目群の強化」については、英語総合能力を養成するため、「英語」をTOEICに対応する授業内容に改め、TOEICの一斉受験や強化補習、英語学習に関する特別講演会等を実施した。また、新学部開設に伴い開講した海外語学研修やフィールドスタディ等の海外実習科目を既存学部生も受講できるようにするなど、新学部生と既存学部生の教育の質・内容に著しい開きが生じないよう配慮した。<br/>           ○「ボランティア活動等の単位認定制度の導入」については、ボランティア活動は単位認定になじまないことから、本計画において単位認定制度を導入することとした本来の主旨である、社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取組を行うこととした。<br/>           ○「文学部:国際文化関連科目の充実」については、大学改革に先行して、平成20年度から国際文化関連科目を実施するとともに、九州大学、西南学院大学との3大学によるコンソーシアム「EUIJ九州」の発足に伴い、3大学連携の単位互換プログラム「EUディプロマコース」をスタートさせ、学生の「EUディプロマコース」への登録を促す取組を積極的に行い、本学の登録率は、他大学と比べ突出したものとなった。<br/>           ○「人間環境学部:各学科の特色が輝く教育システム」については、管理栄養士国家試験の合格率が目標を下回った年度もあったが、問題点を把握し対策を立て、新規の取組を実施した結果、最終年度の合格率は目標を大きく上回った。<br/>           ○「学生による授業評価の導入」については、学生による授業評価を教員個人業績評価へ反映することについて、真に授業の質の改善を図るためには、授業の内容により手法も様々であるものを単純に点数化して行うのは適当でないこと等から、学生のコメントに対し教員が改善したかどうかを見ることが必要であり、学生による授業評価の教員個人業績評価への反映は実施しないこととし、次期中期計画の評価指標からも削除した。<br/>           ○「入試広報の充実」に関しては、高校訪問、出張講義、オープンキャンパスへの重点的な取組、メディアを活用した多面的な広報の結果、一時期落ち込んだ志願者数・受験者数を回復させ、目標を達成した。<br/>           ○「就職活動の支援」については、平成19年度からキャリア支援センター(23年度から入試・広報・キャリア支援センター)を開設し、就職対策講座や民間企業出身者の就職支援員によるきめ細かい就職支援の結果、高い就職率を達成した。</p> |

## 福岡女子大学(中期目標項目)

| 中期目標項目  | 法 人<br>自己評価   |
|---------|---|
| 2. 研究   | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○学外機関との研究交流を積極的に進めており、福岡県保健環境研究所との包括的連携協力に関する協定を平成28年度まで延長したほか、九州産業大学、福岡工業大学との東部地域大学連携協定を締結した。学内外の共同研究数については、目標・前年度実績共に大きく上回った。<br/>○外部研究資金の獲得に向け、科研費説明会や外部研究資金案内の情報提供を充実し、件数・収入額ともに目標を上回る実績をあげた。<br/>○23年度から設置する地域連携センター内の産学官地域連携部門において、共同研究の支援体制を強化した結果、産学官共同研究数については目標・前年度実績共に大きく上回った。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「学内外の共同研究プロジェクトの促進」については、平成18年度に福岡県保健環境事務所と包括的連携協力に関する協定を締結し、共同研究や合同研究成果発表会を実施するとともに、平成23年度には、本協定を平成28年度まで延長した。平成20年度から、九州大学グローバルCOE「新炭素資源学」の企画運営への参加、他大学との連携事業「国公立大コンソーシアム・福岡」への参画を開始した。また、平成23年度には、九州産業大学、福岡工業大学との東部地域大学連携協定を締結した。<br/>○「研究予算の有効活用」については、研究の活性化を図るため、学内研究奨励交付金の傾斜配分割合を段階的に引き上げ、平成17年度10%を平成22年度までに30%まで増加させた。<br/>○「外部研究資金の獲得」については、科研費説明会の開催や外部研究資金案内の情報提供を行い、いずれの年度も件数・収入額ともに目標を大幅に上回った。<br/>○「産学官連携の推進」については、産学官地域連携センター(23年度より地域連携センター産学官連携部門)を中心として、産学官技術交流会、セミナー等を実施するとともに、産学官共同研究を推進した。</p>   |
| 3. 社会貢献 | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○高校との連携を図るため、高校に出張講義一覧表を送付し、講師派遣依頼を促す等、積極的な取り組みを行った結果、出張講義・体験授業ともに計画を上回る実施となり、アンケートによる評価も十分な結果を残した。<br/>○地域のニーズに応じた各種公開講座を開催するとともに、トップリーダー招聘によるリーダー養成講座として、社会の一線で活躍する女性や本学OGである著名な作家による、女性の働き方、生き方に関する特別講演会を実施した。<br/>○海外有力大学9校との協定締結を行った。また、アジアの有力協定校との「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を発足させ、「アジア地域大学コンソーシアム福岡代表者会議」を開催し、コンソーシアムの共同宣言等を行った。これにより、本学のアジア地域でのプレゼンスを著しく向上させることができた。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「資格取得も含んだ再教育プログラムの提供」については、女性生涯学習研究センター(23年度より地域連携センター女性生涯学習研究部門)を中心として、リカレント教育を実施するとともに、教員免許更新制の導入に対応して、21年度から免許状更新講習を開講し、多数の受講生を得た。<br/>○「国際交流・留学生センターの設立」については、平成18年度に設置した国際交流センター(23年度より国際化推進センター)が中心となって、海外大学との交流活動に取り組んだ結果、23年度までに21校の大学との協定締結に至った。また、留学生支援のため、22年度にチューター制度を「JD-Mates」として登録制に変更し、積極的に本学の国際交流に関わる機会を増やした。更に、23年度には、アジアの有力協定校との「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を発足させ、国際会議を開催するとともに、共同研究や研究成果発表までの道筋をつけた。<br/>○本学が主導的な役割を果たしている「福岡発食育&amp;食環境整備ネットワーク」(食・健康・栄養等に関する産学官連携による組織)が、農水省の20年度につぼん食育推進事業に採択され、食事バランスガイドの普及や食育の推進のための様々な事業を実施した。</p> |

# 福岡女子大学(中期目標項目)

| 中期目標項目  | 法 人<br>自己評価   |
|---------|---|
| 4. 業務運営 | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○新しい大学づくりに向けた機動的な運営を推進するため、附属機関の再編、事務局の要員配置及び事務分掌の見直しを行い、新体制での運営をスタートさせた。また、事務局機能の強化に向け、国際化推進、入試・広報に関して専門知識・能力を有する職員をプロパー職員として確保するとともに、24年度から2名のプロパー職員を採用するため、10月にプロパー職員採用試験を実施した。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「学内資源の適正な配分と事務局機能の強化」については、平成18年度より、理事長をトップとして学内理事により構成される法人運営会議を毎週開催するとともに、毎月1回部局長会議を開催して大学内の意見を調整しながら、法人・大学の基本的運営事項について検討・決定してきたが、平成23年度から、新理事長の下、大学運営の推進力を更に高めるため、部局長会議に代えて、大学運営に関する協議・調整機関として「大学連絡協議会」を設置した。<br/>○事務局機能の強化を図るため、事務局業務の外部委託を進めるとともに、新学部開設に向けた事務組織の大幅な見直し、各種事業を重点的・機動的に推進できる組織体制づくりを行い、23年度からスタートさせた。また、新学部開設準備のため、平成21年度に国際交流及び広報を担当する専門職の嘱託事務職員をそれぞれ1名採用し、23年度からはプロパー職員とした。更に、24年度から2名のプロパー職員を採用するため、3大学合同による職員採用試験を実施した。</p>   |
| 5. 財務   | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○自己収入の増加策として、外部研究資金の獲得に向け、科研費説明会の開催や、外部研究資金案内の情報提供を行った結果、目標を大きく上回る収入があった。また、公開講座やリカレント教育、教員免許状更新講習受講料を徴収した。<br/>○経費の抑制策として、新学部開設に伴う教員採用に際し、特任教授制度や非常勤講師制度を活用した。<br/>○光熱水費等の管理経費については、新学部開設に伴う多量の資料作成や、教職員・学生の増、及びそれに伴う業務が増加し、印刷配布資料(コピー枚数)が目標を大きく上回ったほか、通信運搬費が前年度を上回った。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「外部研究資金等の獲得」については、自己収入の増加策として、外部研究資金の獲得に向け、科研費説明会の実施や、外部研究資金案内の情報提供を行った結果、目標を大幅に上回った。<br/>○「人件費の抑制」については、人件費の抑制策として、退職教員の補充の際や新学部開設に伴う教員採用に際し、特任教授制度や非常勤講師制度を活用した。<br/>○「管理運営業務の効率化」については、新学部開設に伴う多量の資料作成や、教職員・学生の増等により、印刷配布資料(コピー枚数)が大きく増加したが、メール便等の活用により、通信運搬費の大幅な節減を図ったほか、光熱水費等について、省エネ意識の啓発等を行った。</p>  |
| 6. 評価   | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○新学部設置に合わせて、これまで事務局主導で実施してきた自己点検・評価を実効性のあるものにするるとともに評価結果を業務改善に活かす仕組みを構築するため、自己点検・評価委員会の規則改正により、進捗確認の機会を年4回に増やすなどその機能強化を図った。また、自己点検・評価結果及び県評価委員会、大学評価・学位授与機構の評価結果を踏まえ、23年度事業において大学運営の改善を図るとともに、次期中期計画に反映させた。<br/>○個人業績評価については、23年度の評価結果を基に、教員個人業績評価基準を改訂することを決定し、改訂指針をまとめた。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「自己点検・評価の実施と評価委員会等の評価結果の大学運営への反映」については、新学部設置に合わせ、自己点検・評価を実効性のあるものにするるとともに評価結果を業務改善に活かす仕組みを構築するため、23年度に、自己点検・評価委員会の機能を強化するよう規則を改正した。また、自己点検・評価結果及び県評価委員会、大学評価・学位授与機構の評価結果を踏まえ、大学運営の改善を図るとともに、次期中期計画にも反映させた。平成22年度に大学評価・学位授与機構による書面調査・訪問調査が実施され、本学は全体として大学評価基準を満たしているとの評価結果を得た。一部改善を要する点については、改善策を検討し、可能なものから改善した。<br/>○「教員の個人業績評価システムと評価結果の給与への反映」については、第二期中期目標期間における活動状況について、教員の活動業績がより適切に把握できるよう、評価方法や評価基準票の見直しを実施しており、今後より一層の教育・研究等の諸活動の向上を図ることとしている。</p> |



# 福岡女子大学(中期目標項目)

| 中期目標項目     | 法 人<br>自己評価  |
|------------|--|
| 7. 情報公開    | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○大学広報誌を作成し大学HPに掲載するとともに、「教育情報の公開」については、情報を適切に整理し、大学HPのTOPページから確認できるよう配慮した。<br/>○個人情報の保護については、外部講師による全教職員対象の講習会を予定していたが、講師の日程調整がつかず、実施できなかった。代替手段として、研修資料や個人情報保護条例を全教職員に配付し、周知徹底を図った。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「大学情報の公開の推進」については、平成19年度に設置した情報センターを中心に、大学広報や英文パンフレットを作成し、ホームページで公表する等、積極的に情報公開を推進した。平成21年度の企画広報室立ち上げ以降、新学部の認可スケジュールに合わせ、新学部コンセプトブックの発行や、本学の広報誌、ホームページ等を利用して十分な情報発信を展開した。また、「教育情報の公開」に関しては、情報を適切に管理し、大学HPのTOPページより確認できるよう配慮した。</p>   |
| 8. 大学改革の推進 | <p>【平成23年度】<br/>計画どおり実施している。<br/>○国際文理学部を開設し、グローバル化社会に対応できる基盤的・実践的な能力を養う国際共生プログラムの実施や学生の主体的学習の支援等、文科省の認可内容に基づくサービスを実施した。<br/>○新たな教育システムの構築に向け、学生参加型少人数教育である「ファーストイヤー・ゼミ」を開始した。また、体験学習として、福津市との包括連携協定による福津市インターンシップ(「国際インターンシップ」)、JAとの連携による朝倉市での農業体験プログラム(「フィールドワーク」)、オーストラリアやスリランカでの「フィールドスタディ」等を実施した。<br/>○履修システム・履修指導制度・体制の実施については、アカデミック・アドバイザーが新学部開設とともに任務を開始したが、カリキュラムマトリックス、プログレス・ファイルについては、より有効なシステムとするため、部会を設置し再検討したため、24年4月からの正式運用となった。<br/>○海外語学研修については、日本学生支援機構の奨学金を獲得し、125名の学生が夏季・春季の休業期間中に海外語学研修に参加した。また、短期留学生受入プログラム(WJC)を通年化し、協定校から前期23名、後期26名(うち前期からの継続参加8名)の短期留学生が参加した。<br/>○教育の場としての学生寮の活用については、国際交流・キャリア支援に関する講演会・イベントの開催や、イングリッシュデイ(後期より毎週1回)等を行った。また、円滑な寮運営を図るため、教員・上級生・フロアリーダーからなる寮運営協議会等を開催した。<br/>○留学生を募集するため、他大学ではあまり実績がない渡日前入学許可による海外での入学試験を設定・実施した。<br/>○23年4月に設置した地域連携センターにおいて、女性生涯学習研究部門、産学官地域連携部門、地域交流部門の各部門で、社会人への教育プログラムや産学官連携、地域交流活動等を実施した。<br/>○大学運営については、理事長(学長)のリーダーシップを支えるとともに、国際交流や地域連携等の対外折衝業務の大幅増に対応するため、「副学長」職の設置と増員、大学の円滑な運営を図るための常勤役員の担務制の導入、教職協働による附属機関(地域連携センター等)の設置等を行った。</p> <p>【中期目標期間】<br/>計画どおり実施している。<br/>○「学部学科の再編」については、新学部の設置認可について、当初予定の時期に認可を得られず継続審査となったが、これに適切に対応し、平成22年12月24日に認可を得た。<br/>○「新たな教育システムの構築」については、新学部における教育理念の実現に向け、国際共生プログラムや体験学習プログラムの編成、学生の主体性を育成する履修制度の整備など、主体的学びと幅広い学びを重視した実践的な教育システムの整備を行い、23年4月以降、各プログラムを実施した。<br/>○「海外学習及び海外からの留学生受入のための制度並びに支援体制の構築」については、海外有力大学との連携により、本学からの交換留学生の派遣や、海外語学研修を実施し、多くの学生が参加した。また、新学部開設に先立ち22年度より実施していた協定校からの短期留学生受入プログラム(WJC)を、23年度からは通年化することで、年間を通して本学に短期留学生が在学する国際的な環境を整えた。<br/>○「多様な入試制度の導入及び入試体制の充実・強化」については、優秀な学生を確保するために、入試・広報体制を強化するとともに、各種メディアを活用しながら戦略的な広報活動を展開し、目標を上回る志願者、受験者を得た。また、留学生を募集するため、他大学ではあまり実績がない渡日前入学許可による海外での入学試験を設定・実施した。<br/>○「社会貢献機能の充実に向けた各種プログラム及び体制等の整備」については、新学部開設に伴い「地域連携センター」を設置し、女性生涯学習研究部門、産学官地域連携部門、地域交流部門において、社会人への教育プログラムや産学官連携、地域交流活動等を実施した。<br/>○「大学運営に係る体制等の整備」については、新学部理念の実現に向け、各種事業を重点的かつ機動的に推進できるよう、重点事業別の5つの附属機関の設置や事務局体制の見直しなど、組織・運営体制の再編、整備に取り組んだ。23年度からは、新しい理事長のリーダーシップの下、機動力のアップを目指し、「副学長」職の設置と増員、常勤役員の「担務制」の導入、「学長補佐」職の設置等を行った。また、予算の重点化と効果的・効率的な配分を検討する「予算編成会議」を設置した。</p> |

# 福岡女子大学(全体的な状況)

## 全体的な状況

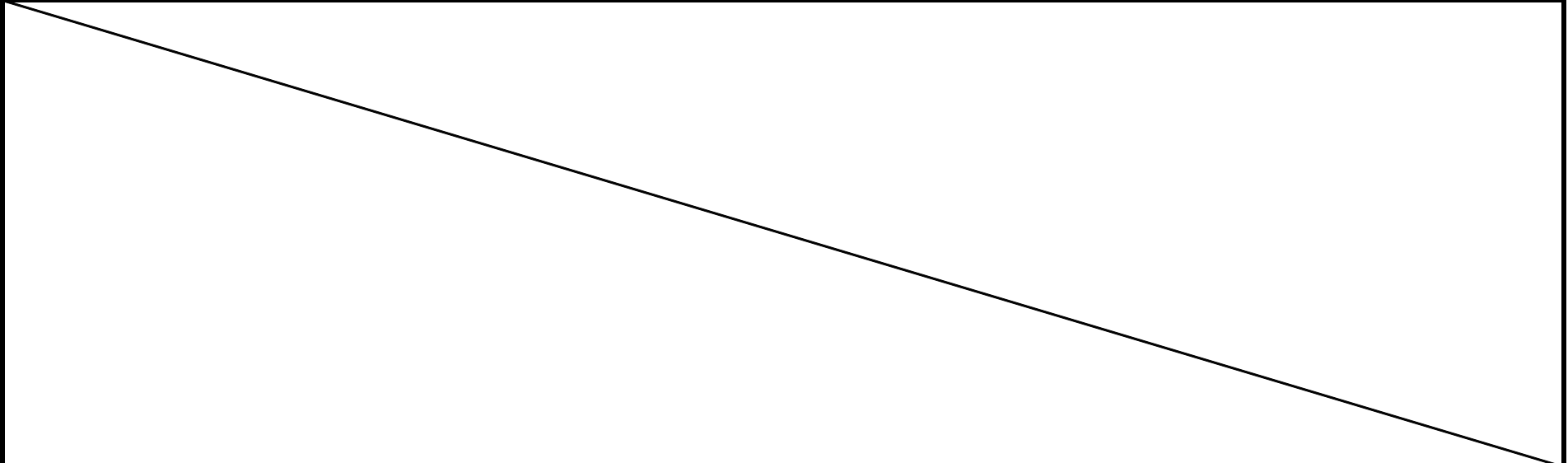
| 区分          | 法人<br>自己評価  |
|-------------|---|
| 業務の実施状況について | <p>【平成23年度】</p> <p>大学改革については、平成23年4月の新学部開設に伴い、これまでの2学部5学科を1学部3学科(国際教養学科、環境科学科、食・健康学科)に再編し、グローバル化社会に対応できる基盤的・実践的な能力を養う国際共生プログラムの実施や、学生の主体的学習の支援、学生参加型少人数教育としての「ファーストイヤー・ゼミ」、体験学習(「フィールドスタディ」等)、学術英語プログラム(AEP)等を実施した。</p> <p>大学改革の大きなテーマである国際化については、更に9カ国の海外有力校との協定を締結したほか、交流締結校を中心とした海外研修プログラムを実施し、本学から125名の学生が海外語学研修、海外体験学習に参加した。また、短期留学生受入プログラム(WJC)を通年化し、年間を通して短期留学生が本学に在学する国際的な学習環境を整えた。</p> <p>教育については、既存学部における「学問基礎論」相当科目や「男女共同参画科目」を引き続き開講するとともに、新学部における文理統合教育の理念や主体的な学びの動機付け、キャリア教育の推進等を目指した新たな科目を開講し、既存学部生にも開放した。また、課題となっていた管理栄養士国家試験合格率については、計画以上の取組みを実施した結果、数値目標を上回る結果を残した。</p> <p>就職対策や入試広報についても精力的に取り組み、目標を上回る実績をあげた。</p> <p>英語総合能力の育成については、TOEICテストの実施と対策講座の開催等を継続して実施したが、数値目標の達成には至らなかった。</p> <p>授業アンケートの回収率の向上が課題となっていたが、回収方法等を工夫することで、回収率は向上した。</p> <p>ボランティア活動等の単位認定については、本計画において単位認定制度を導入することとした本来の趣旨である、社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取組みを行うこととし、これを実施した。</p> <p>一方、学生による授業評価の教員個人業績評価への反映は、授業の質の改善を目的とした場合に適切ではないとの判断から、実施しないことを決定し、次期中期計画からも削除した。</p> <p>研究面では、産学官地域連携センターが中心となり、学外機関との研究交流や学内外の共同研究、産学官連携に積極的に取り組み、共同研究数は、学内外、産学官ともに目標を大きく上回った。</p> <p>社会貢献については、高大連携の取組みを積極的に行った。また、地域のニーズに応じた各種公開講座を開催するとともに、社会の一線で活躍する女性等による、女性の働き方、生き方に関する特別講演会を実施した。また、アジアの有力協定校との「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を発足させ、参加者約400名にのぼる本格的な国際会議と各種イベントを運営し、有力校との共同研究及び研究成果発表までのロードマップを明らかにする等、アジア地域での本学のプレゼンスを著しく向上させた。</p> |

## 福岡女子大学(全体的な状況)

|                        |   |
|------------------------|---|
|                        | <p><b>【中期目標期間】</b><br/>         大学改革については、学内において改革の基本案を作成するとともに、平成20年11月に県が策定した「福岡女子大学改革基本計画」の実現に向けて、県と緊密に連携し、各種の準備作業に取り組んだ。22年12月に新学部の設置認可を得るとともに、学部学科の再編や新しい教育システムの整備、優秀な教職員の確保、各種準備会議等の設置を行い、23年4月に1学部3学科からなる国際文理学部を開設した。新学部において、グローバル化社会に対応できる基盤的・実践的な能力を養う国際共生プログラムや、学生の主体的学習の支援、学生参加型少人数教育としての「ファーストイヤー・ゼミ」、体験学習(「フィールドスタディ」等)、学術英語プログラム(AEP)等、文科省の認可内容に基づいたサービスを実施している。</p> <p>大学改革の大きなテーマである国際化については、海外有力大学との交渉を精力的に進め、23年度までに21校との提携を実現し、本学学生の海外派遣(交換留学、体験学習、語学研修等)や、優秀な短期留学生の年間を通しての受入れを果たし、国際的な学習環境づくりを推進した。</p> <p>教育については、文部科学省19年度現代GPに「男女共同参画社会をめざすキャリア教育」が採択され、職業キャリア導入教育、学問キャリア導入教育の実施や英語総合能力の強化等の取り組みを全学を挙げて推進した。</p> <p>ボランティア活動等の単位認定については、本計画において単位認定制度を導入することとした本来の趣旨である、社会性や協調性、行動力等、学生の自主性を育成する取り組みを行うこととした。</p> <p>また、授業アンケートの回収方法を工夫し、回収率を向上させた。</p> <p>就職対策や入試広報にも精力的に取り組む、目標を上回る実績を上げた。</p> <p>一方、学生による授業評価の教員個人業績評価への反映は、授業の質の改善を目的とした場合に適当ではないとの判断から、実施しないことを決定し、次期中期計画からも削除した。</p> <p>研究面では、外部研究資金の獲得に努め、計画を上回る実績を上げた他、学内研究奨励交付金について、傾斜配分を17年度の10%から段階的に30%まで引き上げ、研究の活性化を図った。また、他大学や研究機関等と連携し、共同研究・共同事業を実施する等、学外機関との研究交流を推進した。</p> <p>社会貢献については、公開講座の充実に努めるとともに、教員免許更新制の導入に対応し、多数の受講生を得た。また、本学が企画し、福岡県の重点施策に採択された「アジア地域大学コンソーシアム福岡」を発足させ、国際会議の開催と今後の共同研究、研究成果発表までの道筋をつけたことは、アジア地域での本学のプレゼンスを著しく向上させるとともに、福岡県の発展に大きく寄与するものとなった。</p> <p>なお、平成22年度の入学生をもって募集を停止した既存学部の教育については、新学部での教育内容や手法について、実施可能なものは積極的に取り入れるなど、最後まで質の高い教育の実施に努めている。</p> |
| <p><b>財務状況について</b></p> | <p><b>【平成23年度】</b><br/>         収入面については、外部研究資金の獲得に向け、科研費説明会の開催等に取り組んだ結果、目標を上回った。また、公開講座やリカレント教育、教員免許状更新講習で受講料を徴収し、自己収入の確保に努めた。</p> <p>経費面については、新学部開設に伴う教員採用に際し、特任教授制度や非常勤講師制度を活用し新規採用教員の抑制を図ったほか、県人事委員会勧告に準拠した給与改定を実施し、人件費の削減に努めた。光熱水費をはじめとする管理経費については、新学部開設に伴う資料作成等により、印刷配布資料(コピー枚数)が目標を大きく上回ったが、省エネ意識の啓発等日々の削減努力を行った。</p> <p><b>【中期目標期間】</b><br/>         外部研究資金の獲得に向け、科研費説明会の開催等に取り組んだ結果、目標を大幅に上回る実績を上げた。また、公開講座の受講料及び施設使用料を徴収することを決定し、自己収入の増加に努めた。</p> <p>経費面の抑制については、退職教員の補充及び新学部開設に伴う教員採用に際し、特任教授制度や非常勤講師制度を活用し新規採用教員の抑制を図ったほか、通信費や光熱水費をはじめとする管理経費について、新学部開設に係る各種業務や資料作成の増加、教員数や学生数の増という厳しい状況の中、省エネ意識の啓発等日々の削減努力を行った。</p>  |



## 福岡女子大学(全体的な状況)

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>法人のマネジメントについて</p>       | <p>【平成23年度】<br/>         理事長(学長)のリーダーシップを支えるとともに、対外折衝業務の大幅増に対応するための「副学長」職の設置・増員、大学の円滑な運営を図るための常勤役員の担務制の導入、教職協働による付属機関の設置等を行った。また、予算の重点化と効果的・効率的な配分する「予算編成会議」を設置した。<br/>         事務局機能の強化に向け、専門知識を持つ職員をプロパー職員として確保するとともに、24年度からのプロパー職員採用のための採用試験を実施した。<br/>         23年度は中期目標期間の6年目であり、これまでの取組みについての暫定的な評価を踏まえ、中期目標・中期計画の達成に向けて実施の遅れがある事項について確認し事業の推進を図った。</p> <hr/> <p>【中期目標期間】<br/>         平成18年度以降、主体的・自律的な法人運営を確保するため、理事長のリーダーシップの下、法人の基本的運営事項を決定する「法人運営会議」を適宜開催するとともに、「部局長会議」を開催し、学内への周知・意見調整を図った。23年度より、新理事長の下、機動力のアップを目指し、「副学長」職の設置と増員、常勤役員の「担務制」の導入、「学長補佐」職の設置等を行った。また、「部局長会議」を廃止し、大学運営に関する協議・調整機関として「大学連絡協議会」を設置するとともに、予算の重点化と効果的・効率的な配分を検討する「予算編成会議」を設置した。<br/>         中期目標・中期計画の達成に向けて、法人全体の運営戦略を担う事務局機能の強化を図るべく、専門知識を有する職員の配置や、プロパー職員の確保、事務局業務の外部委託等を行うとともに、新学部理念の実現に向け、各種事業を重点的かつ機動的に推進できるよう、重点事業別の5つの付属機関の設置や事務局体制の見直しなど、組織・運営体制の再編、整備に取り組んだ。</p> |
| <p>組織、業務運営等に係る改善事項について</p> |    |